

第七十六回帝國議會
衆議院

蠶絲業統制法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
蠶絲業統制法案(政府提出)(第六
三號)

會議

昭和十六年二月十九日(水曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋熊次郎君

理事小山邦太郎君 理事高橋圓三郎君

理事最上 政三君 理事森 幸太郎君

飯田 助夫君 植原悦二郎君

小野 寅吉君 岡崎 憲君

加藤 知正君 長井 源君

紅露 昭君 羽田武嗣郎君

坂本宗太郎君 助川啓四郎君

野溝 勝君 平野 力三君

松岡 俊三君 松村 光三君

芦田 均君 宮澤 胤勇君

山田 六郎君 吉田 賢一君

渡邊玉三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 石黑 忠篤君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 井野 碩哉君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

商工省纖維局長 梶原 茂嘉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員小山倉之助君 議員高島龜太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

蠶絲業統制法案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、小山

倉之助君ハ委員外デアリマスアレドモ、特

ニ質疑ヲ御許シ致シマス——小山君

○小山倉之助君 委員長ノ特別ノ御計ラヒ

ニ依リマシテ、委員外ニシテ發言ヲ許サレ

タコトヲ感謝致シマス、私ノ質問ハ多少根

本ニ互ル點ガアリマスガ、其ノ根本ニ付テ

實ハ非常ナ疑ヒヲ持ツテ居ルノデアリマス、

併シ此ノ數日間ニ互ル蠶絲局長ノ丁寧懇切

至ラザルナキ御答辯ニ依リマシテ、大體私

ノ疑ヒハ實際ニ於テハ解ケテ居ルノデアリ

マスガ、理論ノ上カラ申シマシテ、ドウシ

テモ解ケナイ點ガアリマスノト、ソレヲ解

イテ戴イタカラト云ツテモ、將來日本ノ産

業上非常ナ變化ヲ來スコトヲ惧レマスノデ、

大體教ヘヲ乞フ意味ニ於テ御質問申上デマ

スカラ、サウ云フ御積リデ御答辯ヲ願ヒタ

イト思ヒマス

第一ニ此ノ法案ノ全般ヲ通ジテ根幹ヲ成

スモノハ第四條デアリマス、此ノ第四條ハ

私カラ見マスレバ、國家管理ノ精神カラ出

テ居ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テドウ云

フヤウナ御考ヘデアリマスカ、國家管理ト

ハ言ハナイガ、實質ニ於テハ國家管理デア

リマス、斯様ニ思フノデアリマスガ、如何

デアリマスカ

○吉田政府委員 大體ニ於テ是ハ但書ノ場

合ハ別問題トシマシテ、其ノ他ノ部分ニ付

キマシテハ御説ノ通り國家管理ト見テ差支

ヘナイモノト存ジマス

○小山倉之助君 國家管理デアルト云フコ

トハ御認メニナツタノデアリマス、ソコデ

此ノ國家管理ノ必要ハ産業ヲ計畫化スルト

云フ點ニアリマスコトハ勿論デアリマス、

元來計畫經濟ハ共產主義並ニ社會主義ニ通

ズルノデアリマシテ、計畫ト云フ言葉ハ社

會主義學者ニ依ツテ提唱セラレタモノト私

ハ承知スルノデアリマス、ソコデ私ハ多少

意見ヲ持ツテ御尋ネスルノデアリマスガ、

近來ノ社會主義者ハ國有ト云フコトヲ嫌フ

ノデアリマス、國有ト云フコトニスレバ、

或ル財産ヲ全部國家ガ公債ヲ以テ買フ、或

ハ現金ヲ以テ買フ、公債ヲ以テ買フハ利息

ヲ支拂ハナケレバナラス、結局國家ノ負擔

ニナル、ソレヨリモ國有ニスルカ、社會ノ

モノニスルカ、斯ウ云フ觀念カラ新シイ方

法ガ發見セラレマシタコトハ既ニ農林當局

ニ於テモ御承知ノコトト存ジマス、其ノ最

モ著シイ例ハ電力管理案デアリマス、此ノ

電力管理案ニ於テ政府ハドウ云フ風ニシテ

之ヲ國家ノ手ニ收メヨウト試ミタカト申シ

マス、先ヅ第一ニ會社ヲ作りマシテ、其

ノ會社ノ株ヲ合併セラルベキ會社ニ與ヘレ

バ、國家ハ勞セズシテ、何等金ヲ使ハズシ

テ管理ガ出來ル、是ガ電力管理案ニ現ハレ

タル一ツノ方法デアリマス、併シ斯様ナ方

法バカリデハナイ、最モ簡單ナ方法ハ國家

ガ先ヅ管理ヲスル、統制ヲスル、左様ニシテ

産業ヲ國家ガ行フ、國家ガ生産手段ヲ民間

カラ奪ツテシマフ、斯ウ云フノガ近來社會

主義實行者ノ意見デアリマス、ソコデ所有

權ニ手ヲ付ケルト面倒ダ、所有權ハ其ノ儘

ニシテ置イデ宜シイ、併シ國家ガ之ヲ管理

ヲシ統制ヲスレバ、所有權ハ恰モ國家ノ所

有權ニ歸シタルガ如ク運用ガ出來ル、是ガ

近來ニ於ケル社會主義者ノ思想デアリマシ

テ、學者ハ之ヲ社會化ト言フノデアリマス、

此ノ社會化ノ思想ガ此ノ法案ノ中ニ十分織

込マレテ居リマス、此ノ社會化ノ思想ハ何

處ニアルカト云フト、個人ノ生産ヲ社會ニ

移スノデアル、所得ハ社會ノ所得ダ、デア

ルカラ其ノ得タル所ノ所得ヲ社會ガ之ヲ分

配スルノダ、茲ニ「プール」計算ト云フモノ

ガ出テ來ルノデアリマス、此處デハ社會

トハ言ハナイ、國家ガ管理ヲスル、蠶絲局

長ノ度々ノ御答辯ニアルマシタ所ノ表裏一

體、國家自ラ行フ代リニ會社ノ形デヤルノ

ダ、管理スルノダ、昔ノ國有トカ或ハ國

家ガ買上ゲルトカ云フ場合ニハ公債ナリ或

ハ現金ヲ以テ買入レルノデアリマスガ、

斯様ナコトヲセズニ、民間ノ仕事ヲ國家自

ラ行フ、サウシテ其ノ所得ハ社會ノモノト認

メテ國家ガ之ヲ「プール」計算ニ依ツテ認メ

テ行ク、是ガ近來ニ於ケル社會主義者ノ實

行案デアリマシテ、之ヲ社會化ト言フノデ

アリマス、隨テ管理スルカラ所有權ハ制限

サレル、此ノ管理ト云フ言葉ニ經營ト云フ

言葉ヲ換ヘ、所有權ト云フ言葉ニ資本ト云

フ言葉ヲ換ヘレバ資本ト經營トガ分離サレ

ル、斯ウ云ウ意味ニナルノデアリマス、併

シ今日株式會社ノ資本ト經營ト云フモノガ

分離セラレルト云フ形ガアリマスガ、ソレ

ハ思想的ニ來テ居ルノデハナイ、是ハ絕對

ニ思想的ニ來テ居ル、國家管理即チ資本ト

經營ノ分離、所有權ノ制限、即チ管理ニ依

ツテ所有權ノ制限ヲヤルノデアリマスガ、斯ウ云ウ思想カラ出テ居ルノデアツテ此ノ法案ノ内部ニ於テハ其ノ社會化主義ト云フモノガ十分織込マレテ居ルト私ハ思フノデアリマスガ、當局ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、先ヅ其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○吉田政府委員 此ノ法案ニ於テ考ヘテ居リマスコトハ決シテ社會化ト云フヤウナ考ヘ方デハナイノデアリマス、今日ハ非常ニ不安ナ狀態デアツテ、折角汗水出シテ造ツタモノガ賣レナイデ腐ツテシマフシ、折角經費ヲ掛ケテ造ツタモノガ色々ナ關係カラ非常ナ安値デナケレバ處分スルコトガ出來ナイ、斯ウ云ツタ不安ガ蠶絲ノ方ニハ非常ニ多イノデアリマスノデ、此ノ點ヲ安心サセル、造ツタモノハ必ズ一定ノ値デ賣レル、安心シテ業ニ勵シンデ行ケルヤウニト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、斯様ナ安心ヲ與ヘル一ツノ手段ト致シマシテ其ノ生産手段ヲ管理或ハ國營ニスルト云ツタヤウナ考ヘ方ハ毛頭ナイノデアリマス、或ハ桑園ヲ國家管理ニシテヤルトカ、製絲設備ヲ國家ガ管理シテシマフトカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デハナクテ、唯生産致シマシタ品物ガ兎角場合ニ依ツテハ價格ノ關係カラ致シマシテ非常ニ低値ニ處分シナケレバナラス、或ハ場合ニ依リマシテハ折角造ツタモノガ蛆ヲ出シ、蛾ヲ出シテシマハナケレバナラス、今日斯ウ云ツタコトデ非常ニ不安ニ襲ハレテ居リマスノデ、此ノ不安ヲ除去シテ、安心シテ適當ナ値デ賣レルヤウニシテヤル、斯ウ云フ考ヘ方カラ出テ居リ、又サウ云フコトヲ致シマス爲ニ、色々考ヘマシタ上デ最モ適當ナ方法ナリト考ヘマシテ仕組ンデ居ル仕組デアルコトハ御諒願ヒ

タイト思ヒマス
○小山倉之助君 斯様ナ御答辯ガアルベキコトヲ期待シテ居リマシタシ、又左様ナ考ヘデ御進ミニナルデアリマセウ、私ハ其ノ點ハ了承致シマス、併シナガラ私が申上ゲルコトハ大體管理ト云フコトハサウ云フコトカラ出發シテ居ル、ダカラ此ノヤリ方如何ニ依ツテハ社會主義ニ通ズル大キナ道デアルゾト云フコトハ御認メニナリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○吉田政府委員 社會主義ニ通ズル道デアルカドウカト云フ御質問デアリマスガ、私ガ今程申シマスヤウナ考ヘ方デアリマスガ故ニ、其ノ趣意サハ徹底シ、其ノ目的ガ達成スレバ宜イノデアリマスカラ、更ニ進ンデモツト根本的ナ所マデ管理ヲ進メル、即チ財産ノ國家管理或ハ國有ト云ツタヤウナ所マデ此ノ制度デ進ンデ行クベキデハナイノデアリマシテ、要スルニ先程申述ベマシタ趣意ガ徹底スレバソレデ宜シイ、又其ノ限度デ止ムベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○小山倉之助君 勿論サウ云フ風ナ御考ヘデアリマセウ、サウ云フ風ナ御方針デ行カレルト云フコトハ能ク分ツテ居リマス、ソコデ私ハ申上ゲタイ、私ノ此ノ理論ニ對スル考ヘハ動力ナインノデアリマシテ、大體ハサウ云フ計畫經濟ノ系統ヲ辿ツテ行ク、計畫經濟トハ斯ウ云フヤウナヤリ方デアル、ソレハ皆社會化主義カラ來テ居ル原理デアリマシテ、蠶絲局長ニ於テ意識セラルルト否トニ拘ラズ、ソコニ共產主義ニ通ズル非常ニ大キナ道ガアルト云フコトヲ私ハ一ツ御研究願ヒタイト思フノデアリマス、ソコデ私ハ米穀統制法ノコトヲ多少研究シテ見タノデアリマスガ、昭和八

年ニ米穀統制法ガ制定セラレマシテ、十一年ニハ米穀ノ自治管理案ガ制定セラレマシタ、是ハ内地、朝鮮或ハ臺灣ニ於ケル過剩米ヲ統制スルト云フ目的ニ出タヤウデアリマスガ、ソコニハ自治的統制ト云フモノガ甚ダ濃厚デアツタ、所ガ是ガ失敗デ旨ク行カナイ、ソコデ近來ノ人ハマダ統制ガ徹底シナイカライケナイトヨク言ヒマス、ダカラ自治統制デハイカスノダ、何カ失敗スルト、自治統制ダカライカスノダト言ツテ、

一步々々國家統制ニ向ツテ參リマス、其ノ證據ニハ、昭和十四年度ニ米穀配給統制法案ガ通過致シマシタ、是ハ國家管理ニ進ム所ノ第一歩デアアル、ソレデ十五年度ニ初メテ米穀管理規則ト云フモノガ農林省令トシテ公布セラレマシタ、政府ガ統制策ヲ立テテ最初ハ自治統制ヲ許スガ、自治統制デハ旨ク行カス、今度ハ強力ナル統制ニシヨウ、結局國家管理ニナリ、更ニ國有ト云フ道ニ通ジテ居リマス、所ガ今日ノ社會化主義者ハ國有ナンテ云フマダロコシイコトハ言ヒマセス、先刻モ言フ通りソナ馬鹿ナコトハ言ハナイ、要スルニ所有權ヲ或ル程度制限シテ國家ガ自由ニスレバ宜シイ、此ノ法案ハ非常ニ巧ミデアリマス、一方カラ言ヘバ會社ヲ設立シテ行クト云フ只今蠶絲局長ノ言ハレルヤウナ方法デアリマスケレドモ、實質ニ於テハ國家管理デアリマス、政府ノヤリ方如何ニ依ツテハ、政府ノ所期スルヤウナ目的ハ果シテ達セラレカドウカト云フコトヲ非常ニ疑フ、一步進メバ是ハ全然

國家社會主義ニナル、是ハ全然「ポリッシュイズム」ニ進ムノデアリマス、ソコデ私ハサウ云フ點ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、斯ウ云フ風ナ國家管理ヲ行ツテ政府ガ全部

ヲ統制シテ、國家ノ強イ力ニ依ツテ統制スルト云フ場合ニ、其ノ案ヲ立テタ學者實際家ガドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト云フコトヲ少シ廻リ諄イヤウデアリマスルガ、一ツ御記憶ヲ願ヒタイ、是ハ所謂常識論トシテ官吏ヲ其ノ中ニ入レテハイカスモカ宜イトカ云フ議論ノ起ル根本ヲナスモノデアリマス、是ハ「ジャハト」ノ言ツテ居ルコトデアリマスルガ、「經濟指導者ハ自ら最善ノ指導者的人格ヲ有シテ居ナケレバナライ、斯クシテ、其ノ日其ノ日ノ仕事ヘノ刺激ト必要ナル修正ガ生レテ來ルベキナノデアル」其ノ日其ノ日ノ修正ガ生レテ來ルト云フコトハ、社會主義者ガ國家管理ヲ行ツ場合ノ學者實際家ノ非常ニ注意スル所デアアル、

此ノ社會主義ヲ實唱シタ「ジード・エッチ・コール」ノ如キハロウ酸ツバクシテ言ツテ居ル、ソレハドウ云フコトヲ言ツテ居ルカト申シマス、「社會主義ノ最モ重要ナ機能ハ企業ノ直接取扱デハナク、政策ノ統一デアアル、即チ重要ナル企業ヲ全經濟計畫ニ於テソレノ其ノ適當ナル場所ニ置キ其ノ與ヘラレタル仕事ヲ完成セシムルコトヲ保證スルコトハ必要デアアル、併シ之ヲナスニハ國家ガ直接ニ其ノ細カイ行政ヲナスコトヲ少クスル方ガ宜イノデアアル、其ノ最モ危險ナルコトハ、其ノ手ニ餘リニ多クノ微細ナ機能ヲ持ツテ頭ガ重クナルコトデアアル、國家ハ政策ノ統制ヲ行ハネバナラスガ、出來ルダケ其ノ行政機能ニ參加スルコトヲ止メナケレバナラス」是ハ屢々經驗シテ居リマス、更ニ「獨立シ且ツ責任アル委員會ニ權力ヲ委任スル所ノ組織ハ其ノ委員會ハ公共的支配ニ服従スルト云フ點ニ於テ新社會主義ノ實際問題解決上重大ナル部分ヲ占メル」ヤ

ハリ委員會ノ相當重大ナル權力ヲ持タシテ
其ノ委員會ニ、公共性ヲ持タシテ政府自ラ
干涉シナイ方ガ宜シイノダ、又元來實際上
ノ經營ハ專門家ノ仕事デアル、既ニ十分明
白ニ引カレタ線ニ沿ウテ常規ノ經營ヲ實行
スルコトハ問題デハナイ、即チ從來出來上ツ
テ居ル事業ヲ繼メテ國策會社トナシ、其ノ上
ニ立ツテ經營スルコトハ素人デモ凡人デモ
出來ル、要ハ日進月歩ノ技術發達ニ依ル生
產方法ノ急激ナル變化ニ應ジテ企業經營ヲ
轉換セシメ、ソレ以上ニ先ヲ越シテ進ムコ
トデナケレバナラヌ、斯クノ如キハ專門家
ヲ主トシテ十分ナル權力ヲ與ヘ責任ヲ持タ
シテ初メテ出來ルコトデアル、ソコデ此ノ發
送電會社ノ問題ガ起ルノデアリマスガ、ド
ウモ官吏ノ諸君ハ斯ウ云フ風ニ考ヘル、今
マデ配當ガ出來テ居ル、ソレヲ一ツノ會社
ヲ作ツテ繼メテヤレバ其ノ會社デ一生懸命
働イテ生産カラ利潤ガ上ルノダカラ八分ノ
保證ヲヤル、一割ノ配當保證ガ出來ルデア
ラウト考ヘル、所ガソレガ四分ノ配當モ困
難デアリ、六分ノ保證ヲシテヤツト今度ハ
會社ノ維持ヲスル、今マデ人ノヤツタ仕事
ヲ、唯其ノ儘乗ツカツテ行ツテソレガ出來
ルト思フノハ、是ハ素人ノヨク考ヘルコト
デアル、今マデヤツタコトノ上ニ立ツテ會
社ヲ組織スルモノデアルナラバ、皆働イテ
呉レルノデアルカラ利益ガ學ツテ來ル、配
當ガ出來ル、所ガ政府ガ餘リニ多クノ仕事
ヲ持ツテ行政ニ携ツテ、專門家ニ委セナイ
カラ發送電ノヤウナモノガ出來タ、素人ガ
ヤツタカラ出來タ、ソコデ「シャハ」ガ言ツ
テ居ル通り、其ノ日ノノ仕事ヘノ刺戟ガ
アツテ、其ノ刺戟ヲ修正スルコトニ依ツテ
國策會社ノ運用ガ出來テ來ル、「コール」ハ

又言ツテ居ル、ソナ今出來テ居ル仕事ニ
乗ツカツテ其ノ日ノノ仕事ヲヤツテ行ク
コトハ凡人デモ出來ル、併シナガラ日進月
歩ノ技術ノ發達ニ依ツテソレヲ改メテ行ク
ト云フ所ニ所謂計畫經濟ノ妙味ガアルノダ、
サウ云フコトヲシナケレバイカヌノダ、唯
生産ノ管理ヲ行ツテ、生産手段ヲ國家自ラ
行フ、國家ノ權力ヲ強化スルコト云フコトダ
ケ學ンデ、其ノ實際ニ效果ヲ舉ゲル方法ヲ
學バナイト云フコトハ、私ハ今日此ノ社會
化或ハ計畫經濟ヲヤツテ居ル方々ニ非常ナ
落度ガアルノデハナイカ、私共ハ屢、ソレヲ
警告スルノデス、學ブナラサウ云フ所ヲ學
ンデ戴キタイ、デアルカラ、此ノ委員會ニ
於キマシテ屢、論議ニナリマシタ通り、官
吏ノ古手ハ入レナイヤウニシテ、成ベク此
ノ專門家ニ仕事ヲ委シテ行クガ宜イ、サウ
云フコトガ論議セラレマス所以ハ此處ニ存
スルノデアリマスカラ、私ハ此ノ點ニ付キ
マシテハ十分御留意ヲ願ヒタイト存ズルノ
デアリマス、蠶絲局長ハ此ノ點ニ付キマシ
テモ懇切丁寧ニ御答辯ニナリマシタヤウ
ニ、安心致スモノ、兎角官吏ノ方ガ慣レ
ナイ仕事ニ入ツテ、今マデ皆ガヤツテ居ツ
タ上ニ乗ツカルノダカラ出來ルダラウト思
フト、サウデハナイ、今マデハ今マデノ組
織ガカラ十分能力ヲ發揮出來ルノデアリマ
スガ、頭カラ抑ヘ付ケテ、サウシテ人間ヲ
機械的ニヤラセヨウトシテモ働クモノデハ
アリマセヌカラ、其ノ點ハ十分御留意ヲ願
ヒタイト思フノデアリマス

家ニ全部抑ヘラレマス、此ノ會社ノ運用ニ
付テ細カイコトデ御質問申上ゲタイ點モア
リマスガ、ソレハ讓ルト致シマシテ、先ヅ
茲ニ蠶絲ハ國家ノ手ニ抑ヘラレテシマフ、
國家ノ自由ニナリマス、併シアナタノ仰シ
ヤル通り運用出來ルカドウカト云フコトハ
私ハ非常ナ疑問ヲ持ツガ、先ヅ茲ニ蠶絲ヲ
抑ヘル、米ハ國家ニ依ツテ管理サレテ居リ
マス、木材モ木材會社ノ統制ニ依ツテ相當
ニ國家ノ干涉ヲ受ケルコトニナリマス、其
ノ外ニ私ノ調ベル所ニ依レバ米穀應急措置
ニ關スル法律案ノ改正ニ依リマシテ、米穀
ノミナラズ混食又ハ代用品ニ付テモ、必要
デアル場合ニハ強制買上ヲサレル、食糧、
農產物及ビ其ノ加工品、米麥ソレカラ其ノ
副產物、麵類マデモ國家ニ抑ヘラレル、併シ
ナガラ木材統制案モ蠶絲統制案モ各、其ノ
特別ノ使命ガアリマシテ、是ハ洵ニ已ムヲ
得ナイコトデアリマセウ、之ニ付テハ十分
ナル理由ガアリマセウ、其ノ外總動員法ニ
依リマス、第四十七號ノ諮問案ニ於キマ
シテハ生活必需品ノ統制ニ關スル勅令案
要綱ガ發表サレテ居ル、第四十八號ニ於キ
マシテハ森林等ノ價格統制ニ關スル勅令案
要綱ガ發表サレテ居ル、第四十九號ニ於キ
マシテハ臨時農地價格ノ統制ニ關スル勅令
案要綱ガ發表サレテ居ル、第五十號ニ於キ
マシテハ臨時農地等ノ管理ニ關スル勅令案
要綱ガ發表サレテ居ル、斯クノ如ク土地ガ
管理セラレル、農產物ヲ生産スル其ノ本
ガ管理サレテ居ル、農產品ノ最モ主ナル
所ノ米麥其ノ外ノモノガ管理サレテ居
ル、其ノ外山林ガ管理サレテ居ル、其ノ價
格ガ管理サレテ居ル、サウスルトト今ヤ農
村ニ於ケル統制強化ト云フコトハ深刻

ニナツテ來タ、併シナガラ此統制法案
ト云フモノハ全部國家ノ必要カラ生ズ
ルノデアリマシテ、其ノ法案々々各、重大ナ
ル使命ヲ持ツテ居ル、重大ナル使命ノ存ス
ルコトハ分リマス、サウスレバ農村ニ殘ル
仕事ト云フノハ何ガ殘ルカ、唯労働ノミデ
ハアリマセヌカ、自作農創定ト云フコトヨ
リ論議セラレテ來タ、併シナガラ自作農創
定ト云フモノハ農家ニ取ツテ蓄積ガナケレ
バナラナイ、其ノ蓄積ガナケレバ自作農ヘ
這上ル譯ニハ行カヌ、此ノ社會化ト云フモ
ノハ既ニ個人ノ利潤ト云フモノヲ或ル程度
マデハ認メナイ思想デアリマス、其ノ個人
ノ利潤ヲ認メナイ、國家ガ公平ニ「プール」
ニ依ツテ配分サレルト云フコトヲ理想トス
ルノデアリマス、ソレヲ内容トスル案デア
リマス、斯クノ如クシテ進ンデ行ケバ、所
謂資產階級「ブルジョア」ノ潰滅デアル、其
ノ間ノ取引者ト云フモノノ廢止デアリマス、
國家並ニ國民、是ガ即チ社會化ノ思想デア
ル、斯様ニ凡ユル方面カラ統制ガ強化セラ
レテ、農民ニ殘ルモノハ單ニ労働ダケデア
ル、斯ウ云フ風ニナリマシタナラバ、一體
何處ニ農村ニ於ケル貯蓄トカ生活トカ云フ
モノノ安定ガ得ラレルデアラウカ、何處ニ
自作農ヲ誘致スベキカラ農村ニ與ヘルデア
ラウカ、何處ニ一體農村ニ感激ガアルカ、
何處ニ國家ニ御奉公スルト云フ精神ガ勃興
スルデアラウカ、唯統制案ノ如キモノデ抑
ヘテ抑ヘテ行クト云フダケデハドウナルダ
ラウカ、オ終ヒニハ此ノ政府ノ政策ニ對シテ
呪ヒノ聲ガ揚ツテ來ナイダラウカ、政府ノ
政策ニ對シテ協力スルト云フ其ノ精神ガ段
段萎靡シテ來ハシナイカ、私ハ斯様ナコト
ヲ農村ノ方面カラ相當聞クノデアリマスガ、

此ノ點ニ付テ非常ナ疑ヒヲ持ツノデアリマス、是ハ實ハ大臣ニ御伺ヒスベキ點デアリマスガ、蠶絲局長ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○吉田政府委員

統制ト云フコトハ見方ニ依リマス、場合ニ依リマシテハ今小山サ

ンノ仰シヤツタヤウニツノ制限ト云フ風ニ見テモ差支ヘナイダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ今例ニ舉ゲラレマシタ各種ノ統制等ニ付キマシテハ、形カラ見マスサウ云フコトモ言ヒ得ルト思フデアリマスガ、他ノ土地デアルトカ米デアルトカ云フヤウナ方面ニ付キマシテハ、是ハ蠶絲トハ多少事情ヲ異ニ致シテ居リマシテ、専ラ是ハ全體ノト申シマスカ、國民全體ニ公平ノモノヲ配給スル必要カラ或ル程度生産者ニ對シテノ制限ト申シマスヤウナ形ニナツテ居ルモノト考ヘルデアリマスガ、蠶絲ハ、其ノ點形ハ同ジヤウニモ見エルカモ知レマセスケレドモ、先程申シマシタヤウニ、趣意ト致シマス所ハ寧ロ社會全般、國民全般ノ爲ニ蠶蠶家ヲ抑ヘルト云フヤウナコトデハナクテ、是ハ寧ロ蠶蠶家自身ニ安心ヲサセ、擁護サセル爲ニ、會社ガ寧ロ援護――

防波堤ト申シマスカ、覆ヒヲシテヤル、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ノ方ガ、餘程現在ノ事實カラ見マシテ、其ノ方ガ非常ニ私ハ強イト考ヘルデアリマス、成程或ル程度値段ヲ決メテシマフト、造ツタモノモ高ク賣レナイ、此ノ範圍ニシカ賣レナイト云フヤウナ見方ヲ致シマスレバ、是ハ折角造ツタ品物ガ、マダ高ク賣レル樂シミガアルモノヲ、如何ニモソレ以上ニハシナイヤウナ形ガアリマスカラ、サウ云フ見方カラ見レバ、非常ナ制限ニナルト見エルデアリマスガ、

寧ロ其ノ制限ト云フ意味ハ、此ノ法規ノ統制ノ趣意ト致シマス所ハ、寧ロサウデハナクテ、ソレヲシナカツタナラバ、更ニ何處マデ行クカ分ラスト云フノヲ寧ロ防護スル、斯ウ云フ考ヘ方、或ハ外カラ大浪ガ來ル虞ガ今日多分ニアル、大風ガ吹イデ來ル虞ガ多分ニアル、斯様ナ浪風ニ曝シタ場合ニ於テハ、非常ナル打撃苦痛ヲ受ケナケレバナラス心配ガアル、之ニ對シマシテ此ノ大浪、大風ヲ會社ガ支ヘテ行ク、斯ウ云フ意味デ出來テ居リマスシ、此ノ統制法ハ專ラサウ云フ趣意デ考ヘテ居リマス譯デゴザイマス、併シナガラ是ハ見方ニ依リマスレバ、小山サンノ仰シヤツタヤウナ形ニナリマス、精神ヲ履キ違ヘマシテ、今後運用シテ行クト云フヤウナコトニナリマス、小山サンノ仰シヤツタヤウナコトニナル虞ノアルコトハ、私モ認メルデアリマス、能ク其ノ趣意ヲ履キ違ヘナイヤウニ、今後ノ運用ニ當リマシテハ、十分ニ注意ヲシテ行カナケレバナラスモノト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘル次第デアリマス

○小山倉之助君

其ノ蠶絲ノ統制ニ付テハ、

御趣旨ノ通りデアリマセウガ、ソコデ此ノ蠶絲ノ統制ニハ、將來物價ヲ操縱スルニ付テニツノ「チャンネル」ガアル、一ツノ「チャンネル」ハ短纖維、片方ノ「チャンネル」ハ外國貿易デアリマス、ソレデハ八千万貫目標ニシテ宜イノカ、或ハモツト多ク目標ニシテ行クカト云フト、輸出ノ「チャンネル」ガ大キクナレバ、外貨獲得ノミナラズ、將來ノ發展性ヲ更ニ大キクスルコトガ出來マス、ソレカラ此ノ短纖維ノ方ヲ擴張スレバ、所謂外國ノ纖維ニ依存シナイデ、日本獨特ノ經濟ヲ立テルコトガ出來ルデアリマス、

ハコデ蠶絲局長ノ御答辯ニ依リマシテモ、之ヲ將來増産スルカ増産シナイカ云フコトニ付テハ、中々御明言ニナルコトハ困難デアリマセウ、併シナガラ此ノ二ツノ「チャンネル」ヲ利用スルコトハ、私ハ非常ナ卓見ダト思フデアリマス、此ノ點ニ寧ロ主力ヲ盡セバ、蠶絲ノ統制ハ非常ニ良ク出來ルノデアアル、ソコデ輸出ノ「チャンネル」ヲ通シテ、其ノ或ル時期ヲ――或ル時期バカリデナク、所謂非常時ニ對スル對策、ソレカラ常時貿易ヲ促進スルコト云フ方面ニ、努力セラレルト云フコト、是ハ萬全ヲ期シテ戴カナケレバナリマセウ、ソレニ付テ此ノ蠶絲統制會社ニ、一手買上ノ輸出ダケヲ除イタト云フコトハ、私ハ同時ニ非常ナ卓見ダト、此ノ點ニ付テハ敬服スル、將來ドレダケ捌ケルカ分ラヌガ、一方ニ於テ短纖維ノ方ニ轉化シ得ベキ「チャンネル」ガアルノニ、自由貿易ヲ基礎トスル外國ヲ相手トシテ、而モ商取引ノ非常ナ敏活ナル時ト、非常ナル裁斷ヲ要スルモノヲ、一ツノ國策會社ノ手ニ委ネルト云フヤウナコトハ、非常ニ商機ヲ逸スル、サウ云フ點ニ付テ十分考慮セラレマシタノハ、私ハ非常ナ卓見ダト存ジマシテ、此ノ勅令案ニ於テ、サウ云フモノヲ除カレルト云フトハ結構ダト存ジマス、デスカラ此ノ二ツノ「チャンネル」ハ、利用サレルトハ宜シイガ、併シ此ノ最モ困難ナ二ツノ「チャンネル」ヲ利用スル以外ニ、内地ノ一元の統制ト云フモノガ、果シテ成功スルカシナイカト云フコトヲ非常ニ疑フノデス、ソレハナゼサウ云フ疑ヒヲ持ツカト云フト、電力ノヤウナア云フ固定的なモノデ、餘リ時ト云フモノヲ考ヘナイ「トランスアクション」ト云フモノニ付テ、時ヲ

ハコデ蠶絲局長ノ御答辯ニ依リマシテモ、之ヲ將來増産スルカ増産シナイカ云フコトニ付テハ、中々御明言ニナルコトハ困難デアリマセウ、併シナガラ此ノ二ツノ「チャンネル」ヲ利用スルコトハ、私ハ非常ナ卓見ダト思フデアリマス、此ノ點ニ寧ロ主力ヲ盡セバ、蠶絲ノ統制ハ非常ニ良ク出來ルノデアアル、ソコデ輸出ノ「チャンネル」ヲ通シテ、其ノ或ル時期ヲ――或ル時期バカリデナク、所謂非常時ニ對スル對策、ソレカラ常時貿易ヲ促進スルコト云フ方面ニ、努力セラレルト云フコト、是ハ萬全ヲ期シテ戴カナケレバナリマセウ、ソレニ付テ此ノ蠶絲統制會社ニ、一手買上ノ輸出ダケヲ除イタト云フコトハ、私ハ同時ニ非常ナ卓見ダト、此ノ點ニ付テハ敬服スル、將來ドレダケ捌ケルカ分ラヌガ、一方ニ於テ短纖維ノ方ニ轉化シ得ベキ「チャンネル」ガアルノニ、自由貿易ヲ基礎トスル外國ヲ相手トシテ、而モ商取引ノ非常ナ敏活ナル時ト、非常ナル裁斷ヲ要スルモノヲ、一ツノ國策會社ノ手ニ委ネルト云フヤウナコトハ、非常ニ商機ヲ逸スル、サウ云フ點ニ付テ十分考慮セラレマシタノハ、私ハ非常ナ卓見ダト存ジマシテ、此ノ勅令案ニ於テ、サウ云フモノヲ除カレルト云フトハ結構ダト存ジマス、デスカラ此ノ二ツノ「チャンネル」ハ、利用サレルトハ宜シイガ、併シ此ノ最モ困難ナ二ツノ「チャンネル」ヲ利用スル以外ニ、内地ノ一元の統制ト云フモノガ、果シテ成功スルカシナイカト云フコトヲ非常ニ疑フノデス、ソレハナゼサウ云フ疑ヒヲ持ツカト云フト、電力ノヤウナア云フ固定的なモノデ、餘リ時ト云フモノヲ考ヘナイ「トランスアクション」ト云フモノニ付テ、時ヲ

餘リ要サナイ或ル固定設備ヲスレバ、其ノ動キニ依ツテ「スキッチ」一ツデ動カシ得ルト云フモノデサヘモ、非常ナ失敗ヲ招イダノデアアル、片方ハ外國ヲ相手トセズ、内地ト云フコトカラ考ヘテモ此ノ統制ニハ時ト云フコトガ非常ニ大切デアリマス一ツノ工場デ織物ヲ造ラウトシテ、其ノ「ロー・マテリアル」ヲ外カラ仰グ今マデハ自然ノ取引デ非常ニ敏活ニ行ツタノガ今度ハ會社ノ取引ニ統一セラレマスカラ、所謂官僚ノ今マデノ仕事ノヤウニ、直グ判ヲ捺ストカ云フヤウナ譯ニハ行カナイ、其ノ原料ヲ内地單位ニ受ケナイト云フコトカラ、結局其ノ工場ヲ休マセナケレバナラス、ソコニ國民全體カラ能率ヲ落スト云フコトガアリマス、サウ云フ所謂商取引ノ敏活ヲ缺クト云フコトハ、統制經濟ニ於テ時ノ觀念ト、モウ一ツハ人間ノ觀念、此ノ人間ト云フモノヲ見ナイ所ニ、私ハ非常ニ大キナ缺點ガアルト思フデアリマシテ、其ノ時カラ生ズル所ノ缺陷、人間ヲ自由ニ働カセナイト云フ缺陷ヲ補フト云フコトガ、先程申シマシタ「コール」トカ「シャハト」トカ――「コール」ナドハ唯ノ理論家デアリマスガ、「シャハト」ノ如キ統制ヲ實際ニヤツタ人カラ見ルト、是ハ實際家ニ任セロ、專門家ニ任セロ、サウシテ權力ヲ與ヘヨ、斯ウ云フ思想カラ出テ居ルト私ハ思フ、又私共モサウ云フコトハ始終見聞キシテ居ル點デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ私ハ寧ロ「ド・イツ」流ニ、餘リニ深キ統制ヲセズニ、ヤハリ「ヒトラー」ノ言ツテ居リマス通り血ト士、或ハ「ムッソリーニ」ノ言ツテ居ルヤウナ「バットル・オブ・ホウイー」ト、麥ノ戰爭トカ云フコトデ、農民ヲ食糧増産ノ爲ニ或ハ土地ヲ愛シ、國家ノ爲メ國家ノ血トナル食糧ヲ

餘リ要サナイ或ル固定設備ヲスレバ、其ノ動キニ依ツテ「スキッチ」一ツデ動カシ得ルト云フモノデサヘモ、非常ナ失敗ヲ招イダノデアアル、片方ハ外國ヲ相手トセズ、内地ト云フコトカラ考ヘテモ此ノ統制ニハ時ト云フコトガ非常ニ大切デアリマス一ツノ工場デ織物ヲ造ラウトシテ、其ノ「ロー・マテリアル」ヲ外カラ仰グ今マデハ自然ノ取引デ非常ニ敏活ニ行ツタノガ今度ハ會社ノ取引ニ統一セラレマスカラ、所謂官僚ノ今マデノ仕事ノヤウニ、直グ判ヲ捺ストカ云フヤウナ譯ニハ行カナイ、其ノ原料ヲ内地單位ニ受ケナイト云フコトカラ、結局其ノ工場ヲ休マセナケレバナラス、ソコニ國民全體カラ能率ヲ落スト云フコトガアリマス、サウ云フ所謂商取引ノ敏活ヲ缺クト云フコトハ、統制經濟ニ於テ時ノ觀念ト、モウ一ツハ人間ノ觀念、此ノ人間ト云フモノヲ見ナイ所ニ、私ハ非常ニ大キナ缺點ガアルト思フデアリマシテ、其ノ時カラ生ズル所ノ缺陷、人間ヲ自由ニ働カセナイト云フ缺陷ヲ補フト云フコトガ、先程申シマシタ「コール」トカ「シャハト」トカ――「コール」ナドハ唯ノ理論家デアリマスガ、「シャハト」ノ如キ統制ヲ實際ニヤツタ人カラ見ルト、是ハ實際家ニ任セロ、專門家ニ任セロ、サウシテ權力ヲ與ヘヨ、斯ウ云フ思想カラ出テ居ルト私ハ思フ、又私共モサウ云フコトハ始終見聞キシテ居ル點デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ私ハ寧ロ「ド・イツ」流ニ、餘リニ深キ統制ヲセズニ、ヤハリ「ヒトラー」ノ言ツテ居リマス通り血ト士、或ハ「ムッソリーニ」ノ言ツテ居ルヤウナ「バットル・オブ・ホウイー」ト、麥ノ戰爭トカ云フコトデ、農民ヲ食糧増産ノ爲ニ或ハ土地ヲ愛シ、國家ノ爲メ國家ノ血トナル食糧ヲ

増産スル爲ニ、唯抑付ケルバカリデナク、農民ヲ奮起サセルヤウナ一ツノ運動ヲ起ス必要ガアル、此ノ運動ハ單ニ官吏諸君ヤ會社關係ノ人バカリデナク、是ハ國民的運動トシテ、國家ニ必要ナ物資ヲ増産スル方向ニ農民ヲ向ケテ行ク、唯斯ウ云フ統制ヲシタ、斯ウ云フ會社ヲ作ツタト云フダケデ、人間ノ心ハ動キマセヌ、統制ト云フコトハ、人間ガ働キ、時ガ働クヤウニ、時ト人間ヲ十分ニ働カセルコトニ、御留意ヲ願ハナケレバナラスト思ヒマス、「ロシヤ」ノ統制ノ如キハ單ニ理論カラ行ツタカラ失敗シタ、今日ハ又資本主義ニ還リツツアルト云フ文獻ヲ、私共ハ散見スルノデアリマス、「ドイツ」ノ統制ハ本當ノ必要カラ生レテ來タ、「ムッソリーニ」ノ統制モヤハリ實體カラ生レテ來タモノデアル、今ヤツテ居ル日本ノ統制ノヤリ方ハ、「丁度」「ヒトラ」ノ出現スル前ノ、所謂共和政治ノ時代ニ行ハレタ國策會社主義、國有主義ニ墮シテ居ルト思フ、何デモ國家ガ抑ヘナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ思想ニ出テ居ルヤウデアリマス、私ハ昨晩一寸暇ガアリマシタカラ「ヒトラ」ガ何カ言ツテ居リハシナイカト思ツテ「マイン・カンフ」ノ一部ヲ讀ンデ見マシタガ、「ヒトラ」ハ何處デモ交通機關ノ統一ニサヘモ反對シテ居リマス、而シテ國內ニ於テ其ノ當時動モスレバ起ツタ國有化政策或ハ國家管理、斯ウ云フコトニ付テハ全面的ニ「ヒトラ」ハ反對シテ來タ、「シヤハト」ハ即チ其ノ當時行ハレタ國有主義ノ事業ト云フモノヲ殆ド全部民間ニ下ゲタ、民間ニ下ゲタト云フノハ、國家統一ト云フコトハ「ペー」「バト・プラン」トシテハ宜イケレドモ、人間ガ働カナイ、時ヲ無駄ニスル、ダカラ今マ

デハ政府ハ、詰リ先程申シタル通り米穀デモ何デモ、自治統制デハイカスカラ、結局國家ノ力ヲ借りタ、國家ノ力デモマダ足リナイカラ、寧ロ國民ニシテシマツタガ宜イデハナイカ、斯ウ云フ思想ニナリ勝チダ、殊ニ農村ニ於キマシテハ、個人ノ自覺ト云フモノニ最モ頼ラナケレバナラス、私モ農家ニ生レテ草刈モ致シマシタシ、芋掘モ自分デシテ居ルノデアリマシテ、農家ノ仕事ト云フモノハ天然ヲ相手ダ、何時モ休ム時ハ土ダ、何時デモ天然ニ親シンデ、時ヲ無駄ニシナイヤウニ働クノガ農家ノ勤メダ、農家ハ自由ヲ欲シマス、然ルニ先程申シマシタ通り、四方八方カラ凡ル網ヲ以テ壓迫シタカラト言ウデ、農民ハ國家ノ爲ニ奮起スルモノデハアリマセヌ、此ノ運動ヲ先ヅ起サナケレバナラスト思フ、此ノ間モ「イタリヤ」ノ統制官ガ參リマシテ、一體日本ハ統制ヲドン／＼ヤツテ居ルガ、統制ト云フモノハ國民的教育ガ必要ダ、何ト申シマシテモ今日吾々ノ國家ヲ組織シテ居ルノハ國民デアアル、個々ノ國民ガ善イトカ惡イトカ云フノハ、突如トシテ法律ヲ出シテ、其ノ法律ニ從ハナイカラ惡イト斯ウ云フ、サウ云フ無實ノ罪人ヲ今日作ツテ居ルノデアリマス、恐ラク蠶絲統制法案ニ於テモ、色色ナ違反ニ依ツテ罪人ガ起ルコトモ想像セラレルシ、又此ノ最低最高ノ價格ヲ以テ、商賣ヲ限定シテ居ルヤウナコトカラ、會社ニ對スル不安モ起ルデセウ、將來ニ於テ會社統制ト云フコトモ私ハ想像セラレル、破産者モ想像セラレバ、或ハ又ソレガ爲ニ轉業シナケレバナラス者モ生ズルト云フコトモ想像セラレマス、併シ斯様ナコトハ、他ノ諸君ニ於テ十分研究セラレマシタカラ、私

ハ斯様ナ點ニ付テ更ニ十分ナル御留意アラシコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ハ打切リマスガ、先程申上ゲタ私ノ大體ノ思想、所謂此ノ道ハ「ポリシエヴィズム」ニ通ズル道ダ、「ローマ」ニ通ズル道ニアラズシテ、「モスクワ」ニ通ズル道デアル、ダカラ私ハ昨日ノ豫算ノ祕密會ニ於テモ、一寸質問シタノデスガ、其ノ思想ガ一步進メバ「ポリシエヴィズム」デアアル、社會主義デアアル、今日此ノ國家管理ト云フモノハ平氣で行ハレテ居ル、私有財産ヲ制限スルト云フコトガ平氣で行ハレテ居ル、サウシテ雨後ノ筈ノ如ク多クノ會社ガ出來テ居ル、私ハ農林當局ノ或ハ感情ニ觸レルカモ知レスガ、近頃ドウデスカ、栃木縣ノ何處カデ麻ガ生産セラレルト、其ノ麻ノ會社ガ出來タ、千葉縣ニ吹ガ出來ルト吹ノ會社ガ出來タ、ソレニ農林省ノ一部ノ人ガ入ツテ居ル、製粉ノ統制ヲシタ、其ノ製粉會社ハ販賣會社ノ所有權ノ一部ヲ管理スルモノデアアル、價格ノ統制ト云フ名目ノ下ニ販賣會社ヲ作りマス、其ノ販賣會社ニハ農林省ノ某役人ガ、二万五千圓ノ高給ヲ取ツテ居ルト云フコトヲ、私ハ或ル方面カラ聞イタノデアリマス、社長ガ二万五千圓、農林省カラ入ツタ人が二万五千圓、五萬圓ノ俸給ヲ單ナル販賣會社ノ社長ニ拂フト云フコトハ、是ハドウモ國家國民ノ政府ニ對スル信頼ヲ贏チ得ル所以デハナイ、統制經濟論者ガ言ツテ居ル統制經濟ニ於テ一番危險ナコトハ、國民カラ信頼ヲ失フコトデアアル、國民カラ信頼ヲ失ツタナラバ統制經濟ハ崩レル、統制經濟ハ國家ガ行フノデスカラ、其ノ國家ノヤリ方ガ國民ノ信頼ヲ置ケナイト云フコトニナツタラ、是ハ崩レルノガ當然デアリ

マス、デアアルカラ斯様ニ所有權ヲ或ル程度マデ制限シ、國家自ラ行フヤウナ斯ウ云フ形式ヲ取ツテ居ル場合ニハ、其ノ統制ハヤハリ必要ノ限度ニ止メナケレバイカス、或ル會社ガ生産スル、其ノ生産ノ販賣割當ヲスルダケデアアル、其ノ割當ヲスルノハ、實業家カラ言ヒマスレバ、最モ低級ナ人間デ出來ルノデアリマス、然ルニワザ／＼大キナ會社ヲ作ラシテ、五萬圓ノ俸給ヲヤツタ、其ノ會社ヲ維持スル爲ニ御承知ノ通り、一依ニ付テ九錢トカ何トカ云フ其ノ費用ヲ使フト云フコトハ、甚ダ農林省トシテ不純デナイカ、國家ノ食糧ヲ管理シ、國家ノ農產物ヲ管理シ、而モ國家的統制ヲヤツテオイデニナルノデアリマスカラ、特ニサウ云フ方面ニ付テ御留意ニナツテ、國民ノ信ヲ失ハナイヤウナ態度ヲ執ルベキデハナカラウカ、私ハ米ノ問題デ總動員委員會ニ於テ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ「エンゲルス」ノ如キモ言ツテ居ル、所謂生産手段ヲ全部國家ガ持ツテシマヘ、「カルテル」モ獨占會社モ皆國家ニ集メテ、龐大ナ會社ヲ作ツテ、ソレニ任セル、所謂生産機關ハ國家ノ有給ノ官吏ヲシテ之ヲ整理サセヨウ、是ハ最モ極端ナ「エンゲルス」或ハ「カウツキー」ト云フヤウナ人ノ思想デアリマス、今日米ノ配給ハ、オ終ヒニハ月給取ヲ以テ配給サセヨウト云フヤウナコトガ計畫サレテ居ル、農林大臣ニ之ヲ質問致シマシタ所ガ、月給取ダトハ云フガ、米屋ヲ以テヤルノデアルト仰セラレタ、米屋デアラウガ何デアラウガ、殆ド政府ノ機關デアツテ、其ノ政府カラ月給ヲ貰ツテ居ルノダカラ、官吏ト同様デアリマス、文官試験ヲ通過シテ役所ニ勤メテ居ル者ダケガ官吏デハナイ、米屋デアツテモ月

給ヲ以テヤラセルナラバ、ヤハリ官吏デス、サウ云フヤウナ譯デ結局是デモカ、是デモモカノカ、國民ハ皆惡イノダ、官吏ヨリ外ニ信賴スルモノハナイノダ、斯ウ云フ統制經濟ニナツテ行キマス、ガカラ結局米ノ配給ハ米屋ニ月給ヲ與ヘテ、其ノ範圍デ働ケト言フガ、月給取ニナレバ不親切ニナル、横柄ニナル、サウシテ國民ヲ誤ラスト云フコトニナリマシタナラバ、此ノ一億一心ヲ目標トシテ進ンデ居ル農林政策ト致シマシテハ、本當ニ私ハ注意スベキ點デハナカラウカ、モット他ニ執ルベキ方法ガナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、偶、茲ニ近頃ノ農林省ノ立テラレテ居リマスル所ノ色々ノ案ハ、ドウシテモ私ニハ社會主義化ノ如ク思ハレル、其ノ理論モヤリ方モ殆ド同様デアリマシテ、寸分違ハナイ、蠶絲局長ハ此ノ數日來ノ御答辯ニ依リマシテ、斯様ナ御考ヘデナイ、殊ニ農林大臣、農林次官共ニ最モ信賴スベキ役人デアリ、同時ニ政治家デアツテ、私共最モ信賴スル、決シテ「モスクワ」ニ通ズル道ヲ通ツテ居ル譯デナイト云フコトハ十分諒トスルガ、ドウゾ是デ食ヒ止メテ戴キタイ、此ノ思想ニ乗ツテ新シイ共產主義ノ運動ニ入り易イ、サウ云フ譯合ヒデアリマスカラ、私ハ寧ロ教ヲ乞フ意味合ヒニ於テ、斯様ナ議論ヲ申上ゲタ次第デアリマスガ、私ノ質問ハ大體是デ終ルノデアリマス、私ノ只今申上ゲタコトニ付キマシテ、何カ御答ガアレバ仕合セデアリマス

○吉田政府委員 只今小山委員カラ御述ベニナリマシタ事柄ハ、全ク御尤モノコトニ存ズルノデアリマス、私共大イニ同感致ス所デゴザイマス、凡ソ統制ニハ仰セノ通りヤリ方ノ如何ニ依リマス、反面非常ニ危險ナ所ガアリマスカラ、御意見ノ所ハ十分諒承致スデアリマス、要ハ運用スル人ノ根本ノ考ヘ方ガ今御話ニナリマシタヤウナ危險ナ方ニ墮シテ行クコトノナイヤウニ、極力留意致スコトニ注意シナケレバナラス、斯様ニ感ズルモノデアリマス、今後此ノ制度ガ出來マシテ、先程モ申シマシタヤウニ、此ノ制度ハ無論今小山サンガ御心配ニナツタヤウナ方向ニ向ケルコトヲ根本ニ考ヘテ仕組ンダモノデハ毛頭ナイノデアリマス、併シナガラ運用ノヤリ方如何ニ依リマシテハサウ云フ方ニ脱スル危險モナキニシモアラズトモ考ヘマスノデ、十分其ノ點ハ政府トシテモ運用ニ誤リナキヲ期シテ行カナケレバナラナイト云フコトヲ痛切ニ感ズル次第デアリマス

○小山倉之助君 分リマシタ、私ハ是デ終リマスガ、簡單デモ宜シウゴザイマスカラ、大體私ノ申上ゲタコトニ對シテ若シ大臣ニ御答辯願ヘレバ結構デアリマス

○高橋委員長 一寸高橋圓三郎君ト紅露昭君ニ御相談致シマスガ、高島龜太郎君ハ委員外デアリマスケレドモ、當局者ニ對スル質問ヲ希望サレテ數日來委員會ニ御臨ミニナツテ居ラレマスガ、此ノ場合ニ許シテ御異議アリマセヌカ——ソレデハ高島龜太郎君

シタイノハ、此ノ統制法ガ實施サレヨウトスル現在ノ過渡時代ニ於ケル關係業者ニ及ボシテ居ル當面ノ問題デアリマス、勿論是程ノ劃期的ノ變革デアリマスカラ、養蠶業ニモ、製絲業ニモ、總テノ關係業者ニ大ナル影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、ガ、特ニ製絲業者ニ對シテハ深刻ナル影響ト申シマスルヨリハ、近來ノ動キガ大イナル打撃ニナツテ居ルト云フコトハ當局モ御承知デアラウト思ヒマス、就中規模ノ小サイ中小製絲業者ニ至ツテハ實ニ慘澹タル狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ一二ノ例ヲ申上ゲテ見マシテモ、昨年ノ七・七禁令ガ出マシテ以來織物業ハ殆ド從來見タコトノナイ程ノ大打撃ヲ受ケマシテ、數箇月間苦境ニ陥ツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、是ハ一見蠶絲業ノ關係ヲ離レテ織物業者ノ利害ニナツテ居ルカノ如ク御考ヘニナルカモ知レマセヌケレドモ、其ノ織物業者ノ打撃ト一番離スコトノ出來ヌ關係ガアル爲ニ、同様ノ程度ノ苦痛ヲ嘗メマシタノガ中小製絲業者デアリマス、ナゼカト申シマス、大規模ノ製絲業者、例ヘバ三社ト言ハレテ居ルヤウナ會社、其ノ他ノ設備ノ大キナ所ハ元來輸出本位デアリマシテ、殆ド内地機業家ト關係ヲ有シテ居ラヌノデアリマスルケレドモ、中小製絲業者ニ至ツテハ大抵内地ノ消費ヲ當テニ致シテ居リマス、隨テ内地向織物ノ實行如何ト云フコトハ立チドコロニソコニ響イテ來ルノデアリマス、所ガアノ七・七禁令デ大ナル衝動、衝撃ヲ受ケマシテ、金額ニ至リマシテハ是ハ見方ノ相違デアツテ、色々推測ガサレテ居リマスルガ、一億數千萬圓ノ打撃デアツタト言ヒ、二億圓ヲ超シタ打撃デアツタト言フノ

○高島龜太郎君 委員外ノ私ニ發言ヲ許サレマシタコトヲ感謝致シマス、此ノ問題ニ付キマシテハ數日來委員會ガ繼續サレマシテ、大抵各部門ニ互ツテ質問モ繰返サレテ居ルト思ヒマスカラ、サウ云フ點ハ重複ヲ避ケマシテ、主ニ製絲部門ニ付テ二三御尋ネシテ見タイト思ヒマス、特ニ私ノ御尋ネ

デアリマスガ、兎ニ角織物業者ガ損失ヲ蒙ツタ爲ニ、中小業者ノ賣ル絲ガ數箇月間ニ互ツテ殆ド停頓シテ賣レナカツタノデアリマス、斯ウ云フコトハドウモ商工當局ト農林當局トノ連絡ガ缺ケテ居タ爲メデハナイカト思ヒマス、全然御打合せガナカツタモノトハ考ヘマセヌケレドモ、是程マデノ大ナル打撃ヲ製絲業者ガ受ケルト云フコトニ付テ、今少シ御認識ガ深カツタナラバ、何トカアノ際ニ是程マデノ事態ヲ惹起サセナイデ済ミ得ル方法ガアツタノデアリナイカト思ヒマス、左様ナコトデアリマシテ、今後トテモ國內ニ使用スル纖維ニ付キマシテハ商工當局ト一層緊密ナル提携ノ下ニヤツテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、差當ツテサウ云フ種類ノ比較的規模ノ小サナ、而モ數ニ於テハ割合ニ澤山ニアル小製絲工場ノ營メテ居リマスル苦痛ノ中ノ一ツハ今回ノ出荷制限ノ事柄デアリマス、是ハ大局上製絲ノ製品ヲ制限スル必要ヲ感ジテ、一律ニ出荷制限モ行ハレタコトデアリマスカラ、此ノコトニ付テハ規模ノ大小ト組織ノ如何ニ拘ラズ、大局ノ上カラ言ツテ否定スルコトノ出來ヌ事柄デアリマシテ、是ハ甘シジテサウ云フ制限ヲ受ケルト云フコトニ了解ヲシテ居ル譯デアリマス、ガ其ノ受ケ方ニ付キマシテハ、私ノ考ヘマスル所ニ依ルト、昨年農林當局ハ輸出絲獎勵ノ見地カラ、外貨獲得ノ見地カラ命令的ニ全國ノ製絲工場ヘ指圖ヲシテ、輸出生絲ヲ製造セシメタノデアリマス、命令ヲ以テセシメタノデアリマス、其ノ場合ハ只今申シマシタヤウナ中小業者ノ或ハ内地ヘ賣リ、或ハ輸出ニ賣リ、有利ナ方面ニ振向ケテ居タ所ノ工場ヲモ、悉ク輸出ノ實績ノ一度アツタモノハ命

令ヲ下シテ、是レノ數量ハ必ズ輸出ニ向ケネバナラヌト云フコトヲ言ツタノデアリマス、又忠實ニ當業者ハ之ヲ守ツテ居ルノデアリマス、忠實ニ守ツテ居リマスガ、内地へ賣ルナラバ、アノ際ハ内地ノ賣行ノ極メテ好イ時デアリマシタカラ、遙カニ高ク遙カニ有利ニ賣レルニモ拘ラズ、國策ニ順應スル爲ニ、農林省ノ方針ガソコニアル爲ニ甘シジテ輸出生絲ヲ挽イタノデアリマスカラ、少クトモ今回ノ出荷制限ニ付キマシテハ、此ノ昨年ノ政府ノ命令ニ依ツテ輸出ヲ致シマシタ數量ヲ本トシテ、ソレノ八割五分、一割五分減ト云フコトヲ算出サレタ數量ニ相成ルベキ筈ト存ジテ居タノデアリマスガ、實際ハサウデナクシテ、過去三年ノ實績ノ八割五分ト云フコトニ決マツタヤウデアリマス、農林當局ハ當初ヨリサウ云フコトニナルコトガ適當デアルト御考ヘニナツタノデハナカツタモノト想像ハ致シマスガ、一體是ハ純理カラ申シマスルナラバ、命令ヲ以テ製造セシメタモノノ數量ノ八割五分ニ當ラスコトガ適當デアツテ、何ノ根據モナイ過去三年ノ實績ノ八割五分ニサセルト云フコトニ付テハ、ドウモ理解ノ出來ス事柄ト存ズルノデアリマスガ、此ノ點ハ當局ハドウ御考ヘニナツテ居ルノデアリマスカ

○吉田政府委員 昨年所謂七・七禁止令ノ結果ト致シマシテ、直接的ニハ織物業者ニ非常ナ打撃ヲ與ヘタ結果ニナリマシタガ、ソレノミニ止ラズ、延イテハ其ノ原料ヲ作ツテ居ル製絲業者ニ非常ナル打撃ヲ波及致シマシタコトハ私共モ十分了承致シテ居ルノデアリマス、此ノ問題ハ商工省方面ニ於キマシテモ色々ト對策ヲ考究セラレマシテ、漸次七・七禁令ノ影響ノ緩和其ノ他落付カセルト云フコトニ付テ御努力ヲ願ツタノデゴザイマスガ、兎モ角斯ウ云ツタ國內ニ於ケル織物業者ニ原料ノ製造家タル製絲業界ニ非常ナ打撃ト混亂ヲ惹キ起シマシタ事實ニ鑑ミマシテ、何トカ將來斯様ナコトガ再ビ起ラナイヤウニ、又如何ナルコトガ起キマシテモ左様ナ際ニ業界ニ直接ノ打撃ヲ被ルコトノナイヤウニト云フ考ヘ方カラモ現在此ノ制度ニ致シマシタ理由ガ一ツアルノデアリマス、今日國內ニ於キマシテモ非常時デアリマスカラ、大キナ國家目的達成ノ爲ニハ各種ノ制度施設ヲヤツテ行カナケレバナラス、七・七禁令ノ如キモ全ク其ノ趣意ニ出タモノデアリマス、是ハ申スマデモナク今日ノ時局柄國民ノ憤ムベキ所ヲ憤マセルヤウナ趣意ノ下ニ出來タ制度デアリマス、此ノ制度自體ハ洵ニ結構ナ制度デアルト思ヒマスガ、兎モ角一部ノ業界ニサウ云フヤウナ現實ノ打撃ヲ與ヘタコトハ事實デアリマス、隨ヒマシテ先程モ申シマスヤウニ、今後トモ斯様ニ國內ニモ色々ト國家最高ノ目的カラ割出サレタ各種ノ制度ガ出來、其ノ制度ノ結果ト致シマシテ一部ノ業界ニハ色々ト所謂打撃ト云ツタヤウナコトノ起キルコトモ豫想サレマス、斯様ナ場合ニ業界ノ混亂不安ヲ極力ナクシテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘタ點ガ此ノ制度ヲ立テタ一ツノ理由デアリマス、殊ニ國內ノ問題ノミナラズ、今度ハ外交轉換ト云フヤウナ對外的ナ一ツノ外交方針ノ轉換ト申スカ、サウ云フヤウナコトガ行ハレマシテ、今度ハ外カラノ脅威ト云フコトガ更ニ加ハリマシテ、斯様ニ今後ハ外カラノ常時ノ脅威ガアリ、内ニ於テモ七・七禁令ノ打撃ハ緩和サレタニ致シマシテモ、今後又如何ナルコトガ起キナイト

モ限ラナイ、斯様ナ兩方ノ點ヲ考ヘマシテ、斯様ナ情勢下ニ於テ業界ヲ極力安固ナモノニシヨウト云フノガ此ノ制度ヲ作ルニ至ツタ根本ノ動機デアリ理由デアルノデアリマス

ソレカラ出荷制限ノ問題ニ付キマシテ、出荷シ得ル製絲家ノ範圍ヲ決メルノニ、昨年所謂出荷命令ヲ出シタ、昨年ハ内地ノ方ガ非常ニ有利デ、輸出ノ方ニ出スモノガ非常ニ不利デアツタ、其ノ時ニ已ムヲ得ズ政府ト致シマシテハ製絲家ノ一定範圍ノ人ニ對シマシテ輸出額ノ出荷ヲ命令致シマシタ、其ノ時ニ出荷命令ヲ受ケタ人ガ謂ハバ非常ニ損ヲ致シタト云フ事實ハ認メテ居ルノデアリマス、今度其ノ逆ニ出荷制限ヲセザルヲ得ナイ情勢ニナツタ際ニ、此ノ出荷制限ヲサレル人ハ昨年命令ヲ受ケタ人以外ノ人ニ出スベキデアルト云フ御説御尤モト思フノデアリマス、吾々モ此ノ出荷制限ヲ致シマスノニ今高島サシノ仰シヤツタヤウナ考ヘ方モ致シマシテ、大體昨年出荷ヲ致シマシタ實績ノ八割五分ト云フ風ニ決メタルノガ適當デアラウカト思ツテ其ノ案モ考ヘタノデゴザイマス、理窟ハ一應サウ云フコトニナリマスガ、併シ左様ニ致シマス、ト、出荷シ得ル製絲家ノ人ノ範圍ガ非常ニ狭バリマシテ、謂ハバ或ル特定ノ少數ノ人達ダケガ非常ニ多ク出荷出來ル、今日横濱、神戸ニ出荷致シマスモノハ比較的有利デ、内地ガ不利デアル、斯ウ云フ狀態ノ際ニ横濱ニ皆出荷シタイノガ多勢デアリマス、其ノ時ノ制限ヲ昨年出荷ノ命令ヲ受ケテ非常ニ犧牲ヲ拂ツタ人達ニ有利ニナルヤウニ考ヘテヤルト云フコトハ一應御尤モニモ考ヘタルデアリマス、吾々ト致シマシテモ左様

ニ一應ハ考ヘタノデアリマスガ、是ハ結局其ノ有利ナ立場ヲ製絲家全體ガ公平ニ分配スルト云フヤウナコトモ一面考ヘナケレバナリマセヌシ、業界ノ色々ナ相談ノ結果モ成ベク人ノ範圍ヲ有利ナト申シマスガ、横濱、神戸ヘ出シ得ル人ノ範圍ヲ今日ニ於テ相當擴大テ有利ナ立場ヲ公平ニ分ケルト云フヤウナ考ヘ方モゴザイマシタノデ、過去三箇年ノ間ニ於テ出シタモノノ平均ノ八割五分、サウスルト出荷數量ニハ大シタ違ヒハゴザイマセヌガ、出荷シ得ル人ノ範圍ニ於キマシテハ、相當廣クナツテ參リマス、此ノ人ノ範圍ヲ廣クスルカ、狭クシテ昨年犧牲ヲ拂ツタ人達ヲ本位ニ考ヘルカ、斯ウ云フ問題ニナルノデアリマスガ、現在出荷制限ト云フコトニ致シマシタノハ、成ベク廣イ範圍ニ於テ其ノ出荷ノ利益ト申シマスカ、有利ナ立場ヲ受ケサセルコトガ宜カラウト云フ業界ノ輿論デモアリマシタノデ、ソレニ基キマシテ現在ノヤウニ決メタ次第デゴザイマス

○高島龜太郎君 ドウモ其ノ點ガ私ニ腑ニ落チナイノデアリマス、昨年ノ出荷命令ニ依ツテ出荷シ、輸出命令ニ依ツテ輸出シタモノノ平均行ケバ、頭數ガ少クナル、過去三年ノ平均行ケバ多クナルト云フコト自體ガ大ナル相違デハナイカト思フノデアリマス、寧ロ反對ニ行ツタ方ガ一般ノ出荷シタ者、輸出シタ者ニハ均霑スルコトニナリマス、過去三年繼續シテ輸出シタモノハ概シテ大製絲業者デアリマス、大製絲業者ハ輸出バカリデアリマスカラ、ドノ年ヲ取ツテ計算致シマシテモ、大キナ開キハ出來ナイノデアリマス、中小製絲業者ハ内地ガ好ケレバ内地ヘ出シ、輸出ガ好ケレバ輸出ヘ

出スカラ、過去三年ノ平均ト、昨年ダケノ平均ハ大分違ツテ居ル、昨年ハ政府ノ命令ニ依ツテ犧牲ヲ拂ツテ輸出ニ變更ヲシタノデアルカラ、少クトモ犧牲ヲ拂ツタ者ノ心持ニ適應スルヤウニ、ヤハリ昨年ノ數量ノ八割五分ダケハ認めテヤル、其ノ三年間ノ平均スルトハ八割五分ガ三割ニモ當ラヌコトニナツテ、殆ド有名無實ニ終ルカラ、昨年ノ政府ノ命令ニ依ツテ苦痛ヲ忍ンデヤツタ者ニ對スルハ八割五分ハ出荷ヲサセテヤルト云フ位ノ親切味ハ當然農林當局トシテ御持チニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、當業者關係ノ輿論ト云ハレマスケレドモ、當業者ノ輿論ト云ヘバ、恐ラク製絲組合聯合會アタリノ意向デハナイカト存ジマス、其ノ聯合會ノ意向ト云フモノカラシテガ、大體大組織ノ製絲ノ代表者ヲ以テ出來テ居ルヤウナ感じヲ何時モ抱カセルヤウナ組織ニナツテ居リマスルシ、又中小製絲業者ノ聲ガ何事ニ付テモ甚ダ通りガ惡イノデアリマス、デアリマスカラ、其ノ事柄ナドモ甚ダ實際ト副ハス事態ヲ生ジマシテ、要スルニ昨年苦痛ヲ忍ンダ者ガ甚ダ馬鹿ヲ見タヤウナ結果ニナツテ居リマス、併シ此ノコトヲ是レ以上追究致シマシテモ、大體ニ決マツタコトニ付テ今更變更ノ仕方ハナイ、是ハ非常ニ困難ナコトデアルト存ジマスガ、唯一ツ此ノ場合緩和シ得ル方法ト致シマシテハ、サウ云フ風ニ昨年政府ノ出荷命令ヲ忠實ニ守ツテ出荷シテ居ル者ノ數量ノ八割五分ガ過去三年ノ平均ノ八割五分ニ届カヌモノニ限ツテハ、昨年ノ八割五分ニシテ出荷セシメル、輸出検査ヲセシメル、若シクハ一種ノ緩和方方法ヲ執ツテ見ラレコトハ如何デアルカ、ソレ位ノ親切味

ハアツテモ宜イデヤナイカ、是程ノ大打撃ヲ受ケテ居ル中小業者ニ對シテハ併シ其ノ數量ガ今日出荷制限ヲスルト云フ時代ニ、甚ダシク大ナル影響ヲ及ボス程ノ増加デアラナラバ、是ハ大局ノ上カラ言ツテ容易ニ認めニクイ事柄デアリマスケレドモ、其ノ點ハ業者ノ頭數ハ多イノデアリマスケレドモ、幸ヒニ大體規模ガ小サイモノデアリマスカラ、全體カラ見マスルナラバ、先ヅ數量ト云フモノハ微々タルモノデアラウト思フノデアリマス、一人々々ヲ檢討スルコトハ今許シマセヌケレドモ、中ニハ三年平均ノモノモ、良イモノガ稀ニハアルカモ知レマセヌガ、要スルニ昨年ダケノ実績ノ八割五分ノ數量ガ三年平均ノ數量ニ達セヌモノダケハ三年平均ダケニハ達セシメテヤル、斯ウ云フコトニ扱ヒマシテモ全體ノ產額ヲサウ多ク増スコトニハナラヌト思フノデアリマス、況シテ昨今ハ出荷制限ノ效キ目ガ現ハレテ參ツテ、寧ロ市場ニハ適品拂底ノ聲ヲ聞ク場合デアリマスカラ、此ノコトニ付テハ當面ノ對策トシテ其ノ程度ノ緩和方方法ハ講ゼラレナケレバナラヌモノデアルト思フ、又當業者ノ聲トシテモ悲痛ナル要望ヲ聞クノデアリマスガ、當局トシテハ此ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマセウカ、ヤツテヤルト云フ御考ヘノ下ニ御調査ヲ進メテ貰フコトヲ私トシテハ切望ニ堪ヘヌノデアリマスガ、御考ヘノ程ヲ承ツテ置キタイ

○吉田政府委員 七。七禁令ノ制定以後今日ノ織物業界ニ混亂ヲ來シマシテ織物業界ノ立直リガ相當遲延致シマシタ爲ニ、國內ノ生絲ノ實行ト云フモノガ非常ニ圓滑ヲ缺キマシタ、其ノ爲ニ國內向ノ生絲ヲ製造スル者ガ非常ナ無理ナ狀態ニ立ツタノデアリマス、政府ハ外貨獲得、輸出振興ノ見地カラ絲價維持ニ努メテ居ルノデアリマス、斯様ナ國內事情ニ引摺ラレテ輸出生絲ガ下ルヤウナコトニナツテ、外貨獲得ニ遺憾ノ點ガアツテハナラヌト云フ考ヘ方カラ輸出向生絲ニ對シテ價格ノ維持ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、斯様ナ關係カラ横濱ニ出シテ輸出向ト申シマスガ、帝蠶ニ賣レバ相當値ニ出ルト云フ事實ノアルコトモ尤モデアリマス、併シナガラ此ノ絲價維持ハ其ノ後相當ノ金額ヲ以テ繼續致シテ居ルノデアリマスガ、何トカシテ此ノ政府ノ絲價維持ノ爲ニ使ツテ居ル金ヲ細ク長クケチニ申スノデハゴザイマセヌ、細ク長ク之ヲ使ツテ行ク、長ク掛ツテ市價ヲ維持スルト云フ效果ヲ擧ゲタイト云フ見地カラ、一時ニ横濱神戸ニ賣レバ、結局輸出トハ申シマスルガ帝蠶ニ持ツテ行クト云フ形ニナリマシテ其ノ爲ニ大急ギデ絲ヲ挽イテ横濱、神戸ヘ出ス、斯ウ云フコトデハ折角ノ市價維持資金ガ極メテ短期間ニ使ハレテシマフ、サウシテ絲ノ相場ハ浮上ラナイ、外貨獲得ニ非常ニ損デアル、斯ウ云フヤウナ狀態カラモツト此ノ趣意ガ合理的ニ進ミマスルヤウニ色々ト考ヘマシタ結果、是ハ細ク長ク出サセテ、長ク絲價維持ヲシ得ルヤウナ、要スルニ效果のナラシムルヤウニ吾々ハ考ヘマシテ、出荷ニ或ル程度ノ犧牲ト云フコトヲ考ヘタノデアリマスガ、是ハ早くカラ考ヘタノデアリマスケレドモ内地ノ方ノ消費ノ圓滑ガ、依然トシテ停滯シテ居ルヤウナ狀態ノ際ニヤルコトハ、却テ國用ノ方ニ重リヲ掛ケルヤウナ逆結果ニナルコトヲ惧レマシテ、其ノ時機ヲ見テ居ツタノデアリマス

ガ昨年ノ暮、本年ノ初メニ當リマシテ、漸次國用ノ方モ立直ツテ參リマシタ情勢ニナリマシタノデ、ソコデ始メテ出荷制限ト云フヤウナコトヲ致シタノデゴザイマス、此ノコトニ付キマシテハモウ少し早カラヤル方ガ宜カラウト云フコトヲ考ヘテハ居ツタノデアリマスガ、其ノ副作用ヲ惧レテ延バシテ居ツタノデアリマス、幸カ不幸カ内地ガ動キ出シテカラト云フコトデアリマシタ所ガ、幸ヒニ今日御話ノ通り生絲ノ相場モ浮上ツテ參リマシタ、輸出ノ生絲ノ相場モ相當浮上ツテ來マシテ效果ハ現ハレテ居ルモノト思ヒマス、國用生絲ノ方面モ動キ出シテカラヤリマシタ關係上、横濱、神戸ノ相場ガ浮上ツタニ伴レマシテ内地ノ方モ相當活況ヲ呈スルヤウナ現狀ニナツテ參ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、先程御話ニアリマシタヤウニ、今日デハ漸次横濱ニ出スノモ内地ニ賣ルノモ價格ノ點ニ於テハ左程隔タリガナイヤウニ、要スルニ損得ノ關係デハ漸次甲乙ナシト云フヤウナ傾向ニナリツツアルノデアリマシテ、是ハ主トシテ私共此ノ出荷制限ヲヤリマシタコトガ動機ニナリマシテ、是ガ確實ニ行ハレルト云フ、市場心理ニ對シマシテ左様ナ好影響ヲ與ヘテ居ル結果ダラウト想像致シテ居ルノデアリマス、今御話ノ點ハ此ノ數量其ノ他ニ付テ見マスレバ僅カナ數量カト思フノデアリマスガ、茲ニ折角定メテ嚴重ニ實行致シテ居リマスル此ノヤリ方ヲ、實際算盤ヲ彈イテ今高昌サンガ仰ツシヤツタヤウナ風ニ致シマシテドレダケノ數量ガ出ルカ、僅カノ數量デアルカモ存ジマセヌガ、之ヲ變ヘル、緩和スル、嚴重ニ出荷制限ヲ履行シテ居ルト云フ此ノ信頼カラ相場ガ浮上ツ

テ居ル際ニ、幾分ナリトモ之ヲ緩和スル、之ヲ模様替ヘスル、サウシテ緩和スル、其ノ爲ニ出荷ガ増ス、其ノ數量ハ僅カデアツタニ致シマシテモ、斯様ニ緩和スルト云フコト自體、今日相場ヲ持上ゲテ居ル此ノ人氣、即チ市場心理ニ非常ナ惡影響ヲ及ボシハシナイカ、斯様ナ點ヲ懸念スルノデアリマス、斯様ナ見地カラ御話ハ御尤モノ點モアルト思ヒマスガ、此ノ際現在定メテ實行シテ居ルヤリ方ヲ變ヘルコトハ適當デナカラウト考ヘテ居ルモノデアリマス、サウシテ先程申シマシタヤウニ内地ノ方ノ相場モ相當上ツテ來テ居ルヤウデアリマスカラ、横濱、神戸ヘ出荷致シマスルモノガ制限サレタ爲ニ、内地ニ賣ラナケレバナラヌモノトノ兩者ノ間ノ利害ノ關係ハ漸次差ガ無クナツテ參ツテ居ルヤウナ實情デアリマスカラ、此ノ際強ヒテ今行ツテ居ルヤウナ出荷制限ノヤリ方ヲ緩和スル意味ニ於テノ修正ト云フコトハ寧ロヤラヌ方ガ宜シイ、斯様ニ見テ居ル者デゴザイマス

○高島龜太郎君 サウ致シマス、茲ニ持越薩ニ付テ甚ダ困ツタ事態ガ生ジテ來ハセヌカト思フノデアリマスガ、當局ハ先日來、他ノ委員會ノ質問ニ對シテモ、昭和十五年產ノ繭ハ絲價維持ノ爲ニ現在出荷ヲ制限致シテ居ル結果持越トナツテ、十六年六月以後ニ殘ルモノガ生ズル、ソレニ付テハヤハリ大局的ニ絲價維持ノ爲ニサウシタモノデアルト云フ見地カラ、又其ノ他ノ理由カラ兎モ角絲價維持ノ中心トシテ十五年產ノ繭ハ十六年六月以降ニ互ツテモ千三百五十圓ト云フ現在ノ絲價維持標準値ニ副フヤウニ生絲ヲ買上グルカラ同ジ理窟ニナルト云フ御説明ヲ繰返サレテ居ルノデアリマスガ、今言

ハレマシタヤウナ風ニナリマスルト、中小製絲業者ノ輸出制限ヲ受ケテ居リマス者カラ言ヘバ之ヲ引離シテ六月以後マデ待ツテ、或ハ七月、八月、九月ニ互ツテ初メテ千三百五十圓ニ相當スル生絲ヲ賣ル途ガ開ケルヤウナ感ガスルノデアリマシテ、當分ニ出會フコトガ出來ヌノデアリマス、然ルニ大規模ノ所デアリマシタナラバ、サウ云フ手モ事實上利クカモ知レヌノデアリマスガ、先刻來申シテ居リマス程度ノ中小業者ニ致シマシテハ假令其ノコトガ六月以降確實ニ行ヒ得ルモノト致シマシテモ、一月二月ヨリ五月ニ至ル數箇月間生絲ヲ製造セズ、或ハ製造シタ生絲ヲ賣ラズニ持越スト云フコトハ、理窟ノ上デハドウトモ言ヘルカモ知レマセヌガ、實際ニ於テハ不可能ナコトデアリマシテ、ミス、内地ヘ安ク賣ル外ナイノデアリマス、内地ノ生絲ノ價格ガ接近シタト言ハレマスケレドモ、尙ホ今日ニ於キマシテモ十四中「エ」格ハ輸出ニ於テ千四百四十圓デアリ、同ジモノガ内地ヘ向ケレバヤツト千三百四十圓デアリマス、二十一中「エ」格ハ輸出ニ賣レバ千三百二十圓デアリ、内地ヘ向ケレバ恐ラク千二百七、八十圓ヲ出ヌモノト思ヒマスカラ、尙ホ多大ノ懸隔ヲ生ズル、ソレダケノ懸隔ガアルニ拘ラズ、所謂大局ニ順應スルト云フコトノ爲ニミス内地ヘ安ク賣ラネバナラヌ實情ニ出會ツテ居ルノデアリマス、是ハ理窟ノ上カラハ六月以降マデ持越セバ絲價維持ノ千三百五十圓ト云フ價格ニ均霑シ得ル理窟デハアリマスケレドモ、實際ハソコマデハヤリ切レヌト云フ實情デアリマス、其ノ事ハ當局モ恐ラク御考ヘニナリ得ル事態デアルト存ジマスルガ、ソレデモ只今ノ如キ御考ヘ

デ進マレルコトハ私トシテハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマシテ、願クハ今一層慎重ニ、少クトモ調査ヲシテ見ラレル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、尙ホ假令今ノ御説明ノ如キモノト致シマシテモ持越薩ヲ今ノ當局ノ言明ヲ忠實ニ守ツテ六月以降ニ所有致シマシタシテ、ソレガ今度ノ機構變革ノ爲ニ不幸ニモ輸出向ノ生絲トナラズシテ内地向工場ニ指定サレマシタ場合ハドウナリマスカ、恐ラクサウ云フ規模ノモノハ、私ノ考ヘマスル所ニ依レバ大部分内地向生絲ヲ製造スルコトニナルノデハナイカト思ハレマスガ、サウシマス表面ハ絲價維持ノ爲ニ千三百五十圓ト云フモノガ輸出ニ於テ堅持サレマスガ、内地向ニナレバ恐ラクソレヨリ相當安イ價格ニナルコトハ明カデアリマス、持越シタ繭ガ絲價維持ノ價格ニ均霑スルト云フコトハ有名無實デアツテ、生絲ノ製造ノ向ケ方ガ變ツタ爲ニ何トモ話ニナラヌ結果ヲ見ハシナイカト云フコトヲ悞レルノデアリマスガ、農林當局ハ此ノ點如何ヤウニ處置ナサラウトスルノデアリカ、假ニソレガ國用生絲工場ニ指定サレタト致シマシテモ、其ノ持越薩ニ付テハ千三百五十圓ニ相當スル價格ニ生絲ヲ賣リ得ル途ヲ開カレル御積リデアリカ、明確ナル御考ヘヲ伺ヒタイノデアリマス、今一ツ是モ關聯シタコトデアリマスカラ御尋ネシテ置キマスガ、製絲組合聯合會ニ於テ此ノ際減釜ヲ行ハウトシテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、減釜ヲ行ヒマシタ結果廢業致シマシタ工場ノ六月以降ニ互ル持越繭ノ處理ニ付テ何カ適當ナ方法ヲ以テヤハリ千三百五十圓ト云フ標準ニ繭ヲ處理シ得ル途ヲ開カレル御考ヘデアリマスガ、重要

ナル事柄デアリマスノデ、此ノ際御明答ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○吉田政府委員 出荷制限ニ依ツテ製造販賣ヲ或ル僅カナ數量、繰延ヲセザルヲ得ナイヤウニナツタコトニ對スル或ル程度ノ苦痛ハ諒承致シマス、併シシナガラ繰延ベタ僅カノ數量ノ生絲ニ付テノ面ダケヲ御覽ニナツテ貫ツテハドウカト思フノデアリマス、例ヘバココデ百俵出スモノガ八十五俵シカ出セヌコトニナツタ、今高島サンノ仰シヤツタノハ少シ別ナ理由モアツタノデアリマスガ、ソコデ十五俵今月賣リタカツタモノガ來月ニナツタ、六月マデニ片付クモノヲ七月マデ掛ツテ、或ル程度延バシテ賣ラナケレバナラナクナツタコトニ對スル不平ノヤウニ考ヘマスガ、十五俵ヲ延バスコトニ依ツテ八十五俵全體ノ値ガ浮上ツタ利益ト云フコトモオヒ考ヘテ貫ハヌト困ルノデアリマス、十五俵ハ今月早ク片付ケル積リデアツタモノヲツイ延バサレテ出荷出來ナカツタ、ソレダケヲ見マスルト成程無理デアリ苦痛デアルヤウニ見エマスガ、後ノ八十五俵全體ガ其ノ結果トシテ値ガ浮ビ出テ全體ノ値上リニナツテ居ルト云フ事實ヲ御考ヘ願ヘレバ、私ハ先ニ延バサレタ荷物ニ對スル苦痛ト云フモノヲ緩和シテ、感ジテ貫ヘルト思フノデアリマス、狙ヒハ延バスコトデ窮屈ニサセルト云フコトニアルノデハナイ、果シテソレデ先程申シマシタヤウニ相當效キ目ガアリマシテ、相場ガ上ツタ、八十五俵全體ノ荷物ガ、十圓、二十圓ツツ値ガ動イタ、ソレヲ遮ニ無二今月片付ケナケレバナラヌトスレバ、全體ノ荷物ノ「レベ」ガ下ツテ居ツタデアラウモノガ、サウ云フコトヲシタコトニ依ツテ上ツテ居ル、此

ノ點ノ利益ハ默ツテ置イテ、延ビル方ノ苦痛ダケヲ論ズルヤウナコトデハ私ハ何時ニナツテモ製絲家ノ方ハ——中々價格維持ト云フコトハウマク行カスト思フノデアリマス、是ハ何モ高島サングケノコトヲ言フノデハナイノデアリマス、ココニハ大製絲、中小製絲色々デゴザイマス、斯ウ云ツタヤウナ點一ツ製絲家各位ニ於テ御考ヘ願ヘルナラバ、不平ト云ツタヤウナ點モ餘程緩和シテ御感シ願ヘルコトト思フノデアリマス

○高島龜太郎君 ソレハ仰シヤルヤウニ八十五俵ガ有利ニ賣レテ十五俵ガ殘ルナラ問題ハナイ、ソレ位ノ苦痛ハ何人ト雖モ斯ウ云フ時局デスカラ忍バナケレバナラスノデアリマスガ、先刻來言フヤウナ立場ニ居ル者ニ限ツテ十五俵ダケガ有利ニ賣レテ、八十五俵ヲ持越スヤウナ結果ガ出テ來ルノデアリマスカラ御考ヘ願ヒタイト云フ譯デアリマス、尙ホ此ノ點ニ付テハ御研究ヲ願ヒマス

次ニ今度ノ新組織ニナリマシテノ繭配給ノ點デアリマスガ、製絲原料トシテ配給ナル繭ハ全國ノ數量ガドノ程度ニナリマスカ分リマセスケレドモ、兎モ角出來タダケノモノヲ全國のニ一定ノ率ヲ以テ御分ケニナルモノト私共ハ承知シテ居リマス、然ルニ近頃府縣當局ノヤツテ居ル所ヲ見マスルト、寧ろ府縣別ニ割據的ニ、例ヘバ長野縣ハ長野縣、大分縣ハ大分縣、愛媛縣ハ愛媛縣ト云フヤウニ、府縣ノ產額ヲ調査シテ、ソレダケハ縣内ニ保持シテ、縣内デ分配ヲスルト云フ考ヘ方ニ多クノ府縣當局ハナツテ居ルノガ事實ナノデアリマス、是ハ恐ラク本省ノ方針ガ徹底致シテ居ラス、中間

デアルカラサウ云フ事態ヲ生ジテ居ルノデハナイカト存ジマスルガ、若シアア云フ風ニ行キマスルト、甚ダ不自然ナ結果ヲ招來スルノデアツテ、製絲業者ノ多クシテ、產額ノ少イ所ハ極メテ僅少ナ割當ニナル、然ラザルモノハ割合多量ノ割當ヲ見ルヤウニ相成リマシテ、益々此ノ過渡期ニ於ケル物ノ調節ヲ不圓滑ナラシメル惧ガアルト思フノデアリマス、私ハ其ノ實例ヲ知ツテ居ルノデアリマスガ、或ル府縣ニ依リマスルト、既ニ製絲業者ニ對スル割當ヲモ縣當局デ取極メテ、ドノ工場ニハドレダケシカ渡サス、或ハ自分ノ縣カラ他ノ縣ヘ從來出シテ居タ數量ノ一割カ二割位シカ渡サスト云フヤウニ、府縣ガ割據主義ニナツテ居ルト云フヤウナ事態ヲ生ジツアルノデアリマスルガ、是ハ本省ノ方針ハ勿論サウデナカリサウニ思ヒマスルケレドモ、ドウ云フ點デ府縣當局ノヤリ方ニ只今申シマスルヤウナ事柄ヲ出來セシメテ居ルノデアリマスルカ、承リタイノデアリマス

○吉田政府委員 會社デ一手ニ買取りマシタ新シイ繭ノ製絲家ニ對スル配給ニ付キマシテハ、地方的ニ、各縣「ブロック」毎ニ縣内ニ公平ニ配給スルト云フ考ヘ方デナクシテ、全國一率ニ公平ヲ期スルト云フ考ヘ方デ進ミタイト思ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ生産サレタ繭ヨリモ消費ノ多イ府縣ニ於キマシテハ、何レ他府縣カラ繭ヲ廻シテ來ル、今日マデモソレハ必ズ何處カ餘所ノ地方カラ買ツテ來テヤツテ居ツタニ違ヒナイノデアリマス、大體自ラ途モ付イテ居ルコトト存ジテ居ルノデアリマシテ、大體從來ノ徑路ヲ辿リ、餘リ遠方カラ來テ居ルヤウナ地方ニ於テハ適當ニ之ヲ修正スル、原則

トシテ先ヅ附近ノ縣カラ買ツテ居ルモノニハ附近ノ縣カラ廻ス、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ、全體のニ國家ヲ一元トシテ繭ガ公平ニ渡ルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、今「ブロック」的ニ縣々デ公平ニ分ケテヤラウト云フ風ニ府縣ノ當局ガ考ヘテ居ルヤウダト云フ御話ハ、私モ最近耳ニスルノデゴザイマスルガ、ソレハ何モ指示シタコトデハナク、唯ドウ云フ風ニ繭ガ出來、ドウ云フ風ニ消費サレ、ドウ云フ徑路デドノ地方カラ今マデ買ツテ居ツタカト云フ實情ヲ色々ト參考ノ爲ニ聞イテヤツテ居ルカト思ヒマス、其ノ調ベヲシテ居ルダケノ話デアリマスルガ、何カ縣内ノ繭ハ縣内デ分ケルコトト云フヤウニ感違ヒヲシテ居ルノデハナイカト想像スルノデアリマスガ、考ヘ方ハ決シテサウ云フ風ニハシテ居ラナイト云フコトヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○高島龜太郎君 サウ致シマスルト、何レ今後產額ヲ御調査ニナツテ適當ナル分配ヲナサル、要スルニ其ノ考ヘ方ハ、全體ノ増減ハ別ト致シマシテモ、各府縣ニ分配スル配給ニ至ツテハ同ジ割合デ行クモノト考ヘテ宜シウゴザイマスガ

○吉田政府委員 製絲家ニ渡ル繭ノ數量ニ付キマシテハ、全國のニ公平ニ分ケテ行クト云フ考ヘ方デ案ヲ立テテ積リデ居ルノデアリマス、是ハ製絲ノ各團體ノ會議ノ際ニモ此ノ點ハ明瞭ニ申シテ居ルノデアリマス、併シマダ徹底致シテ居リマセスガ、無論此ノ制度ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、直グニデ業者ノ方ニ御集リ願ツテ、其ノヤリ方等ニ付テノ具體的方針ヲ定メ、各府縣ノ技術者等モ集メテ、此ノ實行方法

ニ付テトツクリト間違ヒノナイヤウニ致シタイ、斯様ニ今考ヘテ居ルノデゴザイマス

○高島龜太郎君 繭配給ノ單位ハ、吾々ノ聞イタ所ニ依リマスルト、三百釜標準ニ行カウト云フヤウニ聞イテ居タノデアリマス、昨日他ノ委員ノ方カラアナタニ假ニ五百釜トスレバ云々ト云フ質問ガアリマシテ、別ニサウデナイト云フ御明言モナカツタヤウニ思ヒマスルガ、當局ノ考ヘハ三百釜ナノデスカ、五百釜ナノデスカ

○吉田政府委員 三百釜、五百釜ト云フコトハ、大分間違ツテ傳ハツテ居ルカノ如キ感ガ致スノデアリマス、設備ノ大キイ製絲工場ニ對シマシテハ、此ノ會社カラ大口ナラバ一人ノ製絲家ニデモ配給ガ出來ルト思ヒマスガ、唯小サナ設備ノ製絲家ガ澤山アリマスルノデ、此ノ會社カラ繭ノ配給ヲ致シマスル際ニ、五百貫、七百貫ト小賣ヲスルヤウナ賣リ方ハ餘程困難デアル、所ガソレガ圓滑ヲ缺ケバ兩方不便デアラウ、斯様ニ考ヘマスルノデ、此ノ會社ト生絲ノ原料タル繭ノ賣買ヲスル單位ヲ、個人ノ製絲業者ニシナイデ、小サナモノハ組合ト云フ形デ、茲ニ一ツノ大キナ單位ヲ作ツテ貰ヒ、ソレヲ相手ニ卸賣的ニ、大量ノモノヲ一時ニ渡ス、無論ソレニハ各釜ニ付キマシテ公平ナ數量ヲ以テ計算シタモノヲ以テヤル譯デアリマスガ、大口ニ配給スルヤウニ致シタイト云フコトカラ、茲ニ固マツテ貰ヒタイ、要スルニ原料ノ購入、製品製造、生絲ノ販賣ノ關係ニ於テ固マツテ貰ヒタイト云フノガ骨子ナノデアリマス、ソレハドノ程度ト云フコトデアリマスルガ、ソレハ大キケレバ大キイ程宜イノデアリマス、愛媛ナラ愛媛ノ大キナ人ガ總テノ小サナ人達ニ縣一圓デ集

マツテ貫ツテ、全體デ此ノ會社カラ一舉ニ何十萬貫ト配給シテ貫フヤウニ願ヘレバ益、結構ナコトト思ヒマスガ、サウ云フコトハ實行ガ困難デアリマスノデ、出來得ル限リ購入スル小サナ製絲家ガ、會社ノ相手トナツテ賣買スル場合ニ、其ノ單位ノ數ヲ少クシタイ、斯ウ云フコトデアリマス、其ノ最小限度ノ程度カト云フコトニ付キマシテハ、先ヅ五百釜位ガ結構ト思ヒマスガ、三百釜程度デモ宜イ、基準トシテハ三百釜程度ト云フコトヲ一應ノ目標トシテ、サウ云フヤウニ纏マルヤウニ勸メテ居ルノデアリマス、併シソレガ五十釜足りナクテ、二百五十釜シカ纏マラナカツタ云フコトガアツタト致シマスレバ、ソレモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、唯一ツノ纏メル基準ト致シマシテハ、最初三百釜程度デハ如何ナモノデアルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル標準ニ過ギナイコトヲ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高島龜太郎君 今一ツ御尋ネ致シテ置キタイノハ、自然サウ云フコトニナリマシテ、今回ノ機構變革ノ爲ニ何ト云ツテモ製絲業者ハ整理合同ヲシテ行ク必要ヲ生ズルノデアリマシテ、殊ニ先刻來申シテ居リマスルヤウナ中小業者ハ此ノ場合合同ヲスルカ、或ハ繭配給ヲ受ケル上ノミカラ言ヘバ共同製絲組合ヲ作ツテ、繭ノ配給ヲ受ケルカ、何ニシテモ從來トハ違ツタ結合ニ依ツテ初メテ生存シテ行クコトガ出來ル狀態ニナルト思フノデアリマス、サウ致シマスルト製絲業法ニ規定サレテ居リマスル一工場ノ釜數ハ百五十釜デアツテ、法實施前ノモノハ其ノ儘認メテアリマスルケレドモ、今後新ニ設置スル場合ハ百五十釜ト云フコトニナツ

テ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フ非常ナル變化ノアツタ場合デアリマスルシ、又當業者モ此ノ大勢ニ順應シテ合同ヲシテ行カウ、減釜ヲ實行シヨウト云フ場合ニ生ジマスル工場ノ併合ニ付キマシテハ、假ニ百五十釜以内ノモノガ土地ノ事情ニ依ツテ生ジマシテモ、廢メル釜數ヨリ新ニ出來ル、合併サレタ釜數ガ多クナラヌ限リハ御認メニナル方針デアリマスルカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○吉田政府委員 製絲工場ノ合併トカ整理トカ云フコトハ、直接ニ此ノ制度ノ上ニ於キマシテハ何ニモ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、合併ノ問題ハ此ノ配給ノ問題トハ全然別デアリマシテ、配給ノ爲ニ單位ヲ少クシ、固マリ大キクシテ貫ヒタイト云フ意味ハ、合併ヲサセルト云フヤウナ考ヘ方デハ毛頭ナイノデアリマシテ、此ノ制度ト致シマシテハ、左様ナ場合ヲ豫想シテ考ヘ方決メテ居ル所ハ一ツモナイノデゴザイマス、斯ウ云フコトニナリマスレバ、漸次自然的ナ傾向トシテ、合同スル方ガ宜カラウト云フ自發的ナ各業者ノ考ヘ方デ合併サレルト云フヤウナ傾向ハ起ルカト存ジマスルガ、ソレハ決シテ此ノ制度デ企業ノ合同ト云ツタヤウナコトハ何ニモ考ヘテ居リマセヌト云フコトヲ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高島龜太郎君 勿論此ノ法自體ニ企業ノ合同ト云フ意味ハ含マレテ居ラヌノデアリマスルケレドモ、是ノ運用ト、今後蠶絲界ノ進ンデ行キマスル方向カラ見マスルト、ドウシテモ小規模ノモノハ整理合同ヲスルノ外ナイコトニナルト思フノデアリマス、デスカラサウ云フ場合ニヤハリ從來ノ百五十釜ト云フアレヲ堅持サレルノデアリマス

ルカ、或ハ此ノ製絲聯ノ行ツテ居ル減釜ヲ實行スルニ付テハ、多少緩和シテ認可ヲ與ヘヨウト云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアルカ、此ノ製絲聯ガヤツテ居リマスル事柄デモ、全然農林省ガ御承知ニナツテ居ラヌトハ違ツテ、始終農林省トハ緊密ナ提携ヲシテ、本旨ニ副フ如ク行ヒツツアルモノト思フノデアリマスカラ、サウ云フ減釜ノ計畫ガ各地方ニ於テ實現シマスル場合ニ、小サナモノガ、例ヘバ五十釜、七十釜、百釜ト云フヤウナモノガ集ツテ、サウシテ釜ヲ減シテ尙ホ殘ラウト云フモノノ合同サレタ會社ガヤハリ百五十釜以内ノ場合デハイケナイノデアリマスルカ、多少ソレハ緩和シテ考ヘテヤツテモ宜イト云フ御方針ナノデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 今モ申シマスヤウニ、ソレハ直接ノ制度トシテ考ヘテ居ルコトデハアリマセヌノデ、今此處デハツキリ申上ゲル程考ヘガ纏マツテ居ルノデハゴザイマセヌ、併シ製絲業法ニ依リマスル新シイ免許ハ百五十釜ト云フコトニナツテ居リマスカラ、是ハヤハリ規則ヲ變ヘザル限リハソレデ行クヨリ仕樣ガナイト思フノデアリマス、併シ今斯ウ云フ變革ノアル時代デアツテ、已ムヲ得ザル結果トシテ出來テ來ル、ソレガ一釜缺ケタガ故ニ免許相成ラズト云フヤウナコトハ餘程實情ニ合ハヌノデアツテ、無理デアルト云フコトデアリマスレバ、十分考ヘマシテ適當ニ善處スルヤウナ途モ講ジタイトハ考ヘマスガ、兎ニ角現在ハ新シク合併又ハ新設シテ新シイモノヲ作ル場合ニハ、先ヅ百五十釜ト云フ基準ガ現在ノ制度トシテハゴザイマスカラ、ソレデ行クヨリ

外ナイト考ヘマス

○高島龜太郎君 マア此ノ釜數ノコトバカリデハゴザイマセヌガ、何分是程ノ變化ノ場合デアリマスカラ、色々細カク言ツテ行ケバサウ云フ細カイコトガ生ジテ來ルダラウト思ヒマス、關係各業者ニ一時ニ大ナル苦痛ヲ感ゼシメヌヤウニ、農林省ト致シマシテ及ブダケ善處シテ戴キタイト云フコトヲ希望致シテ置キマス、尙ホ色々トアリマスレドモ、餘リ細カイコトヲ此處デ申上ゲルコトハ避ケタイト思ヒマスノデ、ソレハ各局課ニ就イテ御尋ネスルコトハアルト存ジマスガ、私ノ質問ハ之ヲ以テ終リト致シマス

○高橋委員長 高橋圓三郎君

○高橋(圓)委員 私ハ先般來質問ヲ伺ヒマシテ、私ガ特ニ伺ハナケレバナラスト思ツテ居リマシタコトモ大體ハ御伺ヒ致シタノデアリマスガ、併シ私ガ素人デアアル爲ニ十分理解シ得ナイノカモ知レマセヌガ、尙ホ念ノ爲ニ今一應當局ノ御意見ヲ質シテ置キタイ點ガゴザイマスノデ、二、三簡單ニ御尋ネヲ致シタイト思ヒマス

從來ノ養蠶業指導ノコトデゴザイマス、是ハ私共ノ地方ハ特約取引ガ殆下大部分デアリマス、デ實際ハ今度ハ特約取引ガナクナルト云フコトニナルト思ヒマスガ、此ノ養蠶業ノ指導ハ養蠶團體ガ從來デモヤツテ居リマスガ、之ニ一ツ此ノ機會ニ一元的ニヤラセル、サウシテ之ニ對シテ政府ナリ會社ナリカラ適當ノ助成ヲサレルト云フヤウナ方法ニシテ戴キタイ、斯様ナ意向ガ相當強イノデアリマス、又私共ノ地方ノヤウナ所デハ、特約取引ガナクナツテ其ノ方面ノ指導ガナクナレバ、ドウシテモ一本デヤル

一七五

ヨリ外ニ方法ガナイト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ一ツ當局ノ御意向ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツハ養蠶ノ技術員等ニ付テモ、是ハ將來ノコトデアリマスガ、最近下級官吏ノ給與ノ改善、小學教員ノ給與ノ改善ガ決メラレルト云フヤウナ狀況デアリマスカラ、是等ニ付テモ相當ノ考慮ヲ拂ハレテ、或ハ政府デナサラナイデ此ノ新シイ會社等ガヤルト云フヤウナコトニナルノカモ知レマセヌガ、ソレ等ニ付テモ當局トシテハ十分ノ考慮ヲ拂ツテ戴キタイ、ヤハリ小學校教員等ト同ジヤウニ、中等教育ヲ受ケタ階級デアリマシテ、地方デハヤハリ一種ノ知識階級デアリマス、人ノ指導ニ當ル人間デアリマスカラ、ソレ等ノ地位境遇等モ考ヘラレテ、ソレ等ノ點モ併セテ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ二ツニ付テ先ヅ御意向ヲ伺ヒマス

○吉田政府委員 指導ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ今日謂フ所ノ特約取引ト云フモノハナクナルノデアリマスガ、併シ大體此ノ繭ノ配給ハ、養蠶家ガ作ツタ繭ノ行キ場所ト云フモノヲ餘リ掻キ亂スコトハドウ云フモノデアアラウカト思ヒマスノデ、所謂前ノ地盤ト申シマスガ、從來流レテ行ツタ其ノ流レヲ此ノ際混亂サセルコトハ適當デナイト思ヒマス、隨ヒマシテ、大キナ製絲家ニシテソコニ工場ノアツタヤウナ所ヘ持ツテ行ツタ特約ノ養蠶家ノ繭ノ處理ニ付キマシテハ、無論其ノ製絲家ニ直接賣買スル譯デハナイノデアリマスガ、物ノ流レハソコヘ持ツテ行キ、隨テ大體其ノ集マツタ所デ、其ノ人ノ所ニ割當テラレタ數量ノ範圍内ニ於

テハ、其ノ製絲家ニ其ノ繭ヲ處分スル、斯ウ云フヤウナコトニヤラナケレバナラスト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、ソコニ從來地盤關係ト云フヤウナモノガアリマ斯拉バ、ソレハ事實上「リンク」關係ハ認メテ行ク方ガ宜シクナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ從來斯様ナ場合ニ、ヨク自分ノ所ニ彼處ノ繭ハ來ルノダ、ソコデ此ノ繭ハ立派ナ良イ繭ニサセタイト云フ考ヘカラ、自分ノ所ヘ來ルモノナリト云フコトガ分レバ、自然製絲家ノ方デモ指導ニ力ヲ入レタイト云フ氣持ガ起キルダラウト思フノデアリマス、新シク製絲家ガ指導ヲ始メルト云フヤウナコトハ無論是ハ考ヘテ居ラスノデアリマスガ、從來大製絲等ニ於キマシテ、非常ニ優秀ナ技術員等ヲ持ツテ居テ、指導ヲ致シテ居ツタコトヲ、是ハ理想デハナイガ、實際問題トシテ直チニ之ヲ廢メテシマツテ、一舉ニ之ヲ養蠶團體ニ統合スルト云フコトハ實際問題トシテ如何デアアラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ方ノ變革ハ徐々ニ致スベキデハナカラウカ、無論理想ト致シマシテ、養蠶指導ハ今後ハ養蠶團體ガ一元的ニ統合スルト云フ方向ニ向ツテ行クベキデアアルコトハ、申スマデモナイノデアリマス、此ノ會社ト養蠶團體トガ一體ニナツテ、漸次指導ニ當ルト云フヤウナ考ヘ方デ統合スルトニ付キマシテハ、無論異論ハナイノデアリマスガ、來年カラ直グ其ノ指導者ヲ廢メテシマツテ、養蠶團體ト云フモノニ急激ニ其ノ機構ヲ變ヘルコトハ如何ナモノカト考ヘテ居リマスガ故ニ、此ノ特約ノ指導ニ付キマシテハ、斯様ナ意味ニ於テ當分ハ認メテ行クノガ、實際問題トシテ宜シクナイカト考ヘテ居ルノデアリ

マス、ソレカラ待遇改善ノ問題ニ付キマシテハ御説御尤モデアリマス、是ハ年來問題モアリマスシ、要望モアリマシテ、政府ト致シマシテハ、毎年豫算ヲ財務當局ニ要求致シテ居ルノデアリマスガ、何サマ斯ウ云フ人ノ經費ノ問題ニ付キマシテハ、非常ニ豫算ハ困難ナ問題デ、遺憾ナガラ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイデ、今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、今後斯ウ云フヤウナ制度ガ出來マシテ、此ノ指導等ニ付キマシテ、會社モ相當力ヲ入レ、養蠶團體ト表裏一體ニナツテ指導ニ専念スルト云フヤウナ狀態ニナツテ參リマスルナラバ、敢テ國ノ方ノ豫算ヲ俟タナイデ、寧ロ出來ルコトナラバ會社ノ方面カラデモ此ノ方ニ力ヲ入レル施設ヲ講ジマシテ、隨テ人數ノ點ニ於キマシテモ遺憾ナキヲ期スルト同時ニ、待遇ノ點ニ於キマシテモ十分考慮ヲシテ行ク方ガ宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○高橋(團)委員 只今ノ特約ノ養蠶ニ關スル指導デアリマスガ、是ハ私共素人デアリマスケレドモ、私共ノ地方デハ殆ド是ガ多イノデス、是ハ特約取引デ製絲家ガ其ノ繭ヲ買フカラ、指導ニモ力ガ入ル、實際ハ買フコトニナリマシテモ、直接ノ買取ル當事者デナイト云フコトニナレバ、其ノ間ニ指導スル方モサレル方モ、自ラ關係ガ多少變ツテ來ルダラウト思フ、併シ優良ナ繭ヲ作ル爲ニハ、相當良イ指導員モ居ラナケレバイケナイシ、從來ノ養蠶團體デヤツテ居ル一般のナヤリ方ダケデハイケナイト云フコトハ、固ヨリアルコトト思ヒマスガ、是等ガ詰リ優秀ナ技術員ヲ持チ得ル爲ノ待遇ノ問題、隨テ金ノ問題ト云フヤウナモノガ片付ケバ、指導方針ナリ、技術的ノ協力ト云フヤウナコトハ、養蠶團體ト製絲家トノ間ニ十分折衝ヲ保チ、協調ヲ保ツテ行ケバ、是ハヤレルノデヤナイカト思ハレマス、デアリマスカラ、ソレ等ノ點ハ——兎ニ角一應ハ現狀通りト云フ風ニ御考ヘニナルコトハ御尤モデアリマスガ、創業勿々ニ何モカモ手ヲ着ケル、此ノ廣イ範圍ノ事業ノ何處ニモ手ヲ着ケルト云フコトハ出來ナイト思ヒマスガ、併シナガラソレハ一應デアツテ、成ベク早イ機會ニ於テサウ云フ根本的ノ統一ト申シマスガ、一元化、統合ト云フヤウナ方向ニ進ムヤウニ、是非トモ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマスソレカラ今ノ待遇ノ問題デアリマスガ、是ハ金ノ出所モナイノデ中々困難ナ事柄デアリマスケレドモ、又是マデ屢豫算ヲ御要求ニナツテモ皆ク行カナカツタノデアリマスガ、今日人ノ待遇ノ問題ニ付テハ全國的ノ釣合モアルノデアリマスカラ、或ル方面ダケドウスルト云フコトモ出來ナイコトハ當然デアリマスケレドモ、恰モ今サウ云フ下級ノ公務員ナドノ問題ガ全般的ニ考慮サレテ居ル時期ニ遭遇シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ今直グ取ルト云フコトハ出來ヌデアリマセウガ、斯ウ云フ機會ニドウカ十分御努力ヲ願ヒマシテ、ソレ等ノ希望ガ達シマスルヤウニ御心配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ先般來ノ御答辯デ、玉繭、屑繭等ハ大體統制外ヘ置ク、サウシテ從來通りノ取扱業者ニ扱ハシメルト云フコトデアリマシタガ、是ハ繭ノ集荷配給共ニ從來ノ業者ニ扱ハシメラレルノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、其ノ點大體斯様ニ伺ツテ居リマシタガ、尙ホ念ノ爲ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ今一ツハ此ノ玉蘭、屑蘭等ヲ業者ヲシテ從來通り扱ハシテ戴クノハ、固ヨリ業者トシテ希望シテ居ル所デアリマスガ、唯差當リ從來通りニシテ置クト云フコトデナクテ、將來モ引續キ扱ハセルト云フヤウナ考デアレバ、ソレ等ノモノヲ扱フ者ダケノ組合デモ作ラシテ、ソレ等ノ組合ヲ公認シテヤリ、安心ヲ與ヘテヤルト云フヤウナ方向ニ向ケテヤルコトハ、實ハ是ハ當業者モ希望シテ居ル所デアリマスカラ、是ハ特別ノ指導ヲ御手數ハ掛ラナイダラウト思フノデアリマスガ、差支ヘガナケレバ、將來モソレヲ尙ホセシメルト云フ御見込デアレバ、一方サウ云フ風ニヤラシテヤツテ戴クコトガ出來ナイモノカドウカ、之ヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

ソレカラ副蠶絲ハ從來副蠶絲ノ統制會社ガヤツテ居ラレマスガ、是ハ將來此ノ會社ニ統合サレテ行クノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點モ將來ノ御見込ト申シマスカ、御計畫ガアレバ伺ツテ置キタイト思ヒマス、一ツハ面倒デアリマスカラ、序ニ伺ヒマスガ、私ノ地方デハ只今申上デマシタヤウニ、割合ニ優良繭ヲ作ル地方デアリマシテ、殆下大部分ハ輸出生絲ノ原料トシテ大製絲工場ノ分工場ガアツテ、是ガ殆下消費シテ居リマス、此ノ私共ノ方ニ、是ハ誤解ニ違ヒナイト思ヒマスガ、念ソ爲ニ今一應伺ツテ置キタイノデアリマス、或ル大新聞ニ實ハサウ云フコトガ出デソレガ傳ハツテ非常ニ誤解ヲ生ジテ居ルノデアリマス、又新聞デナイ方カラモサウ云フ風ナ何カ噂ガアツタト云フノ非常ナ不安ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、輸出生絲ノ原料

デアル繭モ他ノ繭ト同ジヤウニ、繭其ノモノハ此ノ統制會社ガ全部一手ニ買上ゲル、サウシテ今度繭ヲ配給スル時ニ、初メテ輸出向ト國用向ヲ分ケテ、輸出向ノモノダケヲ其ノ時カラ統制外ニ置カレ、買上ゲタ繭ヲ以テ輸出生絲ヲ作ラセルヤウニ、製絲會社ヘハ輸出生絲ノ原料トシテ分ケルノダ、繭ヲ配給サレルノダカラ、輸出用ト云フモノガ統制外ニ出テ行クノダ、ソレマデハ繭其ノモノハ輸出生絲ノ原料モ、サウデナイ國用生絲ノ原料繭モ、一緒ニ統制會社ガ全部買フノダト云フヤウナ御答辯デアツタト思ヒマス、所ガ輸出生絲ヲ統制外ニ置ク關係上、其ノ輸出生絲ノ原料タル繭ノ買付モ自由買付ヲ許スノダ、統制外ニ置クノダ、斯ウ云フコトガ傳ハリマシテ、私共ノ地方ノ養蠶關係ノモノガ非常ナ心配ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ左様ナコトデナイトハ思ヒマスガ、念ソ爲ニ其ノ點ヲモウ一遍ハツキリ御答辯願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ今一ツハ、此ノ統制會社ガ繭ヲ買ツテ、ソレヲ製絲工場ニ配給スル場合ニ、輸出用ノ優良ナ繭モ、日用生絲ノ一般繭モ同一價格デ拂下ゲラレル結果、輸出生絲ノ製絲ニ當ル會社ハ非常ニ特殊ナ利益ヲ得ルコトニナルト思ヒマスガ、其ノ點ハドウデアリマスカ、是モ此ノ際ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス、大體ソレダケヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 中下繭ノ集荷配給ノ問題ニ付キマシテハ、先般來色々ト御質問ガアリマシテ申上ゲタノデアリマスガ、玉蘭及ビ二等繭、三等繭ト云フモノハ此ノ會社デ一手買取り一手販賣ト云フ形カラハ除外致スノガ宜イダラウ、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ルト云フコトヲ此ノ間申上ゲタノデアリマス、サウシテ現在ノ繭取扱業者ニ集荷配給サセルノガ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ申シタノデアリマス、唯其ノ際私トシテ一ツ懸念致シマシタコトハ、中下繭ト雖モ國用生絲トシテハ役ニ立ツノデアリマス、ソコデ上繭ニ付キマシテハ公平ニ現在ノ製絲家ニ分ケテヤリマス、ソコデ先般來申上ゲマスルヤウニ、今度ハ生絲ノ製造高ガ餘リ供給過剰ニナラナイヤウニト云フコトヲ考ヘニ置キマシテ、豫定數量ヲ立テ、ソレニ必要ナル原料繭ヲ分ケルト云フコトニナリマス、一面今日釜數整理ヲシナケレバナラヌト云フ位ニ製絲家ガ感ジテ居リマスルヤウニ、原料繭ガ比較的窮屈ナ形ニナツテ來ルト考ヘマス、サウ致シマス、大キナ製絲家デ金ノアル人ハ、今度ハ商賣人ガ自由ニ販賣出來ルト申シマスカ、會社デ分ケルコトカラ除外スル結果、商人カラ金ノアル者ガ買集メルヤウナ結果ニナリハシナイカト云フ心配ヲ持ツノデアリマス、サウ致シマス、中下繭ト云フモノハ從來ハ大製絲家ハ餘リ使ハナイ、座繰デアリマストカ小サナ製絲家ガ主タル原料トシテ之ヲ使ツテ居ツタノデアリマス、從來通り消費者ノ方ニ是ガ流レテ行クコトガ確保サレルカドウカト云フコトニ多少心配ヲ持ツテ居タノデアリマス、サウ云フコトニナラヌト云フコトニナリマス、非常ニ中小製絲家ノ方デ困ル結果ガ起ツテ來ヤセスカ、斯ウ云フコトニナラザル限りハ、ソレデ宜シイト思ヒマス、若シサウ云フ心配ガアルトナルト——兎モ角集メルマデハ此處ニ集メテ、分ケル時ハ會社ノ手デ公平ニ分ケルト云フ方策ヲ立テナイト逆ノ結果ニナリハセスカト云フ心配

ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、私此ノ間カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、サウ云フコトニナラザル限り畠デ宜イ、ソコデサウ云フコトニナラナイヤウニスル爲ニハ集荷配給ハ商人ニサセルコトニシテ、集メテ來タモノヲ一定ノ値デ會社ガ買ツテ、之ヲ一定割合デ弱小會社ト言ツテハ惡イカモ知レスガ、サウ云フ方面ヘ必ズ公平ニ分ケテヤル方法ヲ立テナイトソツチノ製絲業者ガ困ルコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ懸念ガアルト云フコトヲ此ノ間カラ申シテ居ルノデアリマス、隨デサウ云フコトニナラナイ方策トシテ、一手買集メヤツテ此ノ會社ノ手デ配給スルコト云フコトマデ行カズトモ、或ハ繭取扱業者ニ配給ノ指圖ヲシマシテ、必ズ斯クノノ中小製絲家ニ限ツテ之ヲ販賣スベシト云フヤウナ方策ヲ立デマシテ、他ノ金ノアル方ニ固マツテ行クヤウナコトニナラヌヤウナ方策ヲ考ヘタイ、斯ウ申シタノデアリマス、ソレガ巧ク行カヌコトニナレバ已ムヲ得ナイカラ集荷ダケハヤツテ貰ツテ、配給ハ此ノ會社デヤラナイト使フ方ノ側デ困ルト云フ心配ガアリマスノデ、此ノ點ハ篤ト模様ヲ見マシテ弊害ノナイヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

副蠶絲會社ハ現在出來テ居ルノデアリマシテ、操業勿々デアリマスシ、此ノ間カラ申上ゲマスヤウニ此ノ會社ガ非常ニ廣イ範圍ノ大キナ仕事ヲ致サナケレバナラヌノデアリマスノデ、現在ノ所デハ別ニ一ツ出來テ居ル會社モアリマスカラ、副蠶絲會社ノ問題ハ今日此ノ會社トハ別ニ考ヘテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、輸出原料繭ハ自由買付ヲセヌコトハ間違ナイ、此ノ會社デ一切ノ繭ヲ買取りマシテ、唯此

較的品質ノ優良ナモノヲ成ベクソツチノ方ニ向ケルト云フ考ヘデ配給ヲシタイト考ヘテ居リマス、配給ハ全然此ノ會社デヤリマシテ、輸出絲國用絲總テニ互ツテ公平ニ行クヤウニ配當シタイ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

ソレカラ繭ノ製絲家ニ渡シマスノハ輸出生絲、國內生絲ヲ通ジマシテ、檢定成績ニ依ル格ノ違ヒニ依ツテ値段ノ違ヒハアリマシガ、原則的ニハ一定値デ配給販賣スルノデアリマス、其ノ結果輸出生絲ガ値上リヲ致シマシテ、輸出生絲ノ製造業者ハ國用生絲ノ製造業者ヨリモ有利ナ結果ニナル場合ガ想像サレルノデアリマス、左様ナ場合ニハ輸出生絲ノ製造業者ノ所謂生産費ガ適正生絲價格ヨリ「オーバー」ニナリマシテ値段ニ付キマシテハ、豫メ一定ノ方式ヲ定メテ置キマシテ、之ヲ會社ニ於テ、言ハバモウ少シ繭ヲ高く賣ツテ置イテモ宜カリシ場合デアリマスカラ、繭代ノ追徴ト云ツテハオカシイノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於テ、生絲ヲ販賣致シマシテ際ニ一定方式ニ依リマシテ、之ヲ會社ガ賣ツタ値段、生絲ノ數量ニ應ジマシテ、會社ガ取立テル、サウシテ會社ノ積立金ニ入レル、斯ウ云フ風ナ方式ヲ立テテ、國用絲ト輸出絲トノ業者ノ間ニ於テ餘リ利害關係ノ差等ノ出來ナイヤウナ途ヲ立テタイ、ソレヲ今研究致シテ居ルノデアリマス

○高橋(團)委員 先刻ノ中下繭ノ取扱業者ノ組合デモ作ラセテ、何カ公認シテヤツテ載クヤウナ方法ハ御考ヘ願ヘナイカト云フ點ト、今一ツハ、今ノ點ニ付テハ、輸出生絲ノ原料タル繭ヲ賣ラレタ場合ニ、其ノ輸出生絲ノ製絲業者ガ國用絲ヲ作ルヨリ以上ニ

非常ニ特別ノ利得ヲシタ場合ニ、之ヲ追徴シテ會社ノ積立金等ニスル、斯ウ云フコトデゴザイマシタガ、特殊ノ利益ト云フモノガ結局優良ナル繭ヲ作ツタモノ、ソレカラサウデナイモノ、サウ云フモノヲ買上ゲラレル時モ單一ノ價格デ買上ゲラレルト云フコトニナリマスノデ、結局特殊ノ利益ヲ生ジタノハ何ガシカ其ノ根源タル養蠶家ノ方ニ還元サレルベキモノダト思フノデス、是ハ餘リ話ガ細カイヤウデアリマスガ、サウ云フモノハ何カ養蠶ノ指導ノ方面ニ振向ケルトカ、或ハ養蠶業ノ發展ノ爲ニ貢獻スルヤウナ方向ニ使フト云フヤウナ意味デ、サウ云フ方面ヘ還元サセルヤウナ方法ヲ考ヘラレタイト、斯様ニ思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○吉田政府委員 繭賣業者ノ組合ノ問題ハ現在サウ云フ制度モ出來テ居リマス、ヤル途ガアルノデアリマスカラ、是ハ御趣旨ニ付キマシテハ十分考ヘテ見マシテ、サウ云フ團體ヲ作ル必要ガアリ、希望ガゴザイマスレバ、ソレハ直チニ實行シテ宜シイコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ輸出生絲ト國用絲トノ原料ハ一本値ト云フヤウナ譯デハナイノデアリマス、一定値ト申シマスルガ是ハ無論檢定ノ結果七等格ニ分レテ居ルノデアリマス、繭ノ段階ト申シマシテモ、現在ノ檢定成績ニ依リマシテ、一等、二等、三等ト七等ノ段階ニ分レテ居リマス、隨テ一定値ト云フコトハ、ソレノ格差ノアル一定値ト云フコトデアリマシテ、何處モ彼處モ何掛、良イ繭モ惡イ繭モ皆何圓ト云フ一本値ニスルノデハナイノデアリマス、ソコデ自ラ段階ガアリマスルカラ、ソコニ格差ト云フモノガ必然起ルノデアリマス、隨

テ本當ノ優良ナ繭ニ付キマシテハ、下等ノ繭カラ比較致シマス、無論養蠶家ノ實入ニ段階ノアルコトハ當然ト考ヘテ居リマス、先程申シマシタヤウナ、會社ニ積立デマシタモノハ、個々ノ養蠶家ニ後デ追拂ミタイナ形デ戻スト云フコトハ是ハ困難ト思ヒマスルガ、先般來申シマスルヤウニ、此ノ會社ハ或ハ指導ノ施設ヲ致シマス、災害ノ救済ノ施設ヲ致シマス、結局ハ養蠶家ノ方面ニ全般的ニ還元サレル各種ノ施設ヲヤツテ行カケレバナラヌノデアリマスカラ、サウ云フ方面ニ主トシテ之ヲ使用シテ行ク、斯様ニ致シタ方ガ宜カラウト考ヘテ居ル譯デアリマス

○高橋(團)委員 繭ノ檢査所ノ問題デアリマスガ、此ノ前小山委員カラモ質問ガゴザイマシタガ、一箇所デモ多イ方ガ宜イヤウデアリマシテ、豫算等ノ關係モゴザイマセウケレドモ、成ベク既存ノ設備ヲ使フトカ、或ハ檢査ノ内容ハ檢査ヲ統一スル爲ニ政府ノ檢査員ガヤラレナケレバナリマセヌガ、設備トカサウ云フモノハ府縣ヲシテナサシメスカラ、豫算ノ款項ノ決メ方等デドウナツテ居ルカ知レマセヌガ、出來得ル限り最大限度ニ豫算ヲ使ハレテ——實際問題トシテハ、地方デハ隨分遊休設備ガ出來テ來テ居ルノデアリマスカラ、是等ヲ御使ヒニナレバ、大シタ經費ヲ掛ケナクテモ場所ハ作ルコトガ出來ルト思ヒマス、ドウカ其ノ點ニ付キマシテハ、是ハ希望デゴザイマスガ、出來ルダケ御心配ニナツテ、一箇所デモ多ク全國ニ設置サレルヤウナ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

繰返サレマシタ輸出生絲ノ問題デアリマスガ、私共輸出生絲ノコトハ全然素人デアリマスケレドモ、政府ノ屢々ノ御答辯ヲ伺ツテ居リマシテ、第四條ノ規定ハ、輸出生絲ヲ統制ノ中ヘ全部引括メテ一本ニシテ、ヤハリ統制會社ヲシテ統制セシムルト云フコトニ付テハ、原則トシテ政府當局ハ違ツタ意見ヲ御持チニナツテ居ルノデハナイヤウニ聽イタノデアリマス、原則トシテ、或ハ理想トシテハ其ノ方ガ宜イト思フノデアアルガ、現在ノ國際情勢等カラ考ヘテ、或ハ現在ノ情勢ノミナラズ、更ニ近イ將來ニ於テ起ルコトノアルベキ色々ナ變化ガ豫想サレルヤウナ狀況ニ於テ、此ノ際直チニ從來ノ取引關係其ノ他ニ變更ヲ生ゼシメルヤウナコトヲ敢テシナイデモ、モウ少シ此ノ儘デ行ツテ、適當ナ時期ニヤツタ方ガ宜イ、斯様ニ御考ヘニナツテ居ルヤウニ、印象ト云ヒマスガ、感ジヲ得タノデアリマスルガ、左様デアリマスルカドウカ、此ノ際念ノ爲ニ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 其ノ問題ニ付キマシテハ、私共此ノ間申シマシタコトハ、今高橋サンノ仰シヤツタヤウナ意味ノコトヲ申シテ居ルノデアリマス

○高橋(團)委員 尙ホ私ハ細カイコトヲ伺ヒタイト思フ點モアリマスガ、大體此ノ程度デ質問ヲ終リマシテ、大臣ガオイデニナリマシタラ、一點ダケ質問スルコトヲ保留サシテ戴キタイト思ヒマス

○高橋委員長 了承致シマシタ、此ノ際渡邊玉三郎君カラ、過日來補充ノ質問ヲ簡潔ニ致シタイト云フ希望ガアリマスカラ、之ヲ許シマス——渡邊玉三郎君

○渡邊(玉)委員 只今委員長ノ御言葉ノ如

ク、極メテ簡潔ニ質問ヲシテ見タイト思ヒマス、質問ノ要綱ヲ讀ミマス、蠶絲織物用國內配給ニ關スル希望質問デアリマス、一、現在配給生絲ヲ以テ生産スル織物ハ其ノ種別ヲ生産者ノ所屬スル工業組合聯合會ニ屬セシメ検査檢閲ヲ爲サシムベキコト、二、絹服地ノ公定價格ヲ設定セラレ現在ニ於テ毛織物登錄織機ヲ以テ製造スレバ毛織物ハ公定價格ニ從フ故ニ夏物用ノ服地ノ如キ輕目ノモノノ外ハ採算上損失トナリ生絲消費ノ不合理ヲ改正スルコト、三、毛紡式ニテ紡績シタル生絲ハ呼稱ガ異ナルト雖モ毛絲ト看做シタル取扱ヲスルコト、四、蠶絲業統制法第十二條ニ依リ生絲ヲ以テ生産シタル服地ハ主トシテ毛織物工業者ニ製織セシムルコト、五、絹織維ノ國內織物ニ普通化ヲ圖ル計畫ノ下ニ、一定數量ヲ生絲及ビ羊毛代用混紡絲共ニ毛織物業者ニ配給スルコト、以上デアリマス、此ノ五ツノ點ニ付キマシテ詳細ナル御答辯ヲ御願ヒシタイト存ズルデアリマス、私ノ觀點カラ致シマスレバ、生絲ノ統制ノ結果、農林省ノ御意見ノ通りニ國內需要ハ或ル程度、目的通り需要ガアルモノト存ジマス、併シナガラ過去ニ御執リニナツタヤウナ配給統制デアアルナラバ極メテ跛行ガ多過ぎル、過日モ申シタ通り或ル部面ニハ配給サレタ百分ノ一モ使用シナイ所ガアル、ナゼサウ云フ缺點ガアルカト申シマスレバ、是ハ配給機構ガ整備サレテ居ナイ結果デアアルデアリマス、左様ナコトデアリマスナラバ、今後纖維ノ飢饉時代ガ來マシタ時ニ、寧ロ其ノ跛行ガモツト極端ニ來ハシナイカ、斯ウ云フコトヲ慮ルノデアリマス、殊ニモウ一ツ私ノ觀點ヲ附加ヘテ申シマス、此ノ統制ノ結果必ズヤ輸出

ノ生絲ヨリハ内地ノ生絲ガ高クナルト云フ觀點ヲ持ツテ居ルノデアリマス、政府ハ餘程此ノ點ニ心ヲ致サレタイト思ヒマスガ、中下繭、玉絲等ノ問題ヲ此ノ統制會社カラ除外シテ宜イノデアラウカ、ナゼ輸出ヨリハ内地ノ方ガ高クナルカト申シマス、内地ノ全體ノ數量ガ減ツテ居ル所ニ、相當ノ部分ガ、毛、綿ノ代用絲ニ使ハレテ來マス、從來ノ生絲ノ數量トハ大變違ツテ來ルト云フコトガ一點デアリマス、又他ノ一點ハ、是ハ甚ダ遺憾ナ見方カモ知レマセヌガ、此ノ頃日曜ニ淺草方面ニ行キマシテモ、活動寫眞ナシカハ非常ナ列ヲナシテ居テ入レナシ、斯ウ云フ狀態デアリマスカラ、購買力ハ抑ヘナケレバ旺盛デアアルベキ筈デアリマス、斯ウ云フ諸點カラ考ヘマシテ、配給ノ公正ヲ期スル上ニ於テハ、此ノ點ニ付テ要望ノ如ク御考究ニナラナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、私ノ此ノ要求ハ要項デ出シテ置キマシタカラ、適當ナ時期ニ御答辯ニナツテモ差支ヘアリマセヌ、其ノ點ハ適當ニ委員長ニ御取計ヒテ願ツテ置キマス

○梶原政府委員 御答ヘ申シマス、御質問ノ事項ハソレノ非常ニ具體的ニナツテ居リマス、此ノ際ニ具體的ニ御答ヘ申上ゲルコトハ聊カドウカト思フノデアリマス、御意見ノ大體ノ御趣旨ハ能ク了承致シテ居リマス、本制度實施ニ當リマシテ、ソレノ實際ニ適スルヤウニ考究致シテ決定シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

尙ホ一二附加シテ申上ゲマスナラバ、第一點ノ織物ト工業組合ノ關係デゴザイマスガ現在ハ御承知ノヤウニ織物ノ種類ガ決マツ

テ居ルノデアリマス、ソレト工業組合聯合會トノ關係ニ付キマシテハ、篤ト其ノ取扱方等ニ付テ考慮致シタイト考ヘテ居リマス

第二ノ價格ノ點デアリマスガ、價格ノ點ニ付キマシテハ、今回ノ統制制度實施ニ當リマシテ色々檢討ヲ要スル點ガアラウト存ジマス、隨ヒマシテ物價局トモ連繫ヲ執ツテ考究致スコトニ致シタイト存ジマス

ソレカラ毛紡式デ紡績致シマシタ絲ニ付テハ、絲ノ呼稱ハ異ナツテ居リマスケレドモ、其ノ點ハ實態ニ即シテ考ヘマシテ、現在ニ於キマシテモ生絲ト同様ノ取扱ヲナシテ居ルノデアリマス、今後モ同様ノ取扱方デ進ミタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

第四點ノ服地ニ付キマシテモ大體同様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

第五ノ毛織物業者ニ對シマスル配給ノ點デアリマスガ、此ノ點ハ此ノ前ノ御質問ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲタト思フノデアリマスガ、毛織物業者ニ對シマシテモ用途ニ依リマシテ配給致シヤウニ考ヘタイ、斯様ニ現在ノ所考ヘテ居ル譯デアリマス

○渡邊(五)委員 大體梶原總局長ノ御答辯ハ當ヲ得テ居ルと思ヒマスガ、併シ第一ノ點ニ付キマシテハモウ少シハツキリ御答辯ヲ願ツテ置キタイ、即チ國家ガ配給シタモノヲ織ルコトハ織ツテモ宜イガ、工聯ニ所屬シナイカラ検査ヲ受ケル方法ガナイ、ダカラ先列申上ゲマシタ通りニ、アナタノ方デ配給シテモ、百分ノ一以下シカ使用ガ出テ來ナイ、斯ウ云フコトデハ配給統制ノ精神ニ背クノデハナイカ、ダカラ此ノ第四項ニアルヤウニ、本法ノ第十二條ニ依ツテ配給サレテ、ソレデ織ツタモノハ工聯デ總テノ検査、檢閲ヲシテ宜イト云フコトガ、之ニ

關聯シテ考ヘラレテ來ルト思フ、若シ之ヲオヤリニナラナケレバ、會テ申上ゲマシタ通り、各月三千俵配給ニナツテ居ツタモノガ三十俵カソコラシカ使ハレナイ、甚ダシイ時ニハ其ノ半分シカ使ヘナイ、斯ウ云フ結果ニナツテ來ルノデアリマス、隨テ毛織物業者ニ配給シタ場合、其ノ織機デ織ツタモノハ、其ノ工聯デ検査ヲスルト云フコトガ關聯シテ考ヘラレル、今ノヤウナ御答辯デハイカスノデアリマスカラ、ドウ御取扱ニナルノカ、其ノ點ヲ局長カラ詳細ニ御答辯願ツテ置キマス

○梶原政府委員 毛織物業者ニ配給ハ致シマスケレドモ、其ノ所屬致シマスル工業組合聯合會ニ於テ直チニ検査檢閲ヲ致スト云フコトハ、御説ノヤウニ實態ニ合フヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、現在直チニ之ヲシテ検査、檢閲ヲ實施セシムルト云フコトハ御答ヘ申上ゲ兼ネルノデアリマシテ、其ノ點ハ先程申シマシタヤウニ篤ト考究致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○渡邊(五)委員 重ネテ是以上言ヒマセヌガ、只今ノ御答辯デアレバ無理ヲ強ヒルコトニナツテ、結局配給ガ適正ニ行カナイノデス、幸ヒ大臣ガ見エラレマシタカラ此ノ布ヲ御覽ニ入レマシテ、私ハ是デ質問ヲ打ち切リマス

○高橋委員長 大臣ガ御出席ニナリマシタ、質問ノ通告ノ順序ニ依リマシテ順次農林大臣ニ對スル質疑ヲ保留サレタ方々ノ御發言ヲ許可致シマス——加藤知正君

○加藤(知)委員 色々御尋ネ申上ゲタイト思ヒマスケレドモ、成ベク省略致シマシテ簡潔ニ御尋ネ致シマス

先ヅ第一ニ御伺ヒ致シタイノハ、米國ヘ

輸出スル我が生絲デアリマスガ、是ハ大臣ノ御考ヘトシテ、國策上太ク短ク之ヲヤラセヨウト云フ御考ヘデアルカ、ソレトモ又細ク長ク之ヲヤラセヨウト云フ御考ヘデアルカドウカ、之ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、太ク短クト云フ意味ハ御案内ノ如ク競争纖維ノ關係モアリ、又日米國交ノ關係モアルカラ、蠶絲ノ將來性ハサウ永クハアルマイ、殊ニ支那蠶絲業ノ關係等カラ考ヘマスト、日本ノ蠶絲業ノ將來ト云フモノハ樂觀ヲ許サナイ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方カラスレバ、今ノ内ニ米國ヘ輸出ノ出來ルモノハ輸出サシテ、所謂外貨ヲ出來ルダケ獲得サセヨウ、斯ウ云フヤウナ考ヘデオイデニナルノカ、ソレトモ今申シタヤウナ、如何ナル事情ガアラウトモ、所謂警根節ヲ排シテ、細ク長ク我が邦ノ生絲ガ米國ヘ輸出ノ出來ルヤウニシテ行カウ、斯様ナ御方針デアアルノカ、之ヲ一ツ私ハ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、此ノ政府ノ御方針ニ依ツテ當業者ノ覺悟モアリ考ヘ方モアルト私ハ思ヒマス、ドウ云フ御方針ノ下ニ此ノ蠶絲國策ヲ立テ行カウト云フ御考ヘデアルカ、是ハ私ハ極メテ重要ナ問題デアリマスカラ、之ヲ私ハ農林大臣ニ特ニ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○石黒國務大臣 只今加藤サンノ御尋ネデゴザイマスガ、我が國ノ生絲ノ輸出ト云フモノヲ、只今ノ非常ナ逼迫ヲ致シマシタ時代ノ下カラ考ヘマスト、御尋ネノヤウナ太ク短クト云フ問題ニ付テ考慮ガ拂ハレルヤウナ傾キモアルカモ知レスト思ヒマス、併シナガラ私がサウ云フ主義ヲ執ツタカラト云ツテ、ソレデ當業者諸君ガ、ソレナラバ其ノ方針デト云フ風ニハ實ハ私ハ行カナ

イノデハナイカト思ヒマス、私モ多少蠶絲ノ行政ニハ關係致シテ居リマスガ、農林大臣一個ノ考ヘデ以テ此ノ問題ヲ太ク短ク決メテシマフト云フヤウナコトハ中々執リニクイノデアリマス、出來ルナラバ太ク長クヤリタイト云フコトハ是ハモウ皆サン御一致ノ意見デアルト私ハ思フ、唯ソレガ出來ナイ場合ニ於テドウスルカト云フ問題デアリマス、只今ノ事情ハ最初加藤サンノ御尋ネニアリマシタヤウニ、非常ニ前途悲觀ヲ致シマシテ考ヘレバ太ク短クト云フコトモ考ヘラレマスガ、ソコマデ考ヘルト云フコトニハ唯未練ガ殘ツテ居ルバカリデハナイ、未練デアリマセヌ、出來ルダケ長クト云フコトハ誰モ努メナケレバナラスコトト思フ、而シテ細クト云フノハ、生絲ハ細イ程結構デアリマスガ、貿易ハ出來ルダケ太イ方ガ宜イト思ヒマス、出來ルダケノ太サヲ以テ出來ルダケ長クヤツテ行クト云フノガ是ハモウ皆サンノ御一致ノ御考ヘガラウト思フ、併シソレヲヤツテ行クノニドウシタラ宜イカト云フコトニ付テ色々御考ヘモ違ツテ來ル、方法トシテノ御意見モ違ツテ來ルノデハナカラウカ、斯ウ思ヒマス、主義トシテドウ云フ主義ヲ採ルカ、太ク短ク行クカ、細ク長ク行クカト云フコトデアリマ

スガ、是ハ主義トシテハ出來ルダケ太ク出來ルダケ長クト云フコトヲ望ムコトハ、モウ皆サン間ハズシテ明カナコトデアルト思フ、ソコデ私共ハ米國ヘノ輸出モ出來ルダケ太ク長ク行キタイト考ヘテ居リマス、併シハ絲ノ貿易ダケデ以テ國ノ方針ガ立ツ譯デハゴザイマセヌカラ、ソレ以上ノ重大ナ問題デ國ノ政策ハ決ル、其ノ決ツタ結果絲ノ貿易ト云フモノガ、貿易カラ見レバ實ニ忍ビナイコトダケレドモ、是ガ斷タレルト云フコトモアリ得ルト考ヘマス、其ノ時ニ内地ノ國民ノ多數ノ關係ヲ致シテ居リマス蠶絲業ト云フモノニ出來ルダケ打撃ノ少イヤウニ、又今後ニ於キマシテ殆ド需要ガ一國ニ限ラレテ居ル爲ニ死命ヲ制セラレルト云ツタヤウナコトノナイヤウニト云ツタコトヲ、應急及ビ恆久ニ互リマシテノ考ヘヲコデ決メマシテ、其ノ對策ヲ立テテ行カナケレバイケナイノダト云フ時期ニ今際會シテ居ルヤウニ思フ、ソレガ當統制案ヲ出シマシテ御審議ヲ戴キ御贊成ヲ願ツテ居ル次第ナノデアリマス、國ノ最大ノ運命カラ參リマス斷交ト云フコトノナイ限りハ出來ルダケ賣リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ賣ル貿易ニ關シマシテハ、相變ラズ「アメリカ」ヘノ輸出ヲ最モ主ニ考ヘテ居リマスガ、併シソレ以外ニ於テモ出來ルナラバ出シタイト云フコトヲ考ヘテ居リマスノデ、「ヨーロッパ」方面ノコトモ只今ノ狀態デハ色々困難ガアリマシテ、決シテ右カラ左ニハ出テ行キマセヌ、是モ永イ先ヲ考ヘマシテ、「ドイツ」ノ方ヘ大使ガ參ラレマシタ時、大島大使及ビ永井商務官等ニハ將來ノコトモ考ヘテ、何トカ是等ノ方面ニ付テモ「ドイツ」「フランス」アタリノ方面ニ、斯フ云フ際ニ端緒ガ開ケルヤウナ機會ガアツタナラバ心掛ケテヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ懇々頼シデ置キマシタヤウナ次第デアリマス、而シテ米國ノ貿易ニ對シマシテハ、國交ノ間柄ガ甚ダ險惡ニナリマシテモ、アチラデモ相當多數ノ需要者ガ居ルノデゴザイマスカラ、アチラトシテモ之ヲ強ヒテ斷ツト云フコトハ必ズシモ欲シテ居ラスノデヤナイカト云フ風ニ思ヒ

マス、唯國交ノ險惡ニナリマシタ際ニ於キマシテハ、痛イ所ガアツテモ、思ヒ切ツテ他ニ打撃ヲ與ヘルコトヲヤラナケレバナラスコトモアリ得ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ出來ルダケ刺戟ヲ少クシテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、米國デハ平常ノ場合ニ於キマシテモ、何ノ品ニ拘ラズ國ノ力ガ輸出物ニ付テ色々程度ヲ強ク及ボスト云フ場合ニ於キマシテハ、アチラノ輸入ノ關係ニ於テ色々考慮スベシト云フ議論ガ多ク起ルノデアリマス、蠶絲ノ絲價安定法ヲ一番初メニ拵ヘマシタ時ナドハ、加藤サン御承知ノ通り、アチラカラ「ラモン」ト「ギャツテ」參リマシテ、委員會デ以テ議論ヲシテ居リマシタ絲價安定法ノ買上方向ト云フモノニ對シテ、直チニ自分カラ異議ヲ申出ニ來タト云ツタヤウナ事情ガアツタコトヲ想ヒ起シテ戴クコトガ出來ヤウト思ヒマス、實際ニ於キマシテハ、國際關係極メテ機微ナ點ガアリマスカラ、成ベク之ニ關シマシテハ、從來ノ通りヤリマシテ、從來ノ通り貿易ガ續イデ參リマスカウニ致シタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○加藤(知)委員 只今大臣ノ仰セノ如ク、何人モ太ク長クヤリタイト云フコトハ、是ハモウ言フマデモナク希望スル所デアリマスルガ、併シ蠶ノ吐キマス絲モ、太ク吐キマスレバヤハリ其ノ纖維ガ短カクナルシ、細ク吐キマスレバ長クナル、私が今申上ゲタ細ク長ク太ク短カクト云フ意味ハ、ドウセ蠶絲業ノ將來ハ長イコトハアルマイ、何時米國ト開戦ニナラストモ限ラス、ダカラ今ノ内ニ取ラレルダケ取ツタ方が宜カラウ、斯様ナ考ヘガ動モスレバアルノデハナイカト云フヤウナ風ニ想像セラレル點ガ多々ア

ルノデアリマス、ソレハ私共ノ興セザル所デアリマシテ、所謂細ク長クト云フ意味ハ、堅實ニ之ヲヤラナケレバナライ、今ハ如何ナル状態ニアリマシテモ、必ズヤ始マツタコトハ收マル時期ガ来ルノダ、今ハ日米間ハ洵ニ厭ナ状態ニ置カレテ居ル、太平洋ノ波ハ高イ、ケレドモ必ズ鎮マル時ガ来ルニ違ヒナイ、又蠶絲業ノ將來モ、私ハ屢、政府當局ニ對シテ申上ゲマスヤウニ、非常ニ悲觀シテ居ル人モアリマスケレドモ、決シテ私ハ悲觀スル必要ハナイト思フ、併シナガラ現在ノ状態ヲ此ノ儘ニシテ置クナラバ、悲觀ヲセナケレバナライ、併シナガラ此ノ際蠶絲對策其ノ宜シキヲ得レバ、私ハ蠶絲業者ノ將來必ズシモ悲觀スルニ及バヌト考ヘマスガ、併シナガラ太ク短クヤラウトスレバソレハ出来ルデアリマセウガ、ソレデハ蠶絲業ノ將來ハ悲觀セナケレバナリマセヌ、——出来ルダケ太ク長クト云フコトハ何人モ希望スル所デアリマシガ、ソレハ希望シテモ事實ハ得ラルモノデハナイ、出来レバ結構ダガ、ソレハ出来ルモノデハナイ、是ハ蠶絲バカリデハアリマセヌ、總デガサウト私ハ考ヘテ居ルモノデアリマス、カルガ故ニ細ク長ク所謂堅實ノ道ヲ辿ルベシ、細ク長ク之ヲヤラセヤウ斯様ナコトデナケレバナラスト私ハ考ヘルノデアリマス、只今大臣ノ御説明ヲ伺ヒマシテモ、私ノ此ノ趣旨ト違ハヌヤウニ思ハルノデアリマスルガ、ソコデ我が國蠶絲業ノ將來ヲ細ク長ク堅實ニヤラセヨウト云フ御考ヘデアラナラバ、私ハ本邦生絲ノ需要者、即チ米國絹業者ノ實情ヲ能ク調査シテ向フノ氣持ニガツチリト合フヤウナ方法ヲ講ズルコトガ急務デアルト、斯様ニ考ヘ

ルノデアリマス、此ノ意味ニ於テ私共ハ今回ノ蠶絲業ノ統制ナルモノハ、願ハクバ米國絹業者ノ満足スルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイ、斯様ニ實ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ今回ノ此ノ蠶絲業統制法案ヲ見マスト、洵ニ遺憾ノ念ヲ禁ズルコトガ出来ナイノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト、即チ此ノ蠶種、繭生絲ノ生産統制、内地向ノ生絲其ノ物ニ對シマシテハ統制ガ出来ルケレドモ、最モ大切ナル輸出方面ノ統制ガ吾々ノ希望スルガ如ク出来テ居ラナイト云フ風ニ實ハ考ヘルノデアリマス、サウシマスレバ細ク長ク、之ヲ堅實ニヤラセヨウト希望シテモ、果シテ其ノ希望ヲ達シ得ルカドウカト云フコトニ付テ多大ノ疑問ガアルノデアリマス、恐ラクハ全國ノ蠶絲業者ガ此ノ一點ニ非常ナル關心ヲ持ツテ居ルコトデアルト思フノデアリマス、デアリマスカラ、私ハ折角ココマデ、御心配ヲ戴イタノデアアルカラ、生産統制モ無論必要デアル、ダガ輸出統制ト云フコトニ付テ、一段ノ御考慮ヲ戴キタイ斯様ニ實ハ思フノデアリマス、然ラバ米國ノ機業者、絹業者ガドウ云フコトヲ希望シテ居ルカト云フト、ソレニ付テハ價格ノ安定デアルトカ、絲質ノ改良デアルトカ、生絲ノ宣傳、此ノ三ツハ吾共ガ先年向フニ參リマシタ際ニ、向フノ絹業協會ノ代表者、幹部ノ連中ガ悉ク此ノ希望ヲ述ベテ特ニ此ノ絲價安定ニ付テハ切ナル希望ヲ述ベテ居タノデアリマス、所ガ此ノ絲價安定ハ無論必要ダガ多少ノ旨味ガナクテハイカヌ波ガナクテハイカヌ斯様ナコトヲ屢、蠶絲局長ノ説明カラ伺フノデアリマス、ケレドモ米國絹業者ハ其ノ波ヲ嫌フ、小サナ波デモ之ヲ嫌ツテ居ル、價格ノ安定

ト云ツテモ其ノ安定ハ一定デハナイト言ハレケレドモ、吾々ガ向フデ多クノ絹業者ヤ、機業者ニ付テ聞ク所ニ依リマスレバ「ワシ・ブライス」ヲ彼等ハ希望シテ居ルノデアリマス、故ニ彼等ノ希望ニ應ズルヤウニシテヤルト云フコトガ、所謂細ク長ク我が生絲ヲ「アメリカ」ニ輸出スルコトノ出来ル唯一ノ途ダト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石黑國務大臣 蠶絲ノ貿易ヲ堅實ニ長クヤルト云フコトガ將來ノ方針デナケレバナラス、其ノ爲ニハ太ク長クト云フコトハ事實望ンデモ出来ヌコトダト云フ御話デスガ、其ノ通りダト思ヒマス、出来ルダケ從來ノ幅ヲ狭メルコトナシニ堅實ニ長クヤルト云フコトガ結構デアルト考ヘルノデアリマス、其ノ爲ニハ需要者ノ心ニ通フヤウニシナケレバナラス、斯ウ云フ御話デアリマシテ、其ノ點カラ見ルト、輸出ノ統制ガ出来ヌト云フコトガ本案ノ缺點ダト思フト云フ御意見デアリマス、是ハ加藤サンガ先年「アメリカ」ニオイデニナリマシテ、當業者ヲ歴訪セラレタ結果、舉ゲラレタ三ツノ點ト云フモノハ何レモ尤モナモノダト考ヘマス、ソレデ絲價ノ安定ニ付キマシテハ、無論安定ヲ欲スルト云フコトデアラウト思ヒマス、安定ト云フコトハ希望ヲ致スノデアリマセウガ、限ラレタ會社ノ化學纖維ノヤウニ、一本ノ價格ニ釘付ケルト云フコトハ中蠶絲トシテハ望ンデモ難カシイコトデハナカラウカト、私ハ其ノ性質上考ヘマス、出来ルダケ安定ヲ致スト云フコトニ關シマシテモ、又其ノ方法手段ニ依ツテハヤハリ色々ナ御意見モアリマセウガ、一手買入、

一手販賣トスルノガ宜イカ、或ハ只今御審議ヲ願ツテ居リマスヤウナ案ノヤウナ考ヘ方ニ依ル方法ガ宜シイカ、之ニ付テハ色々御意見モゴザイマセウト思ヒマスガ、一手買入、一手販賣ハ理想トシテハ考ヘ得ルコトデハゴザイマスガ、併シ其ノ理想ヲ實現スルト云フ爲ニハ、實行問題ト致シマシテハ、種々ノ點ヲ考ヘテ參リマセヌト、俄カニ之ヲ實行致シマス、サナキダニ細ツテ來タ絲ノ貿易ガソレ等ノ混亂ノ爲ニ外カラ切レズシテ、内カラ混亂ノ爲ニ切レルト云フコトガアツテハ相成ラヌト、斯ウ私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、決シテ理想ニ於テ絕對ニ相容レザル反對意見ヲ持ツテ居ルト云フ譯デハゴザイマセヌ、併シ只今ノ所、斯ウ云フ急迫シタ事態ニ於キマシテ、アチガ買ワダケノモノハ續ケテ長ク賣ツテ行キタイ、而シテ何時ソレガドウナルカ分ラナイ、蠶絲貿易以上ノ問題デドウナルカ分ラヌト云フ國情ニアル場合ニ、國內ノ多數ノ養蠶業者、製絲業者、ソレ等ノ間ノ配給ノ業者ト云フモノヲ引括メマシテ、其ノ事態ノ急ニ應ジマスル施設ト云フモノヲ取敢ズ取纏メテ行クト云フコトニ力ヲ盡サナケレバナラスコトト考ヘテ、此ノ案ヲ出シテ居ル譯デアリマスカラ、輸出統制ヲ理想的ニヤリ得ナイト云フコトニ付テノ御指摘ノ點ハ、左様ナ缺陷ガアルカモ存ジマセヌガ、ドウゾ其ノ點ハ目下ノ事情ニ鑑ミマシテ、本案ニ御賛成下サランコトヲ御願ヒ致シマス

○高橋委員長 一寸加藤君ノ御發言ノ前ニ御注意申上ゲマスガ、大臣ハ非常ニ國務多端ノ際デアリ、且ツ特ニ御忙シイ御事情ヲ承ツテ居リマス、ソレデ委員ノ諸君ニ於カ

レテモ農林大臣ニ對スル質疑ヲ留保サレタ
數氏ノ方々ガゴザイマス、ソレデ御發言ハ
大臣ガ此ノ席ニ居ラレマセズモ、他ノ政府
委員ヲ通ジテ略、御承知置キノコト思ヒマ
スカラ、其ノ趣旨ヲ成ベク簡潔ニ御述べ下
サルヤウ御願ヒ致シマス、大臣カラモ簡潔
ナ御答辯宜カラト存ジマスカラ、是モ御
注意申上ゲマス

○加藤(知)委員 御尤モト思ヒマス、私モ
成ベク簡潔ニ申上ゲマス、併シソレカラソ
レヘト段々御尋ネ申上ゲマス、中々絲ノ
如ク縷々トシテ盡キナイト思ヒマスカラ大
概ナコトハ申述ベヌコトニ致シマスガ、
併シ大臣ハ、私ガ理想案デナイカラ反對スル
ト云フヤウニ考ヘテ居ラルルヤウニ思ヒマ
スガ、若シ大臣ガ左様ニ考ヘテ居ラルル
スレバ、私ハ決シテサウ云フ意味デ御尋ネ
シテ居ラルノデナイト云フコトヲ申上ゲ
ナケレバナリマセヌ、又私ノ之レマデ申上
ゲテ居タコトハ決シテ理想的ナコトヲ申上
ゲタノデハナイ、私ガ蠶絲貿易上現實ノ問
題トシテ是非サウヤラナケレバ日本ノ生絲
ヲ細ク長ク賣出スト云フコトハ出來ナイノ
デアルト、斯様ニ實ハ考ヘテ申上ゲテ居ル
ノデアリマス、併シ此ノ上彼此レ申上ゲマ
スト段々長クナリマシテ、他ノ諸君ニ御迷
惑ニモナリマスカラ、是レ以上ノコトハ申
上ゲマセヌ、ソコデ一ツ私ガ簡單ニ御尋ネ
シテ置キタイト思フコトハ、此ノ間局長ヲ
通ジテ大臣ノ御答ヲ戴キタイト云フコトヲ
申上ゲマシタノハ、昨年蠶絲科學研究所ガ
百七十万圓ノ寄附金出來マシテ、政府ガ
之ニ對シテ八万圓ノ助成金ヲヤツテ居ル、
十六年度ニ於キマシテモヤハリ昨年同様デ
アルヤウニ吾々承知シテ居リマスガ、實際

科學纖維、競争纖維トノ比較研究ヲ要スル
場合ニ、十分ノ經費ガナクテハ到底満足ナ
試験研究ハ出來ナイノデアリマスカラ、政
府ノ助成金ヲモツトウント増額シテ、シツ
カリ試験研究ガ出來ルヤウニスルコトガ急
務ダト思ヒマスガ、大臣ハドウ御考ヘデア
ルカ

今一ツハ各府縣ノ蠶業試驗場デアリマス、
現在ノヤウナ狀態デハ全ク吾々一般ノ蠶絲
業者ノ希望ニ副フコトガ出來ナイト思ヒマ
ス、是ハウント整理改廢シテシツカリト試
驗研究ヲヤラセルナラヤラセル蛇ノ生殺シ
ノヤウナコトデハイカスト思フガ、之ニ對
シテ大臣ハドウヤウナ考ヘテ持ツテ居ラレ
ルカ、此ノ二點ヲ御尋ネ申上ゲタイト思ヒ
マス

○石黒國務大臣 蠶絲科學研究所ニ關シマ
シテハ設立間モナイコトデアリマスノデ、
國家ノ助成金モマダ少クテ甚ダ相濟マスト
考ヘテ居リマスガ、政府ハ十分ニ援助ヲシ
テ研究ヲ進メテ参リタイト云フ考ヘテ持ツ
テ居リマス、其ノ一ツノ現ハレト致シマシ
テハ、先般研究所長ヲ決メルニ當リマシテ、
色々ト考ヘテ人選シテモ平塚博士以外ニハ
人ガナイ、國立ノ蠶絲試驗場長ヲシテ居ル
者ヲ其ノ儘兼ネサセテ居ルコトハ非常ニ難
カシイガラウガ、是非割愛サセテ呉レト
云フ御要望ガ當業者ノ方カラアリマシタ、
大學ノ方モ兼ネテ居リ、中々多忙ナ身デア
ラレマスケレドモ、是非斯ウ云フコトハ大
事ナコトデアルカラ綜合的ノ指導ヲスルヤ
ウニト云フコトゴ同氏ニ奮發ヲシテ貰ヒ、
又官廳關係ノ面倒ナ手續ガアリマシタガ、
之ヲ割愛シテ時間的ニ兼ネルコトノ特例ヲ
開イテ貰フト云フヤウナコトヲヤリマシタ、

之ニ依ツテ私共ノ蠶絲科學研究所ニ對スル
氣持ヲ御諒解願ヒタイト思ヒマス

各府縣ノ蠶業試驗場ノ件ニ關シマシテ御
指摘ノ點ハ、十分ニ注意ヲ致シマシテ改善
ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○加藤(知)委員 モウ一點御尋ネ致シマス、
此ノ間モ桑園ノ減反ノコトニ付テ申上ゲタ
ノデアリマスガ、此ノ間段々伺ヒマス、
桑園ハ五十三万町歩ノ中六万六千町歩ヲ整
理スル、サウシデ食糧生産ノ方ニ廻ス、斯
ウ云フコトデアッタノデアリマスガ、或ル
委員モ申サレタヤウニ此ノ問題ハ非常ニ蠶
絲業者ノ人氣ニ、容易ナラザル影響ヲ與ヘ
ルト思フノデアリマスカラ、此ノ場合餘程
考ヘナケレバナラスコトデアルト思ヒマス、
此ノ意味ニ於テ私ハ轉作減反ト云フヨリモ
間作的減反デヤラレルコトガ人氣ニモ影響
ヲ與ヘズ、又桑モ良ク出來、間作物モ良ク
出來ル、ト私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、
所ガ蠶絲局長ノ答辯ニ依リマス、間作ノ成績
ハ良クナイト云フ御答辯デアリマシテ、私
共ガ全國的ニ調査致シマシタコトハ全ク
反對ナ御考ヘノヤウニ思フノデアリマス、
併シ轉作減反ト御方針ノ決マツタ今日致方ハ
アリマセヌガ、萬一將來再ビ桑園ノ減反ヲ
ヤラル、ト云フヤウナ場合ハ今一段ノ調
査研究ヲナサル必要ガアルノデハナイカ、
ト私ハ考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付テ大
臣ノ御所見ヲ此ノ際承ツテ置キタイト思ヒ
マス

○石黒國務大臣 桑園ノ減反ト云フコトニ
付テ御尋ネデアリマスガ、是ハ前ニモ局長
カラ申上ゲタコトト存ジマス、今日食糧ノ
關係上荒廢地休閑地等モソレノ極力食糧
作物ニ利用シテ行キタイト云フヤウナ事情

ニナツテ居リマス、サウシテ尙ホ桑園ニ關
シマシテモ、古クナツテ收穫量ノ少イヤウ
ナ所ハ食糧作物ニ轉換シテ行ク必要ガアル
ヤウニ考ヘテ計畫ヲ致シタ次第デアリマス、
其ノコトガ蠶絲業ニ關係シテ居ル人々ノ人
氣ニ關スルト云フヤウナ御話ハ御尤モト存
ジマス、無論今日ハソレヲ致シマセズモ
蠶絲業關係者ハ非常ナ事態ニ直面シテ居ル
ノデアリマス、デアルカラ其ノ際ニ更ニ人
氣ニ打撃ヲ與ヘルヤウナコトハ慎ムヤウニ
ト云フ御話ガラウト思フノデアリマスガ、
桑園ノ減反ノコトヲヤラナクテモ、ヤツテ
モ、此ノ際ニ於テ蠶絲業關係者ト云フモノハ
非常ナ事態ニ直面シテ居ルト云フコトデ、
自覺ヲ十分ニシテ戴カナケレバナラスコト
ト思フ、ソレハ蠶絲業自體ニ及ンデ参リマ
シタ直接ノ問題、ソレト國全體トシテ受ケ
テ居ル大問題カラ、延イテハ食糧ノ問題ガ
來テ居ルノデアリマス、農業者ニシテ尙ホ
殆ド養蠶專門ニナツテ居ル所ト云フヤウナ
所デモ、非常時下ノ食糧ト云フコトニ付テ
ハ農業者デアル限り、從來トハ時代ガ變ツ
タノデアリマスルカラ、或ル程度經營方面
ノ考ヘヲ變ヘテ行ツテ貰ヒタイト云フ風ニ
考ヘマス、省令ヲ以テサウ云フヤウナコト
ヲ自覺シテ貰フト云フヤウナコトヲヤツテ
行クベキ時期ニ達シテ居ルヤウニ思フノデ
アリマス、從來ノ養蠶專門ノ地方ニ於キマ
シテ吾々ハ調ベタコトガアル、農家ノ食ベ
ル蔬菜或ハ漬物類マデモ東京市ヲ經テ移入
ヲシテ居ツタト云フヤウナ地方ノアリマス
コトヲ、現ニ私ハ調査ニ參ツテ知ツテ居リ
マス、サウ云フコトデ、御指摘ノ間作ニ依
ル食糧作物ノ生産ト云フヤウナコトハ、無
論出來ルダケ獎勵シテヤリタイト云フ風ニ

思ツテ居リマス、ソレト同時ニ桑園ノ如キモノモ、古クナリマシテ收量ノ少クナツタヤウナモノハ或ル程度ニ於テ切替ヘテ食糧生産ニ向ケルト云フコトハ、只今ノ情勢上已ムヲ得ナイコトトスウ考ヘテ居ルノデアリマス、將來ソレヲドウ云フ風ニ實行シテ進ンデ參ルカト云フ問題ニ關シマシテハ、只今御指摘ノヤウナ事情モアルノデ、十分慎重ニ考慮致シマシテ、其ノ上必要トシマスナラバ、十分慎重ニ調査ノ上ニ於テ考慮スルコトト致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○加藤(知)委員 モウ一點ダケ、是モ大臣ハ御承知ノコトデスカラ、詳シクハ申上ゲマセスガ、養蠶指導員ハ他ノ農事指導員等ニ比ベマシテ非常ニ待遇ガ惡イト云フノデ、吾々モ絶エズ不平ノ聲ヲ聞イテ居ルノデアリマス、特ニ斯ウ云フ時代ニナリマス、他ヘ轉向スル、轉職スルト云フヤウナ者ガ中多イノデアリマシテ、是ハ洵ニ困ル現象デアルカラ何トカ養蠶指導員ヲ優遇スル方法ヲ講ジテ貰ヒタイト云フ要望ノ聲切ナルモノガアルノデアリマス、之ニ對シテ特ニ大臣ノ御考ヘノアル所ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○石黒國務大臣 養蠶指導員ガ他ノ指導員ヨリモ從來待遇ガ惡カツタト云フコトガアルヤウニモ存ジマスガ、色々ナ社會ノ職業又職員ノ任務ノ如何ニ應ジマシテ、我が國ノ如キ所デハ待遇ニ凸凹ガアツテ、其ノ當事者カラ見レバ不滿ノ點ガアリマセウガ、大體カラ見ルト、ソレノ社會的理由及ビ沿革ノ理由ニ於キマシテ、色々ナ物ニ價格ノ相違ガアルヤウニ、先ヅ大體ニ於テハソレノ理由ガアツテ定マツテ居ルト見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、特別

ニ不當ナル待遇ヲ特殊ノ理由カラ受ケテ居ルヤウナ所ハ、是ハ進ンデ是正シナケレバイカヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、總テ改良イ方ノ均霑致シマスレバ、モウ馳ゴツコデ何處マデ行ツテモ盡キルコトハナイノデアリマス、ソコデソレ等ノ點ニ關シマシテ、特別ニ是ハ何トカ致サナケレバナラヌモノカドウカ私ハ未ダ能ク最近ノ事情ヲ承知致シマセス、十分ニ調査ヲ致シマシテ慎重ニ考慮致シタイと思ヒマス、特ニ之ヲ優遇スルト云フヤウナコトハ、只今ノ時代ニハ少シ難カシイコトデハナカラウカト考ヘマスガ、十分ニ調査ヲ致シマシタ上デ、不當ナル待遇ニナツテ居ルヤウデアリマシタナラバ、十分ニ對シテ施設ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○加藤(知)委員 實ハ大臣ノ質問應答ヲ徹底的ニ重ネタイト考ヘテ居リマシタガ、時間其ノ他ノ關係ガアリマシテ、洵ニ遺憾ナガラ此ノ程度デ打切ルコトニ致シマス

○高橋委員長 野溝君

○野溝委員 私ハ二點ダケ質問ヲシテ見タイと思ヒマス、大臣ガ本法案ヲ御提出ニナツタコトニハ非常ニ感謝致シマス、私ノ聽カントスル所ハ、筋書ヲ申シマス、政府ハ本法ノ上程ニ當リマシテ、他ノ蠶絲關係法規ノ改正法案ヲ本議會ニ上程スルト思ツテ居リマシタ所ガ、絲價安定施設法、產繭處理統制法、生絲檢査法ト云フ點ダケノ改正ガ同時ニ行ハレルノミデアリマシテ、其ノ他蠶絲ニ關係ヲ持ツ諸法案ガ改廢サレナカツタノデアリマス、此ノ點ハ政府ト致シマシテ如何ナル御所見同時ニ改正法案ヲ出サナカツタノカ、將又將來ニ於テハ本法案ニソレ等ノ關係法案ヲ一切吸收、改廢

シヨウト云フ意思デアルカドウカト云フ點ヲ先ヅ御質問致シマス

○石黒國務大臣 只今ノ野溝サンノ御質問ハ、一二ノ關係法令ヲ本案ニ聯關シテ改訂ヲ致シタガ、他ノモノヲヤラナイノハドウ云フ理由デアルカト云フコトデアリマス、詰リ直接關係ノ極メテ密接不可分ノモノヲ取リマシテ、本案ノ改正ト共ニ改正ヲシタト云フニ止メタ譯デアリマス、ソレ以外ニ於キマシテ改正ヲ要スルモノモ、御意見ノヤウニ多クアラウカト存ジマスガ、ソレ等ヲ提案致シマセナンダコトハ、兎モ角モ本案ノ如キ極メテ急イデ強度ノ統制ヲ實現スルト云フコトヲヤラナケレバナラヌ必要ニ迫ラレテ居ル時代ハ、爾餘ノモノヲ平常時ノヤウニ之ヲ改正シテ行クト云フヤウナ所マデ實ハ手ガ及ビマセス、サウ云フ事情デ已ムヲ得マセナンダノデアリマシテ、別ニ他意ゴザイマセス、將來之ニ一切ヲ吸收スルカト云フ御尋ネデアリマスガ、成ベク統制ニ關係ノアルモノハ、統制法デスカラ是デ統制ヲ致シタイト云フ考ヘハ持ツテ居リマスガ、併シ物ノ性質ニ依リマシテ、一切ヲヤルト云フ譯ニモ行カヌモノガアルダラウ、ソレハソレデ又必要ナル改正ヲ加ヘテ行ツタラ宜イデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、團體ニ關スル分ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通りニ農林、水產團體ノ整備統制ト云フコトハモウ年來ノ懸案デアリマシテ、大分事態ガ熟シテ參リマシテ、其ノ方ニ進ンデ參ツテ居リマシタ所ニ、産業全體ニ互リマシテ産業經濟ノ新體制ヲ整ヘテ行ク、其ノ大キナ一部門ト致シマシテ、産業團體ノ統制整備ト云フコトガ大キナ一項目トシテ掲ゲラレテ居ル譯デアリマス、

サウシマス、ヤハリソレニ對應致シマシテ農林、水產關係ニ於キマシテモ年來ノ整備統制ノ問題ニ附加ヘテ、サウ云フ産業新體制ノ時代ニナツタト云フコトノ新シイ理由ガ出來タ譯デアリマス、ソコデ成ベク之ヲ外トモ連絡ヲ執ツテ行キタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、外ノ方ハドウカト申シマス、全ク自由ニ出來マシタ會社ガ商業ニ於キマシテモ工業ニ於キマシテアル譯デアリマシテ、商工會議所ト云フモノハ大分半官ト申シマスガ、公法人的存在トシテ法規ノ示シテ居ル所デアリマスガ、ソレ以外ハ極メテ自由ナルモノガ多イ、農林、水產、蠶絲ト云フヤウナ系統ノ下ニヤツテ居ラレマスル團體ハ比較的少イ、ソコデ新シク團體制度ヲ定メラルルニ付テモ比較的自由デアアルノデアリマス、コチラノ方面ハ系統モ既ニ付イテ居リ、又沿革モ古イノデアリマシテ、ソレノガソレゾレノ長イ沿革ヲ持チ、サウシテ財産モ持チ、組合員或ハ會員ト云フモノガ非常ニ澤山居ル、經濟行為ヲシテ居ルモノニ付テハ、團體ト團體員トノ間ニ經濟關係、債權債務ノ關係ガ個々別々ニ出來テ居ル、團體自體ノ外部ニ對スル債權債務モアリ、財産モアリ、役員、職員ト云フモノモ相當アルモノノ待遇ガソレノ違フト云フコトガアリマス、大分時機ガ熟シテ立案モ進ミマシタ爲ニ拘ラズ、急迫シタ事態ニ直面ヲ致シマシタ際ト致シマシテハ、ソレ等ノ整備統制ヲ致シマス爲ニ非常ナ再組織ノ爲ノ紛亂ヲ方々ニ生ジ、ヤリ掛ケデ時ガ過ギル、片方ハ出來上ツタ、片方ハマダ出來上ラナイノガアルト云フヤウナ狀態デ、非常時中ノ非常時ニ突入スルト云フコトハ如何ナモ

ノデアアル方ト云フコトヲ提案止メタヤウ
ナ次第デゴザイマス、左様ナコトデ此ノ法
ノ改正ニ付キマシテハ一應考ヘヲ及ボシタ
ノデアリマスガ、併シ他ノ團體統制ト同
ジヤウニ蠶絲關係ノ團體ニ付キマシテモ現
狀ノ儘デ——團體ハ既ニアルノデアリマス
カラ、ソレニ新シイ非常時ノ氣分ヲ盛ツテ
蠶絲方面ノ報國ヲシテ戴クヤウ呼掛ケマス
コトニ於テヤリタイト考ヘマシテ、此ノ法
案ノ提案ハ差控ヘタ譯デゴザイマス

○野澤委員 ソレニ關係シテ此ノ點ガ聴
イテ置キマス、只今大臣ノ答辯ニ依リマス
ト、大體是ハ統制法案デアルカラ之ニ關聯
シタ一切ノ關係法ハ名ノ如ク統制吸收スル
方針デアルト云フ風ニ私ハ聴取ツタノデア
リマスガ、サウ云フヤウニ解釋シテ宜シウ
ゴザイマスカ

○石黒國務大臣 ドノ法案モ色々ナ方面ニ
關係ガアリマスノデ、ドノ方面ニ關係シタ
モノガ多イト云フコトハ認定ノ問題ニナル
ダラウト思ヒマス、統制法ニ關シマシテハ
統制法ノ主目的ト致シテ居リマス所ノ蠶絲
業統制ト云フ方面ニ直面ヲ致シマシテ、主
ナモノハ之ニ統合致シタイ、其ノ他ノモノ
デソレハ——厚薄ノ關係ハ多少ノ違ヒハアリ
マシテモ、外ノ方デ獨立サセテ宜シイモノ
モアルト思ヒマス、一切ヲヤルト云フ譯デ
ハアリマセス、又物ノ見方ニ依ツテハ何レ
モ皆統制ト云フコトニ引張ツテ解釋ガ出來
ルモノデゴザイマス、併シソレダカラト云
ツテ皆入レルト云フ譯ニモイカスト思ヒマ
ス、例ヘバ團體法ノ如キモノヲドウスルカ、
斯ウ云フコトニナリマス、ソレハ統制ノ
爲ニ必要ナ團體ト云フコトニハナリマウ、
併シ團體ヲ整理統合シテ系統アル團體ニス

ルコトガ他面ニ要求セラレ、而モ農家ノ關係
シテ居ル團體ト云フモノガ色々ノモノニ互
ツテ居ルノヲ整理統合シヨウト云フヤウナ
コトガ唱ヘラレテ居ル時デアリマス、ソ
レヲ蠶絲ニ關スル限リハ蠶絲統制法ノ方ニ
入レルト云フ譯ニ行カナイ場合モアラウト
考ヘテ居リマス

○野澤委員 ソレデハ私希望ダケ述ベテ置
キマス、實ハ過般來此ノ委員會デ問題ニナ
ツタノデアリマスガ、輸出業ノ問題、ソレ
カラ産業組合製絲ノ問題、支那ニ於ケル蠶
絲業調整ノ問題等々之ニ關係シタ問題ガ非
常ニ派生シテ、今日ニ至ルマデ其ノ結論ヲ
得ラレナイ譯デアリマス、私ハ此ノ農家農
家ト言ハレマスケレドモ現在蠶絲業ト云ヒ
マシテモ農業全體トシテ考ヘナケレバ、從
來ノ如ク唯蠶絲業ト云フ一ツノ固着シタ考
ヘデナク、農業全體ノ立地性ヲ持ツタ所マ
デ發展シタ考ヘヲ持ツテ行カナケレバナラ
スト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、サ
ウ云フ一ツノ理想サヘモ此ノ法案ニ付テ論
議ヲ進メマス只今ノヤウナ問題ガ起ツテ、

其ノ結論ヲ得ラレナイヤウナ狀態ニアリマ
ス、ドウカ一ツ大臣御願ヒデアリマス、農
業團體ノ統制モ非常ニ結構、大賛成デアリ
マスガ、併シソレヨリモ職業別ノ團體ダケ
ハ是非統合シテ貫ヒタイト思ヒマス、是ハ凡
ユル方面ニ影響ノアル問題デアリマスカラ、
是非一ツ大臣ノ御記憶ニ留メラレテ來ルベ
キ議會ナリ或ハ其ノ施行上ニ當リマシテ一
ツ御考ヘヲ實行ニ移シテ戴クヤウニ希望申
上ゲテ置キマス

第二點是モ簡單ニ御答辯ヲ伺ヒマス、蠶
絲生絲ノ利潤算定ニ關スル大臣ノ御所見ヲ
伺ヒタイト思フノデアリマス、過般來ノ委

員諸兄ノ質問ニ對スル政府委員カラノ御答
辯ハ生産費ヲ保障スル、サウシテ利潤ヲ保
障スルト云フコトデアリマス、實ハ漠トシ
テ分ラヌノデアリマスガ、私ハ利潤ナドト
云フコトハ斯ウ云フ時局デアリマスカラ餘
リ論議シタクナイ、併シ生産費ト云フモノ
ガ或ル程度保障サレヌコトニハ生活ガ出來
マセヌシ、生産擴充ガ出來マセヌカラ、此
ノ點ハドウシテモ保障シテ貫ハナケレバナ
ラスト思フノデアリマス、ソコデ問題ハ何
ト言ヒマシテモ生産階級ハ養蠶家デアリマ
ス、生産費ノ問題ニ對シテハ既ニ絲價安定
委員會ニ於テハ前年度ノ繭值ガ大體決定ニ
ナツテ居ル、コソデ政府ガ發表シタ所ガソ
レガ何モ今後ニ於ケル繭價デアルト云フコ
トヲ當局ガ決定的ニ申サレルモノデモナイ
ノデアリマス、大體吾々ガ昨年度ニ於ケル
挺入以來ノ繭價ト云フモノガ是ハ逆算デア
リマセウカ、或ハ生産費カラノ掛目デア
ルカ知リマセヌガ、大體決ツテ居ル、ソレヲ
以テ私ハ今後ニ於ケル繭價ノ基準、基本値
デアルト云フ風ニハ受取りマセス、參考ト
シテ、當局ノ期待ニ副ツテ、生産擴充、品
質ノ改良ト云フコトニ一生涯命デアリマス
カラ、一ツ此處デ御發表願ヒタイト存ジマ
ス

○石黒國務大臣 繭ノ價格ニ關シマシテノ
御尋ネデアリマス、其ノ基準ヲドウ見テ居
ルカト云フコトノヤウニ伺ヒマシタ、之ニ
關シマシテハ生産費ヲ基準ト致シマシテ決
定ヲ致シマス、其ノ決定ノ仕方ハ出來ルダ
ケ生産費ヲ精密ニ調査致シマシタ資料ヲ十
分ニ備ヘマシテ、ソレヲ資料ト致シマシテ
蠶絲委員會ニ諮問ヲシテ決定致スト云フ方
針ヲ立テテ居ルノデアリマス、此ノ生産費

ヲ中心ト致シマシテ蠶絲委員會ノ諮問ニ付
シ、蠶絲委員會ハ色々ナ方面ノ權威者ガ集
マラレテ活キタ御判斷ニ依ル色々ナ御意見
ヲ綜合致シマシテ決メタイト考ヘテ居ルノ
デアリマス、今日生産費ガ幾ラデアツテ凡
ソ幾ラヲ以テ繭值ト見ルカト云ツタヤウナ
コトハ、此ノ際ニ於テハ御答ヘヲ差控ヘタ
イト思ヒマス

○野澤委員 先程來私御願ヒシテ居ツタノ
デアリマスガ、ドウモ大臣ノ御答辯モナイ
ノデ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスガ、大
體是ハ絲價安定委員會ガ決メタル値段ヲ、吾
吾ハ參考ニシヨウト思フノデス、ソレヲ發
表ニナラスト云フトドウモ困ルノデスガ、
斯ウ云フ風ニ見テ宜イデスカ、是ハ蠶絲局
長カラ御答辯ヲ願ヒタイ、大體挺入レ生産
價格五十圓ト云フモノカラ逆算致シマス、
大體五、六十掛ト云フ風ニ私ハ見テ居ルノ
デスガ、ソレデ間違ヒナイノデアリマスガ
○吉田政府委員 生産費ヲ基準ニシテ繭ノ
買値ヲ決メタルト云フコトニガツテ居リマシ
テ、絲價カラ逆算シテ繭值ヲ決メタルト云フ
ヤウニハナラナイノデアリマス、今ノ御話
ハ絲價カラ逆算スル値デアリマスガ、今度
決メマスモノガ、其ノ程度ニナリマスガ、
ソレヨリ上ニナリマスガ、下ニナリマスガ、
今大臣カラ申サレマシタヤウニ、相當生産
費ヲ基準トスル凡ユル精密ナ資料ヲ基礎
ニシテ、大臣ノ仰セラレタ通り、生キタ御
判斷ヲ願ツタ上デ、決定ヲスルト云フコト
ニナリマスカラ、ドノ程度ニナリマスガハ、
私モ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス

○野澤委員 先程ノ大臣ノ御答辯ニ依リマ
ス、生産費ハ各方面ノ養蠶家ニ當ツテ、
精密ナ調査ヲシテ決メル、勿論精密ナ調査

ト云フト、蠶種代、諸掛り或ハ税金ト云フヤウナモノヲ、全部入レタモノヲ基準ニサレノデアリマセウケレドモ、大體養蠶實行組合聯合會ノ、十五年度ノ生産費ト云フモノハ、九圓十六錢ニナツテ居ル譯デス、サウ云フ一ツノ養蠶實行組合聯合會アタリノ生産調ベガ、發表ニナツテ居リマスノデ、養蠶家モソレヲ參考ニシテ進ンデ居ルノデアリマスケレドモ、大體養蠶組合聯合會アタリノ生産調ベト、政府ノ見解ハ餘リ大差ハナイヤウニ、御考ヘニナツテ居ラレマスカドウデスカ

○吉田政府委員 是ハ政府ノ見解トカ何トカ云フ問題デハナイト思フノデアリマシテ、精密ナ資料ガ出テ参リマスルカラ、其ノ資料ニ依リマシテ、委員會デ能ク精査シテ参リマシテ、ソコニソレコソ能ク生キタ判斷ヲスルコトニナツテ、適當ニ決メテ貫フノデアリマス、決メテ貫ヒマスモノガドノ程度デアリカト云フ見透シハ、吾々ニハ絶對ニ申上ゲ得ラレヌモノト、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○野澤委員 ドウモ其ノ點甚ダ遺憾ニ考ヘマスケレドモ、マサカ養蠶家ニ不利ニナルヤウナコトハナイデセウ、其ノ點ハ過般來ノ御答辯ニ依ツテ、ハツキリシテ居ルノデスカラ私ハ申上ゲマセヌ、政府モ御存ジダト思ヒマスケレドモ、昨年ノ十一月郡是アタリデハ五十五掛デ繭ヲ賣出シタ、ソレガ爲ニ非常ニ繭價ニ影響ヲ來シタト云フコトガアル、斯ウ云フ思惑ノナコトヲヤラレテハ、幾ラ政府ガ生産費ヲ保障シテヤルト云ツテモ、ソレニ荒サレテ來マスカラ、其ノ點ハ十分御注意願ヒタイト思ヒマス

○高橋委員長 山田六郎君

○山田(六)委員 極ク簡單ニ一、二御伺ヒ

致シタイト思ヒマス、先達デ農林大臣ヨリノ御説明ヲ拜聽致シタノデアリマスガ、本法案ニ對シテ第一項ヨリ、第七項マデノ御話ガアツタノデアリマス、其ノ中デ寧ロ本案ニ對シテ重要ナルコトハ、第一ノ蠶絲業生産計畫ノ設定、第二ノ會社ノ設立、此ノ二ツノ問題ガ蠶絲業ノ骨子ヲ成シテ居ル、斯ウ云フ風ニ見ラレルノデアリマス、殊ニ此ノ目的達成ノ手段トシテ會社ヲ設立スル、斯ウ云フコトデアリマスガ、ソレガ第四條ニ規定サレテ居ルノデアリマシテ、是ハ統制機關ノ會社ニ對スル命令デアリマス、此ノ第四條ニ蠶種、繭、生絲ヲ日本蠶絲統制株式會社ニ賣渡スベシ、斯ウ云フヤウニハツキリ規定シテアルノデアリマス、更ニ生産ノ用ニ供スル蠶種又ハ繭ハ、日本蠶絲統制株式會社以外ノ者カラ買入レルコトヲ得ズ、斯ウ云フ工合ニ規定シテアルノデアリマス、即チ蠶絲業者ノ生産ニ依ルモノ、或ハ生産資材トシテ入用ナルモノハ、蠶絲統制株式會社カラ買入レルコト、或ハ蠶絲統制會社ニ賣渡スコト、此ノ二ツノコトガ此ノ統制ノ眼目トナツテ居リマス、之ニ依ツテ統制ノ完璧ヲ期サウト云フノガ、第四條ノ目的デアリマスカラ、本統制法ニ於キマシテ、第四條ハ極メテ重要ナル部面ヲ占メテ居ル條項ト思フノデアリマス、私ハ是デ宜シイト思フノデス、斯ウスルコトニ依ツテ、初メテ統制ノ實ヲ學ゲ得ラレルコトト、信ズルノデアリマス、併シナガラ此ノ中ニ但書ガアル、此ノ「但書」命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズト云フ條項ハ、今日マデノ日本ノ立法原理ト云ヒマスガ、立法技術ト云ヒマスガ、一般法令ノ上カラ申

シマシテ、極メテ異例ナモノニ對スル救済法ト云フコトガ、通則ニナツテ居ルノデアリマス、所謂極メテ少數ナル品物ニシテ、或ハ地方ノ特殊ナル需要ノ關係、消費ノ關係等ヨリモ、此ノ四條ノ目的ヲ此ノ儘用フルコトニ依ツテ、非常ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトガアツテハ困ルト云フノデ、救済條項トシテ使ハレテ居ルノガ、今日マデノ日本ノ立法ノ常習ナノデアリマス、而シテ此ノ第四條ニ對シテハ、五千圓以下ト云フ非常ニ過大ナ罰金ヲ以テ、此ノ違反者ヲ罰スルコトニナツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、斯ウ云フ強イ大ナル罰則ヲ付ケテアル所ノ第四條、即チ生産品ヲ賣渡スベシ、統制會社以外カラ買ツテハ相成ラスト云フ、此ノ二ツノ金科玉條トモ言フベキ重大ナル條項ハ、何處マデモ遵守シナケレバナラス、若シ之ニ反シタ者ハ、五千圓以下ノ罰金ニ處スルコトニナツテ居リマスカラ、是ハ動カスベカラザル條項デアアル、併シナガラ此ノ但書ト云フモノハ、斯ウ云フ高イ罰金ヲ以テ、命令ヲ嚴格ニ實行セシムルト云フコトハ酷ニ失スル、或ハ實際ニ行フトシテ考ヘモノデアルト云フヤウナ、情狀酌量スベキ特例ノモノニ臨ム救済法トシテ、此ノ但書ガ存在スルト云フコトデナクテハナラスト思フノデアリマス、然ルニ先日來政府當局ノ御説明ニ依リマス、全ク此ノ條項ニ反シタルコトヲヤラウト云フ、御計畫ガアルヤウデアリマスガ、是ハ此ノ法律ノ表面カラ言ヒマシテ、實ニ私ノ理解シ得ナイ御説明ダト思フノデアリマス、日本ノ生絲ハ海外ノ輸出、日本内地ノ需要、此ノ二ツノ目的ガ日本蠶絲業ノ大ナル消費方面ニナルノデアリマス、日本ノ蠶絲業ノ消費方面

ハ輸出ニアラズンバ内地需要、此ノ二ツデアリマス、此ノ二大眼目ガヤハリ第四條ノ中ニ支配サレルコトハ、是ハ當然過ギル程當然ダト吾々ハ思フノデアリマス、而シテ其ノ以外ノ各地方々々ニ種々ナル生産ヲ消費ガ行ハレルノデアリマスカラ、ソレ等ノモノニ此ノ五千圓ト云フヤウナ、斯ウ云ウヤウナ嚴格ナ命令條項ヲ以テ臨ムト云フコトハ、是ハ理窟ニ合ハナイ、救済スル方法ガナクテハナラス、此ノ但書ヲ以テサウ云フ部面ノ救済ニ充テルト云フモノガナケレバ、法律ノ體ヲナサスト考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ニ對シマシテ、今日マデノ政府當局ノ辯明ニ非常ニ深キ疑ヒヲ抱ケ者デアリマスカラ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○石黑國務大臣 山田サンノ御尋ネニ御答ヘ致シマスガ、本法第四條ハ本法ノ目的ノ重要ナル一ツデアアルト云フコトハ御指摘ノ通りデアリマス、而シテ之ニ依リマシテ會社ニ對シテ賣買ヲ致スト云フ原則ヲ執ツテ居ルノデアリマスノデ、御話ノ通り生絲ト致シマシテハ、一半ハ輸出用、一半ハ國內用ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、生絲ノ問題ニ付テ只今マデ動モスレバ輸出ト云ヘバ生絲、生絲ト云ヘバ輸出ト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、併シ他ノ一半ハ國內ノ需要ニ向ケラレテ居ルノデアリマス、最近ニ於キマシテハ、國內需要ガ御承知ノ通り段々餘計ニナツテ來テ居ルト云フヤウナ事情デアリマス、將來ノ問題ト致シマシテハ、只今ノ急迫事情ノ下ニ於キマスルヤウナコトハ、是ハ長續キモ致スマイト思ヒマスシ、長續キシテハナラスノデアリマシテ、先程加藤サンノ御尋ネノヤウニ、吾々ハ出

來ルダケ早ク通常ノ貿易狀態ニ戻シテ、出來ルダケノモノヲ輸出致シタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレニ致シマシテモ、相當長期ニ亙ツテ、是等ニ對シテハ多少ノ差ノアルコトハ已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ輸出生絲ガ全部デナイト云フコトハ事實デアリマス、而シテ此ノ會社ノ取扱ヒマスモノハ、雷ニ絲ニ限ラナイノデアリマス、蠶絲ノ大部分、繭ノ殆下大部分ニ付キマシテハ、此ノ會社ガ中心ニナツテ賣買ヲ致サセル、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、故ニ第四條ノ本文ニ於キマシテ、之ヲ包括的ニ書クト云フコトハ少シモ差支ヘナイト考ヘルノデアリマス、但書ニ於テ除外例ヲ付ケルト云フコトハ、御話ノヤウニ、是ハ取除ケノ場合ヲ言フノダト云フコトニナルノデアリマス、之ニ根據致シマシテ、輸出生絲ヲ取扱ハナイト云フコトニ致シマシテモ、只今申上ゲマシタヤウナ關係上、統制會社ノ取扱物品ノ價格ノ上カラ申シマシテ、必ズシモ不當ノコトハナイト私ハ考ヘマス、而シテ出來ルナラバ、ソレ等ノ輸出生絲モ將來ノ理想ト致シマシテハ、當會社ニ於テ統制ヲ及ボスト云フコトニ付テハ色々御意見ガアリマスガ、國ニ於テモサウ云フ反對ノ理想ヲ持ツテ居ルノデハナイ、理想ト致シマシテハ全クサウアリタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙更之ヲ本文ニ於テ廣ク書イテ置キマシテモ、一向差支ヘナイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○山田(六)委員 私モ少シ疑問ガアルノデアリマスガ、此ノ買入レ、賣渡シト云フヤウナコトガ、此ノ法律ノ眼目ニナツテ居ルノデアリマスカラ、省令、勅令等ヲ以テ、

法律ノ精神ニ反シタ規定ヲ設ケルト云フコトハ相成ラヌト私共ハ思フノデアリマス、是ハ法律ノ精神ニキチント決メテアル範圍内ニ於テ、勅令、省令ト云フモノガ發セラレノガ當然デアリマスケレドモ、法律ヲ勅令ヤ省令ヲ以テ左右シ得ルト云フコトハ絕對ニ許スベカラザルコトデアルト云フ風ニ考ヘラレノデアリマス、而シテ日本ノ蠶絲ノ大部分ト云フモノハ、輸出及ビ國用ノ二途ニ向ツテ使フノデアリマスカラ、此ノ大ナル流れハ此ノ法律ヲ以テ流れ決メテ置ク、賣渡スベシ、買入レルベシト云フ流れヲキチント決メテ行ク、此ノ二ツノ大キナ流れハ、此ノ法律ノ命ズル儘ニ、買入レ、賣渡シヲ統制シナケレバナラス、而シテ勅令ヤ省令ヲ以テ之ニ當嵌メルコトガ無理デアルト云フモノニ對スル救済方法トシテ、此ノ但書ニアルガ如キコトガ行ハレル場合ニ於テモ、勅令ヤ省令ニ依ツテ此ノ第四條ノ精神ニ反シタコトヲ規定スルト云フコトハ、所謂立法權ヲ無視シタモノデアルト云フ風ニ見エルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ今一應御所見ヲ御聽キシタイノデアリマス

○石黒國務大臣 法律ノ規定ノ仕方ノコトニ關シマシテハ、決シテ立法權ヲ無視シテ居ルトハ考ヘナイノデアリマス、是ハ專門ノ法制局等ニ於テモ認メラレテ來テ居ルノデアリマス、私共ハ左様ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、而シテ輸出生絲ヲ除キ、生絲ヲ買入レルト云フ風ニ致スコトガ宜シイカモ知レマセスケレドモ、色々御希望ニモアリマサウニ、私共ハ出來ルダケ理想トシテ、サウ云フ場合ニ立到リタイト云フ念願ハ持ツテ居リマス、其ノ時ニナツタラ又

變ヘテ廣クスルト云フヤウナコトヲシナクテモ宜カラウト考ヘルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○山田(六)委員 私共ハ其ノ輸出ヲ除外スルコトガ宜イトカ惡イトカ云フ意味デハナイノデアリマス、第四條ノ本文ノ上カラ此ノ法律ヲ解釋致シマス時ニ、此ノ日本ノ生絲ノ二ツノ流れ、此ノ二ツノ大キナ流れハ、此ノ第四條ニアル規定ニ依ツテ處置スベキモノデアツテ、其ノ他ノ小ナル此ノ規定ヲ利用シ得ナイモノニ對シテ救済ノ方法トシテ但書ガ挿入サレタト見ルノガ當然デアリカス、勅令等ヲ以テ此ノ法律ノ趣旨ニ反シタル指導ヤ命令ヲスルコトハ、是ハ勅令若シクハ省令ヲ以テ改廢スルガ如キ結果ヲ招來スルノデハナイカト云フコトヲ悞レルノデアリマス、先達テ來政府當局ノ御説明ニ依リマス、此ノ第四條ノ精神ヲ無視シテ今後指導シヨウ、斯ウ云フ御計畫ガアルヤウデアリマスガ、第四條ヲ此ノ儘生カシテ置イタノデハ、サウ云フコトヲヤルベキデハナイ、ヤルコトハ極メテ違法ノ處置デハナイカト考ヘタカラ御尋ネ申上ゲタノデアリマス、此ノ方面ハ是以上繰返シテモ同じコトデアリマスカラ、此ノ程度デ止メマスガ、極ク簡單ニ今一ツ御伺ヒシタイコトハ、先達テノ御説明ニモアリマス通り、生産計畫ノ設定ト云フノガ本法律ノ目的デアルト云フコトデアリマシタガ、此ノ計畫生産ト云フコトハ過去ノ如キ増産獎勵ノ時代ヲ拋棄シマシテ新タニ計畫生産ノ時代ニ入ツタ、斯ウ云フ風ニ見ルベキデアルト思フノデアリマスガ、生産計畫ト云フモノノ出發ハ、消費ノ計畫カラ出發シナケレバナラスト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、

然ルニ此ノ法律ニハ生産計畫ニ對シマシテハ種々ナル統制ガ行ハレルコトニナツテ居リマスガ、消費方面ニ對シマシテ如何ニモ其ノ觸ルル所ガ少ナイノデアリマス、ソレハドウ云フ點ヲ悞レルカト云フト、此ノ法律ハ其ノ點ニ觸ルルコトハ困難ナリトシテモ、計畫生産デアリマスカラ消費ヲ基礎トシタ生産ノ計畫、消費ノ基礎ガ確立シマセヌケレバ、此ノ生産計畫ト云フモノハ始終消費方面ノ動搖ニ依ツテ左右サレナケレバナラスト云フ結果ニナルノデアリマス、デアリマスカラ先達デモ一寸御聽キシタノデスガ要領ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、ケレドモドウシテモ計畫生産ト云フモノヲ、今後ヤツテ行カウトスル以上ハ、消費方面ニ對スル計畫ガ確立サレナケレバ相成ラヌ、若シ其ノ方ガ確立シナイデ、此ノ計畫生産ノミヲヤツテ居リマスレバ、生産者ニ及ボス危險ト云フモノハ非常ニ多イ、イツ何時消費方面ノ變動ノ爲ニ其ノ生産計畫ナルモノニ動搖ヲ來スカモ知レナイト云フ心配ガ始終絶エナイノデアリマスガ、其ノ點ニ對シマシテノ御所見ヲ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○石黒國務大臣 生産計畫ハ消費計畫ヨリ出發シナケレバイカヌガ、本法案ニ付テハ消費方面ニ觸レルコトガ少イ、消費方面ノ計畫ガ確立シナケレバ生産計畫ガ立タナイ、立テテモ必ズ食ヒ違ヒガ出來ルノデアリ、其ノ結果生産者ニ思ハザル結果ヲ來ス、斯ウ云フ風ニ伺ヒマシタガ、是ハ計畫生産ノ爲ニ消費ノ計畫ヲ出來ルダケ確立シテアリタイモノダト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、少クトモソレニ對シマシテ或ル程度確カナ見透シヲ付ケルト云フコトハ、私

ハシナケレバナラスト思フノデアリマス、ソコガ生産計畫ヲ立テマスノニ非常ニ難カシイ點ダト考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ關シマシテ消費ノ見透シヲ付ケルベク、消費方面ノ趨勢ト云フモノヲ常ニ調ベマシテ、十分ノ資料ヲ備ヘテ置ク必要ガアル、ソレノミナラズ委員會等ニ於キマシテ、各方面ノ權威者ニ御參加ヲ願ヒマシテ、十分ノ見透シヲ付ケルト云フコトハ、消費ノ見透シヲ付ケテ、ソレニ基イテ生産計畫ヲ立テテ、出來ルダケ誤リナキヲ期シマスルニ必要ナ點ダト考ヘマス、蠶絲委員會ニ於キマシテハ生絲ノ生産ヲ將來ドウ云フ風ニ計畫シテ宜イカ、短纖維ヲドウ見テ宜イカト云フヤウナコトヲ十分ニ出來ルダケノ資料ヲ以テ、各方面ノ權威者ニ十分ノ御審議ヲ戴イテ計畫ヲ立テテ行ク、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ點ガ萬一——見透シモ出來ルダケハヤリマスガ、食ヒ違ヒガ起ルト云フヤウナコトガ豫メ分ツテ、サウシテソレヲマダ改メルトノ出來ル時代デアリマシタナラバ、同ジク蠶絲委員會ニ速カニ御諮リヲ致シマシテ計畫ノ改訂ト云フコトモナサナケレバナラスト考ヘテ居リマス、而シテ尙ホ食ヒ違ヒ等ノ爲ニ一ツノ不都合ガ起リマシタヤウナ場合ニハ、是ハ會社ニ於テ保管ヲ餘計ニ致ストカ或ハ色々均衡ヲ圖リマス爲ノ施設ヲ致シマシテ、生産者ニ負擔ノ及バナイヤウニ圖ル仕組ハ出來ルダケ講ジテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

給ノ狀況ヲ織入レテ、サウシテ價格ヲ決定スルンダト云フコトノ御説明ハ數回拜聴致シタノデアリマス、私ハ其ノ點ニ付テ先刻野溝君ガ御問ヒニナツタノト同一ノ意味デアリマスルガ、昨年十二月七日ニ御決定ニナリマシタ經濟新體制要綱ト云フモノノ中ニハ「主要物資ノ價格ヲ公定スルニ當リテハ中庸生産費ヲ基礎トシ適正利潤ヲ計上ス」ト斯ウ云フコトニ相成ツタノデアリマス、現内閣ノ經濟新體制要綱トシテ中庸生産費ヲ基礎トシテ適正利潤ヲ計上スルノダト斯ウ云フコトヲ天下ニ發表サレテ居ルノデアリマスカラ、此ノ繭ノ價格ヲ決定スル上ニハ所謂生産費、或ハ其ノ他ノ經濟事情等ヲ斟酌シ、更ニ適正利潤ヲ計上シテ決定スルト云フ御答辯ノアルノガ當然ノヤウニ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、今日マデ其ノ點ニ一度モ言及サレタコトガナイト思フノデアリマス、是ハ養蠶家ニ對スル心理上ノ影響モ非常ニ重大デアルト思フノデアリマスガ、總テノ物價ハ斯ノ如キ方針ニ依ツテ決定スルト云フ以上ハ、繭ノ價格ヲ決定スル上ニ於キマシテモ適正利潤ヲ計上スルト云フコトガ極メテ適當ダト考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ御伺ヒ致シタイ

○石黒國務大臣 中庸生産費ヲ基礎トシテ適正利潤ヲ計上スルト云フコトニ經濟新體制ガ定メラレテ發表サレタ、繭ノ生産費ニ對シテ生産費、經濟事情ト云フコトヲ言ハレルガ、適正利潤ト云フモノハ言ハナイガ、ソレハドウカト云フ御尋デアリマス、是ハ我が國ノ農業養蠶ト云フモノノ經營狀態ガ工業會社等ノ經營狀態ト規模モ違ヒ、又經營組織モ非常ニ違ツテ居ル、自家労働ト云フモノヲ最モ大キナ中心トシテヤツテ居ルト云フヤウナ關係上、工業要品ニ對シマスル適正利潤ト云フ言葉ト同ジ意味ノ利潤ト云フコトヲ我が國ノ農業經營、養蠶經營ト云フヤウナモノニ言ヘルカドウカト云フ問題ハ、可ナリ色々議論ノアル所ト考ヘルノデアリマス、故ニ其ノ意味ニ於キマシテ經濟新體制ト云フコトハ主トシテ工業關係ノコトヲ申シテ居ルノデアリマス、ソレト同ジ文句ヲ用ヒマシテ、此ノ性質ニ付キマシテ特殊ノ性質ヲ持ツテ居リマスル農業、養蠶ノ經營ニ對シマシテ、ソレヲ當嵌メテ申スコトガ適當デアアルカドウカト云フコトニ付テハ私ハ疑問ヲ持ツテ居リマス、全ク同一ニ行クト云フ性質ノモノデハナイダラウカト思ツテ居リマス、併シサウカト云ツテ自家労働ヲ主トシテ居ルモノデアアルカラ、ソレハズツト低ク労働報酬ト云ツタヤウナモノヲ値切ツテ見テ宜イト云フ觀念ハ全然ゴザイマセヌ、是等ニ關シマシテハ相當ニ見方ニ依リマシテハ自家労働ト云フモノハ外ニ賣ル所ノナイ労働デアアルカラ、此ノ労働ノ價值ヲ安ク見テ宜シイト云フ說ヲ唱ヘテ居ル人モアルヤウデアリマス、併シ又見方ニ依リマスレバ、自家労働ト云フモノハ非常ニ品質ノ良イ労働ナノデ、是ハ高ク買ハレテ然ルベキモノデアラウト云フ風ニモ思フノデアリマス、要ハ養蠶家ニ取リマシテ非常ナリ利益ト云フヤウナコトハ、考ヘラレマセヌケレドモ、採算ヲ採ル上ニ於テ非常ナ損ニナルヤウナコトヲ考ヘルト云フコトハ到底許スベカラザルコトデアリマス、繭價ノ安定ト云フコトヲ一方ニ十分ニ顧念致シツツ、養蠶家ガ十分ニ立行クヤウニ此ノ繭價ノ問題ヲ決定シテ行クト云フ

所ニ價格ノ基準ノ決定ノ苦心ガ結局存スルコトト思フノデアリマス、ソレ等ハ十分ナル資料ヲ集メマシテ、サウシテ前申シマシタヤウニ、蠶絲委員會ニ於キマシテ十分ノ御審議ヲ願ヒマシテ決メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山田(六)委員 私人質問ハ是デ終リマシタ、此ノ機會ニ希望ヲ一寸述べテ置キタイト思フノデアリマスガ、只今ノ御話ハ御尤モデアリマス、唯私共ガ恐レルノハ、丁度今日ノ日本ノ農家ガ米作ニ對スル熱意ヲ失ヒシ如ク、政府ノ方針ノ如何ニ依ツテ蠶絲ニ對シテ非常ナル惡影響ヲ及ボスヤウナコトノアルノヲ非常ニ恐レルノデアリマス、ドウゾ其ノ邊ノ所ヲ御考慮ニ御入レ下サイマシテ、何分ノ御配慮ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○高橋委員長 植原君

○植原委員 私人一番重要ナ點トシテ御尋ネ申上ガタイト思ツタコトハ今山田サンニ依ツテ御尋ネニナリ、農林大臣ノ答辯ガアリマシタノデ宜シイヤウナモノデアリマスガ、私ハ此ノ法案ヲ見マシタ時ニ又政府ノ説明ヲ聽キマシタ時ニ、輸出生絲ハ此ノ統制會社ノ除外ニ置クノダト云フコトヲ聽キマシテ、其ノ規定ハ一體何處ニアルカト云フ御尋ネヲ致シタ、然ルニソレハ第四條ノ但書デアアル、其ノ他ニハナイカト御尋ネシタ時ニ、其ノ他ニハナイイト云フ御答辯デアリマシタ、只今山田サンノ御話ノ如ク、第四條ガ此ノ統制法ノ總テノ基礎工事ダト私ハ思ツテ居リマス、隨テ農林大臣ノ御答ヘニ私ハ逆ラフノデアリマセヌケレドモ、立法ノ原則ト申シマスレバ、基礎觀念ヲ規定シテ、其ノ限定サレタモノノ中デ一部ヲ變更スル時ニ但書ガ附クノガ本則デアツ

テ、此ノ統制法ハ繭、絲、之ヲ此ノ會社ガ買ツテ賣ル、是ガ第四條ノ規定デアル、ソレガ此ノ法律ノ根本ノ規定デアリマス、其ノ規定ヲ但書ニ依ツテ——輸出ノ方ダト一部ダカラ差支ヘナイト申シマセウケレドモ、其ノ根本ノ基礎ヲ但書デ變更スルヤウナ立法ハ多ク立法例ニナイデヤナイカ、是ガ議會ノ立法權ヲ左右スルナドトハ私ハ思ヒマセウケレドモ、從來ノ立法行為ノ變則デアルト云フコトダケハ、是ハ何トシテモ御認メニナラナケレバナラナイデヤナカラウカ、之ヲ此處ニ御入レニナルニ至リマシタ所ノ御苦心ハ、私只今農林大臣ノ御言葉ノ中ニモ現レテ居ツタヤウダカラ之ヲ追究致シマセヌ、御苦心ノ程ハ察シマセウケレドモ、立法ノ技術トシテハ許シテモ、立法ノ今マデノ根本精神ト稍、異ナル所ノ變則的ノ取扱デアルト云フコトダケハ、是ハ何トシテモ認メナケレバナラヌコトダト思ヒマス、其ノ一點ニ付テハ以上ヲ彼此レ申シマセヌ、私ハ成ベク皆様方ノ御迷惑ニナラナイヤウニト思ヒマシテ質問ノ條項ヲ此處ニ書キ竝ベマシタ、一問一答デナクテ之ヲ連續的ニ述ベテ置キマスカラ、後デ此ノ委員會ノ最後ノ決定ヲ終フマデニ御答ヘ下サレバ宜シイト思ヒマスガ、此處デ御答ヘ下サレバ尙ホ結構ダト思ヒマス

私ハ此ノ法案提出ニ付テ然ト區別サルベキニツノ根本的相違ノアル理由ノ潜在スルコトヲ先ヅ認識スベキデアルト思ヒマス、即チ其ノ一ツハ現下ノ緊迫セル時局ニ對シ日米兩國ノ經濟關係ニ如何ナル事態ガ勃發シテモ我が國ノ蠶蠶家、製絲業者、蠶種製造家、其ノ他之ニ關係スル所謂蠶絲業家ハ意ヲ安ンジテ其ノ業ニ勵ミ得ルコトヲ確保

セントスル非常時立法ノ意味、而シテ是ガ此ノ立法ヲ促進セシメシ動機デアルニ違ヒナイト思ヒマス、此ノ爲ニ只今ノ第四條ノ變則的規定モ挾ツタデハナカラウカト推測致シマス、併シ是ハ此ノ法實施ノ根本的意思デアツテハナラヌコト、而シテ第二ノ理由ハ、我が國ノ生産業中對外關係ヲ有スル最重要ナル生産業ノ一ツ、即チ多年ノ懸案タル蠶絲業ノ根本對策樹立ニ關スルコトデ、而モ是ハ恒久的性質ノモノデアルトコト、固ヨリ此ノ兩者ハ相剋矛盾スルモノデモナク、又相反スルモノデモナイ、互ニ竝立スルモノデアルケレドモ、此ノ二ツノ理由ガ此ノ法案中ニ潜在スルコトヲ能ク認識シテ掛ラナケレバ此ノ法案實施ノ完璧期スルコトハ出來ヌト私ハ信ジマス

ソコデ先ヅ第一ニ此ノ統制會社ハ評價委員ノ議ヲ經テ繭ノ値段ヲ桑、蠶種等ノ原價、勞働賃銀其ノ他ノ經費ヲ含メテ公定スル、之ニ依リテ全國ノ繭ヲ一手ニ買收スル、而シテ此ノ會社ハ此ノ一手ニ買收セル繭ヲ製絲業者ニ原價計算ニ依リテ賣渡ス、製絲業者ハ之ヲ生絲トシ、繭ノ原價ニ操業費一切ト幾分ノ利益ヲ加算シタルモノニ依リテ公定セラレタル絲價ニテ、全部此ノ統制會社ニ其ノ製品ヲ賣渡ス、斯クテ統制會社ハ此ノ買收セル生絲ヲ機業家其ノ他ノ加工業者ニ一定ノ價格ヲ以テ賣却スルノデアリマスガ、會社ガ買收シタ生絲ノ價格ト賣渡價段トノ間ニハ相當ノ額ガアラウト思ハレル、併シ是ハ會社ノ經費ヲ賄フ手數料式ノモノデ、利益ヲ目標トスルモノデアツテハナラヌ、隨テ養蠶家ハ限定サレタ範圍デハアルガ安心シテ養蠶ヲ營ムコトガ出來ル、又製絲家

ハ一種ノ賃挽式ノモノト化スルガ、一定ノ確實ナル工費、工賃ヲ得テ安固ナル一工業家トシテ存在スルコトガ出來ル、是ハ非常時デモ平時デモ同様デアル、而シテ萬一——是ハ望ムコトデハナイガ、萬一日米兩國間ニ經濟的斷交ガ生ジテモ、此ノ法式デ進メバ我が國ノ一切ノ蠶絲業ハ全ク安定スルノデアル、併シ此ノ法案ノ非常時方面ヲ想定シ、日米兩國間ニ萬一ノコトガ生ジタトスレバ、此ノ會社ハ輸出方面ノ生絲ヲモ迅速ニ此ノ會社ノ一手ニ買ハネバナラヌコトガアルト思ハレル、此ノ點果シテ如何、是ガ第一デアリマス

法案現在ノ儘トシテ、原則トシテ此ノ會社ハ輸出生絲ヲ自由放任スルノデアルガ、是ハ絕對デアツテハナラヌ、前段ノ場合ニハ是ガ非デモ會社ハ輸出生絲ヲ全部背負ヒ込マネバナラヌ、又斯様ナ場合ダナク、平時ノ場合トシテモ、輸出生絲製造業者ガ其ノ製品ノ買收ヲ會社ニ要請セントセバ、會社ハ之ニ對シテ如何ナル措置ヲ執ルノデアルカ、之ニ對シテ確乎タル方針ヲ伺ヒタイ、是ガ第二ノ質問デアリマス

會社ガ非常時ニ臨ミ輸出生絲ヲ背負ヒ込ムトスレバ、此ノ會社ノ四千万圓ヤ八千万圓ノ資本金ヲ以テシテハ、決シテ時宜ニ適スル敏活ナル行動ヲナシ能ハヌト思フガ、政府ハ此ノ資本金ヲ以テ是デ足レリトスルノカ、又斯カル萬一ノコトガナイトシテモ、輸出生絲製造家ノ要請ニ依リテ、輸出生絲ヲ買收スル行為ヲナストスレバ、ソレダケデモ此ノ會社ノ如キハ八千万圓ノ資本金、四千万圓ノ拂込ニテハ決シテ此ノ會社ノ目標トスル所ノ機能ヲ十分ニ發揮シ能ハザルモノト思惟スルガ、之ニ對スル政府ノ所見

如何、是ガ第三デアリマス

資本金ニ關聯シ、私ハ此ノ會社ノ運營ニ付キ更ニ懸念スル一事ガアル、ソレハ集荷ノ場合デアル、政府ハ繭ノ生産ヲ一箇年大體八万貫ト狙ツテ居ル、繭ノ建値ヲ假ニ七十掛見當ト見積ツテモ、大體七億内外ノ代金ニナル、繭ハ生物デアアル、養蠶家ハ概シテ即金拂ヲ欲求シテ居ル、而シテ從來ノ取引狀態ニ於テハ製絲家ノ直接拂ノ外、繭市場ノ經營者ヤ、繭仲買人ヤ、乾繭業者ヤ、乾繭組合等ガ大部分立替拂ヲシテ居ツタ、勿論組合製絲ニ屬スル養蠶家ヤ、特約組合ノ養蠶家ニ付テハ別問題デアアルガ、製絲家ノ直接拂ノ外、是等ノ業者ノ立替拂ニ依ツテ生繭取引ガ圓滑ニ行ハレテ居ツタ、政府ハ是等諸種ノ業者ノ營業ハ成ベク其ノ儘繼續セシムル方針ヲ言明サレテ居ル、ソレニ違ヒナイト思フガ、繭ノ値段ガ從來ト異ナツテ全ク釘付ニサレルノダカラ商賣ノ旨味ハ非常ニ少イ、隨テ是等ノ業者ガ従前ノ如ク進ンデ金融上ノ責任マデ持つトハ想像出來ナイ、隨テ此ノ會社ガ是等ニ對スル即時拂ノ金融マデ十分ニ用意スルニアラザレバ此ノ會社ノ發足ニ於テ集荷ノ敏速ヲ缺キ、養蠶家ニ對スル支拂ヲ遲滞セシメ、各方面ニ不滿ヲ生ズル虞ナシトハ言ヒ難イノデアル、之ニ徴スルモ資本金ノ少額ヲ感ズルガ、政府ノ所見果シテ如何、是ガ第四デアリマス

次ニ此ノ法案ノ恒久的方面ニ關シテデアリマスガ、從來我が國ノ重要ナル産業デアアル蠶絲業ガ屢、不安狀態ニ曝サレタノハ、主トシテ米國ヘノ輸出ニ依存シテ居ツタ爲メデアリマセウガ、是ハ米國ニ生絲ヲ賣ツテ居ツタノガ惡イト云フノデハナク、其ノ商取引

ノ慣習ガ惡カツタノデアルト云フコトニ付テハ何人モ異存ナカラウト思ハレマス、是マデ輸出生絲ノ相場ハ米國ノ需給關係以外ニ、生産市場ノ思惑ヤ、日米兩國ノ輸出入業者等ニ依リテ左右セラレ、時トシテハ甚ダシキ暴騰暴落ヲ惹起シ、其ノ結果是ガ我が國ノ繭價及ビ國用生絲ノ價格ヲ決定スル指標トナリ、爲ニ我が蠶絲業ハ頗ル不安定ナモノニナツタノデアリマス、故ニ輸出生絲ヲ統制シ、其ノ價格ヲ安定セシムルコトガ、我が蠶絲國策確立ノ根本デアルトハ斯業界多年ノ所說デアツタコトハ申スマデモゴザイマセヌ、戰時下ト平時トヲ論ゼズ、我が國ハ海外トノ通商貿易ヲ極力發展セシメナケレバナラスノデアアル、現在モ將來モ鎖國主義ヲ以テ國ヲ律スベキデハナイ、而シテ何ト云ウテモ生絲ハ我が國ノ輸出貿易品ノ王座ヲ占メテ居ルノデアリマス、過去ニ於テ我が國ノ生絲ハ米國ヘノ供給ニ對シテ稍、獨占的地歩ヲ有セシガ故ニ其ノ販路擴張ニ付テハ自然怠慢ガアツタ、將來ハ大ニ是等ニ努力シ、現狀維持ノ輸出高ノミナラズ、更ニ大ニ此ノ販路ヲ擴張スベキデアアル、敢テ米國ガ我が生絲ヲ買ツテ呉レナクテモ宜イト云フガ如キ態度ハ通商貿易上執ルベキ態度ニアラズト私ハ確信致シマス、之ニ對シテ政府モ異論ナシト思ヒマスガ、御異論ガアルナラバ此ノ點ニ付テモ承リタイ、勿論精々生絲ノ販路ノ擴張ヲ圖ルト云ツテモ生産費ヲ割ルガ如キ安價ヲ以テ澤山ノ生絲ヲ賣ルト云フコトデハナイ、出來ルダケ高價ニ、出來ルダケ多量ニ賣ル販路ヲ求メ、巨額ノ外貨獲得ニ資スルト云フコトデアアル、此ノ方針ニ付テ政府ハ同意ヲ表セラレニ違ヒナイト思ヒマスガ、政府ノ所見果シテ如何、

此ノ委員會ニ於ケル質疑應答ノ言論ニ徹スレバ、輸出生絲ノ統制ト云フコトハ一本建ノ値段ニテ總テノ輸出生絲ヲ米國ニ販賣スルモノナルガ如クニ解セラルル虞レガアルヤニ思ハレルガ、是ハサウアルベキ答ノモノデハナイ、國用生絲ノ場合ニハ會社ガ製絲家カラ生絲ヲ買入レル價格モ一本建、又會社ガ之ヲ販賣スル價格モ一本建デアアルベキデアアルガ、輸出生絲ノ統制ヲスル場合、會社ガ製絲家カラ買收スル價格ハ一本建デモ、米國ヘ販賣スル價格ハ先方ノ自由市場ニ依ツテ如何程高價デモ、又其ノ間ニ段階ガ出來テモ差支ヘナイ譯デアルト思フガ、之ニ關スル政府ノ所見如何、勿論輸出生絲ガ全部統制セラレル場合、清算市場ノ存在ハ其ノ意義ヲ失フハ當然デアアル、米穀ノ統制ニ付テハ米穀取引所ヲ消滅セシメタ、既ニ蠶絲統制法ヲ樹立スルニ至ツタ以上ハ蠶絲生絲モ統制スベキハ當然デ、清算市場ノ解消ハ單ニ時ノ問題デアルト思フ、之ニ對スル政府ノ所見如何、而シテ是ガ一日早ケレバ早イダケ蠶絲業ノ統制ハ完成セラレルモノト思ハレル、此ノ根本的ノ見解ニ對シテハ政府モ果シテ異論ナシト思フガ、又アツテハナラサ答デアアルガ、政府ノ所見如何

次ニ繭價及ビ生絲價ノ評價委員會ノ構成ニ關スルコトデアアル、是等ハ非常ナル難事業デアアル、是等兩者ノ價格決定如何ハ蠶絲業全體ノ運命ニ關スルコトト云ウテモ過言デハアルマイ、サレバ其ノ人選ニ付テハ事業ニ關係アル各方面ノ人材ヲ網羅スベキデアルト思フ、之ニ對スル政府ノ御用意如何、又此ノ時局下幾多ノ國策會社ガ出來、又現在出來ツツアルガ、是等ノ國策會社ノ多數ハ概シテ成績頗ル不良ト云ウテモ政府ニ恐ラク辯解ノ辭ハナカラウ、而シテ此ノ會社ハ營利ヲ目的トスルモノデハナイ、單ニ蠶絲業ノ統制ヲ目的トスル一種ノ商事機關デアアル、隨テ國用生絲ノ買收販賣ニ對シテモ、利益ヲ標準トシテ之ヲ取扱フモノデアツテハナラヌ、國用生絲ノ買値ト賣値ノ間、開キハ手數料ヲ超ユルコトガアツテハナラヌト思フガ政府ハ之ニ對シテ如何ナル方針ヲ有セラレカ、若シ是ガ政府ノ方針デアルトスレバ國用生絲ノ賣價ノミヲ以テシタノデハ資本金ニ對シテ四分ノ配當サヘ出來ル可能性ハ極メテ稀薄ナリト信ズル、ノミナラズ生絲價安定保證積立金ヲ豫想スルガ如キコトハ思ヒモ依ラザルコトデアアル、之ニ對スル政府ノ見解果シテ如何、此ノ場合政府ハ輸出生絲ニ對スル過剩利益ノ收得ニ依ツテ會社ガ十分利益ヲ見込ミ得ルト云ハレルカモ知レヌ、サウシテソレハサウカモ知レヌガ、此ノ場合ニハ輸出生絲製造ノ製絲家ヨリ過剩ノ利益ヲ精算シテ、之ヲ會社ニ收得セシムル途ハ容易デハナイ、否或ル場合ニ於テハ實行不可能ト思ハレル、清算市場ヤ問屋ヲ經テ輸出シタ者ハ或ハ計算可能デアラウガ、直輸出ラシテ先方ニ於テ賣却スル者ノ如キハ容易ニ計算出來ヌデアラウ、而シテ茲ニ統制ノ破綻ヲ生ズル虞レナシトハ斷言出來ナイ、政府ノ之ニ對スル所見果シテ如何、然ルニ輸出生絲ノ統制シ、會社ニテ全部ノ輸出生絲ヲ買收シ、之ニ或ル利潤ヲ加算シタルモノヲ底値トシテ輸出ヲ計畫スレバ、一面ニ於テハ生絲價ガ安定スルト共ニ、他面ニ於テハ其ノ販路ヲ擴張スルコトモ容易ナルノミナラズ、會社ハ輸出生絲ニ依ツテ確實ナル利益ヲ獲得シ、且ツ外國ニ於ケル生絲價昂騰セル場合ニハ生絲價安定保證金ノ積立ヲモ十分可能トナル、斯クテ理

想トシテモ又實際トシテモ輸出生絲一元的ニ統制スルコトニ對シテ異論ナカルベシト思ハレルガ、若シ之ニ對シテ政府ニ異論ガアルナラバ同ヒタイ、之ニ對シテ異論ハナカラウガ、唯諸種ノ事情ノ爲ニ、時ノ問題上已ムヲ得ナイト仰シヤラレルカモ知レヌ

次ニ支那ノ輸出生絲ノ、現在或ル意味ニ於テ統制サレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアアル、將來一層此ノ統制ヲ強化シナケレバナラスコトハ當局者ノ言明デアアル、而シテ日支經濟提携ノ見地ヨリ、日本ノミガ之ヲ自由放任スルコトハ國策上矛盾デアリ、又兩國ニ於ケル蠶絲業ノ健全ナル發達ト調整トヲ期スル所以ニアラザルコトハ議論ノ餘地ガナイト考ヘル、政府モ此ノ根本論ニハ御同意ナルベシト思ハレルガ、之ニ反スル御所見ガアルナラバ承リタイ、是ガ大體私ノ大臣カラ御答ヘ願ヒタイ所ノ項目デアリマス

次ニ最後ニ此ノ委員會ヲ通ジマシテ、政府委員ヨリ繭市場、蠶種業者、乾繭取引所、乾繭組合、是等ノモノハ場合ニ依ツテハ政府ニ於テ買收スル、又買收スルコトガ出來ナイ場合ニハ相互話合ヒラシテ之ヲ借入利用スルコトモアル、成ベク是等ノ現存スルモノヲ認メテ、其ノ「チャンネル」ヲ通シテ此ノ事業ノ圓滑ナル遂行ヲ期シタイ、從業員ハ成ベク失業セシメナイヤウニ凡ユル注意ヲ傾倒スル、蠶種賣買業者ハ全國ニ普遍的ノモノデナイケレドモ、蠶種製造家ト養蠶家ノ間ニ、從來可ナリ重要ナ役目ヲナシテ來タコトハ之ヲ認メル、隨テ是等ノ存在ニ對シテハ、將來其ノ職ヲ奪ハナイヤウニ、之ヲ利用スルヤウニ考慮スル、玉繭、中下繭等ノ取扱ハ此ノ會社デ取扱フコトガ原則

カモ知レナイガ、其ノ複雑ナル状態ニ鑑ミ、

是ハ從來通りノ取引ニ委ネテ置ク、斯ウ云

フ御答辯デアツタト思ヒマス、此ノ點ハ此

ノ委員會バカリデナク、委員會ガ濟ミマシ

テ全國ノ養蠶家、蠶種製造家、繭絲市場ヲ

經營セル者、乾繭組合ヲ經營セル者、之ニ

從事スル所ノ從業員ニ對シテ重大ナル影響

ガアルコトデアリマスカラ、是等ニ對シテ

ハ政府委員ガ答辯シタ通り、政府ハ之ヲ實

行ニ當ル積リデアルト云フコトヲ、此ノ場

合大臣カラ御辯明ヲ得テ置クコトガ必要ダ

ラウト思ヒマスカラ、之ニ對シテモ大臣ノ

御辯明ヲ得タイト思ヒマス、以上ノ問題ニ

對シテ御答ガアレバ仕合セデアリマス

○石黒國務大臣 植原サンカラ非常ニ包括

的ニ、各方面ノ重要ナル點ニ付テ政府ニ御意

見ノ御尋ネガアリマシタ、初メノ御言葉ノ

中ニ今日直チニ御答ヘガ出來ナクテモ宜シ

イト云フコトデアリマシタ、重要ナル點ガ多

多アリマスノデ、ツイ漏シテハナラナイト

思ヒマスカラ、御尋ネノ點ハコチラデ筆記

モ致シテ居リマシタガ、若シ御差支ガナケ

レバ其ノ御書上ゲニナツテ居リマスノヲ頂

戴シマシテ、後日ソレニ依ツテ御答ヘ致シ

タイト思ヒマス

○高橋委員長 是デ大體ノ質疑ハ盡シタモ

ノト思ヒマス、爾餘ニ若シ本案審議上重要

ナル質疑漏レガアツタト御氣付ノ點ハ、委員

會ノ最後ニ決定ヲ見マス機會ガゴザイマ

ス、其ノ機會ノ前ニ御陳述ヲ簡明ニ願ヒタ

イト考ヘマス、大體ノ質疑ハ此ノ程度デ打

切リタイト思ヒマスガ御異議ゴザイマセス

カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小山倉之助君 私ニ對スル大臣ノ答辯

計ラヒマス

昭和十六年二月二十一日印刷

ハ……

○高橋委員長 小山倉之助君ハ委員外デア

リマスガ、洵ニ重要ヲ御發言ガアリマシタ、

ソレハ大臣ヲ目標トシテ御尋ネニナツタノ

デアリマスガ、御出席ガナカツタ爲ニ政府

委員ガ之ヲ伺ツテ居リマシテ、大臣ニ傳ヘ

ルコトニナツテ居リマス、是等ノ質疑モ能

ク御聽取ニナリマシテ、而シテ他ノ機會ニ

於テ御答辯アランコトヲ望ミマス、小山君、

ソレデ宜シウゴザイマスカ

○小山倉之助君 結構デス

○高橋委員長 次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御

知ラセ致シマス、重要ナル案件デアリマスカ

ラ、今後ノ議事進行ニ付テハ委員長ニ於テ

然ルベク取計ラヒタイト思ヒマス、此ノ點

モ御諒承ヲ豫メ御願ヒシテ置キマス、皆サ

ンノ御登院ヲ煩ハス爲ニ、或ハ開會ヲ致シ

タバカリデ休憩ヲ致スカモ知レマセヌガ、

公報ヲ以テ御知ラセ致シマスカラ、其ノ場

合ハ重大ナル法案ニ鑑ミラレマシテ、御登

院アランコトヲ希望致シマス

○小山(邦)委員 委員長ノ御意見ニ大體同

意デアリマスガ、可ナリ法案ヲ中心ニ長キニ

互ツテ研究サレタコトデアリマスカラ、此

ノ取扱ニ付テハ成べく取急イデ、委員長ニ

於テ御心配ヲ願ヒタイノデアリマス

○高橋委員長 了承致シマシタ

○平野(力)委員 一寸伺ヒマスガ、只今缺席

サレテ居ル委員モアリマスガ、若シ開會セ

ラレテ特ニ重要ナル協議デモアルト云フコト

デアリマスレバ、公報ダケデナシニ、別ノ

方法デモ能ク徹底スルヤウニ御傳ヘ願ヒタ

イ

○高橋委員長 承知シマシタ、然ルベク取

計ラヒマス

昭和十六年二月二十一日發行

○高橋(圓)委員 委員會ハマダ終ツタノデ

ハナイノデアリマス、質疑ヲ打切ツタダケ

デアリマシテ、只今委員長カラモ御話ガア

リマシタヤウニ、次回ニ尙ホ會合ヲシテ、

サウシテ其ノ様子ニ依ツテ其ノ儘休憩スル

コトガアルカモ知レマセヌト云フ御話ガア

リマシタ、サウ云フ意味ノ諒解マデアル位

ナラバ、寧ロ此ノ際明朝午前十時ナラ十時ニ

此處ヘ一應集マツテ、サウシテ直グ休憩ヲス

ルトカ云フコトニシテ、一應サウ云フ風ニ

決メテ置カレタラドウカト思ヒマス

○高橋委員長 ソレハ高橋理事ノ御發言ノ

通り委員長ニ於テ豫メ用意ヲ致シテ置キマ

ス、ソレデアリマスカラ、此ノ際改メテ

明日午前十時ニ開會ノ御通知ヲ申上ゲテ、

一應諸君ノ御參集ヲ願フ豫定デアルト云フ

コトヲ此ノ場合申上ゲテ置キマス、ソレデ

ハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマス

午後六時散會

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局